

令和4年度ひたちなか市まちづくり達成度調査報告

市民意識調査報告書

まちづくり達成度に関する調査編

令和4年 12月

ひたちなか市 企画部 企画調整課

目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的と趣旨	1
2.	調査の対象	1
3.	調査方法	1
4.	調査期間	1
5.	回収結果	1
II	調査結果概要	2
III	調査結果	5
1.	まちづくりに関する市民意識調査 調査結果	5
(1)	回答者について	5
(2)	住み心地・暮らしの満足度について	16
(3)	地域活動・住民参加について	29
(4)	ひたちなか市への誇りや愛着について	33
(5)	まちづくりの達成度について	38
(6)	市政情報の取得について	55
(7)	テレワークについて	62
(8)	市民ニーズについて	65
(9)	持続可能な開発目標（SDGs）について	66
(10)	今後のまちづくりに関する意見等について	74
IV	参考資料	76
1.	まちづくり達成度等に関するアンケート調査票	76

I 調査概要

1. 調査の目的と趣旨

本調査は、ひたちなか市の施策に対する市民の満足度や市への愛着度等まちづくりに関する意識について把握し、ひたちなか市第3次総合計画後期基本計画に掲げる各施策の効果検証の資料とするためにアンケート調査を実施した。

2. 調査の対象

令和4年6月1日時点で、ひたちなか市に居住する18歳以上の市民 3,000名

3. 調査方法

配布は郵送により、回収は郵送とインターネットでの回収で実施

4. 調査期間

令和4年8月9日 ～ 令和4年8月31日

5. 回収結果

回収数：1,472票

回収率：49.1%

Ⅱ 調査結果概要

1. まちづくり達成度に関する市民意識調査 結果概要

(1) 回答者について

- 回答者の性別は男性が 44.8%，女性が 53.4%で，女性の方が多くなっている。
- 回答者の年齢は「75 歳以上」が最も多く全体の約 2 割弱を占めており，「70～74 歳」，「55～59 歳」が共に約 1 割で続いている。
- 回答者の約 6 割が就労しており，業種としては「製造業」が最も多く約 2 割となっている。
- ひたちなか市出身者は全体の 4 割を占めており，回答者の本市への居住歴は，約 6 割の方が「30 年以上」と回答している。

(2) 住み心地・暮らしの満足度について

- 回答者の約 2 割がひたちなか市の住み心地について，「とても住みやすい」と回答しており，8 割以上の方が「ずっと今の場所に住み続けたい」，または「できるだけ今の場所に住み続けたい」と回答しており，前回調査（R3）とほぼ同じ結果となっている。
- 回答者の約 5 割が生きがいを持って暮らしていることを「とても感じる」，「感じる」と回答しており，前回調査（R3）とほぼ同じ結果になっている。
- まちづくりに関する取組みについては，前回調査（R3）と比較して，全 37 項目で充実希望度が増加している。満足度については「企業誘致と雇用の創出」，「商業振興」，「観光振興」，「子育て支援」，「教育環境」，「道路の整備」，「公共交通機関」，「市の魅力発信による交流の促進」，「市民意見の市政への反映」，「市へ意見を言える機会」を除く 26 項目で増加している。
- 「道路の整備」，「高齢者支援」，「下水道の整備」，「河川・雨水幹線の整備」，「障害者支援」，「生活困窮者支援」，「商業振興」，「公共交通機関」，「良好な住宅環境の整備」は他の項目と比較して，満足度が低く，充実希望度が高い「重点取組領域」にプロットされる。

(3) 地域活動・住民参加について

- 社会活動への参加について，「積極的に参加している」「付き合いで参加している」の回答の合計は約 4 割程度となっており，前回調査（R3）から増加している。
- 地域の市民が主体となって活動が行われていると感じる分野について，5 割弱の回答者が「ごみの減量・リサイクル活動」と回答しており，「交通安全活動」が約 3 割，「防災活動」が約 3 割で続いている。
- まちづくり市民会議について，約 6 割の回答者が「知らない」と回答している。

(4) ひたちなか市への誇りや愛着について

- ひたちなか市への誇りや愛着について、「とても感じる」、「感じる」と回答した人は全体の約 5 割で前回に比べ減少している。
- 本市のことを周囲にすすめる可能性を数値化した NPS（ネットプロモータースコア）は、前回調査（R3）と同様「住むこと」の点数が最も高かった。
- 前回調査（R3）と比べて、全 9 項目において NPS が減少した。

(5) まちづくりの達成度について

- ひたちなか市は、ライフステージ（年齢に伴い変化する生活）に応じた働く場の選択肢や働き方の多様性が充実していると「とても感じる」、「感じる」との回答は全体の 1 割程度にとどまっている。
- 本市は、鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすいまちだと「とても感じる」、「感じる」との回答は全体の約 2 割となっている。
- 本市は、障害のある人に対する差別や偏見がない「共生社会」が実現されていると「とても感じる」、「感じる」との回答は全体の約 1 割となっている。

(6) 市政情報の取得について

- 市報の入手方法について、「自治会に入っているので自宅に届く」との回答が約 7 割で最も多くなった。一方で、「自宅に市報が届かないので読んでいない」との回答が 1 割あった。市報は、「すべての面を読む」との回答が 6 割、次いで「暮らしの情報面だけを読む」が 2 割弱となっている。
- 市報以外に市政の情報を得る媒体は「回覧板」が最も多く 4 割となり、「市のホームページ」が続く。「市の LINE」については、前回調査（R3）と比較して回答率が倍増した。
- ひたちなか市が情報発信を行っている SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を知っているかについては、「知らない」との回答が 5 割と最も多かったが、前回調査（R3）と比較して、1 割弱減少した。

(7) テレワークについて

- 直近 1 年間のテレワークの頻度については、「テレワークはしたことがない」が 8 割弱と最も多くなった。
- テレワークが効果的だと感じるかについては、「あまり感じない」が 1 割となった一方、「感じる」との回答が 2 割あった。

(8) 市民ニーズについて

- 適正と考えるごみ袋の大きさについては、可燃ごみは、「45 ℓ」と「20 ℓ」、不燃ごみは、「45 ℓ」と「20 ℓ」との回答となった。

(9) 持続可能な開発目標 (SDGs) について

- 持続的な開発目標 (SDGs) については、「良く知っている」もしくは「ある程度知っている」の回答が 5 割弱となった。持続的な開発目標 (SDGs) への関心についても、「とても関心がある」もしくは「関心がある」の回答が 5 割となった。
- 持続的な開発目標 (SDGs) を意識した具体的な行動については、「何かのきっかけで意識したときに行動することがある」が 2 割弱、「意識し行動している」が 1 割となった。
- 持続的な開発目標 (SDGs) を意識した具体的な行動としては、「ゴミの分別」「節電」「フードロスの削減」「マイバッグの持参」等の環境保護やエシカル消費に関するものが多く見られた。

Ⅲ 調査結果

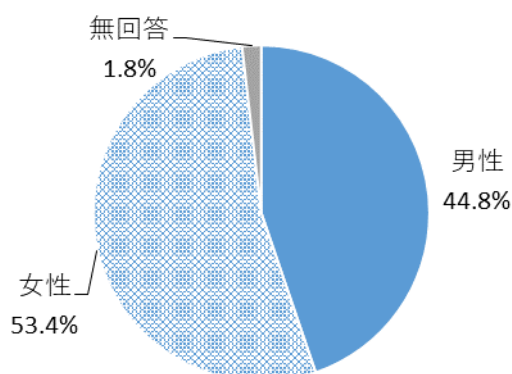
1. まちづくりに関する市民意識調査 調査結果

(1) 回答者について

問1 あなたの性別をお答えください。[1つに〇]

- 回答者の性別は「男性」が44.8%、「女性」が53.4%となっている。

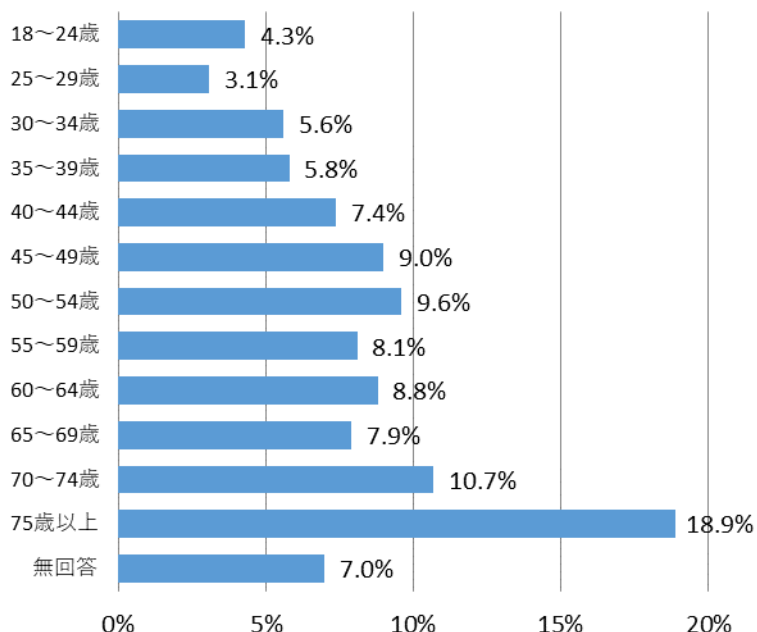
総数	1,472	100.0%
男性	659	44.8%
女性	786	53.4%
無回答	27	1.8%



問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。[1つに〇]

- 「75歳以上」が最も多く18.9%、次に「70～74歳」が10.7%、「55～59歳」が8.1%で続いている。

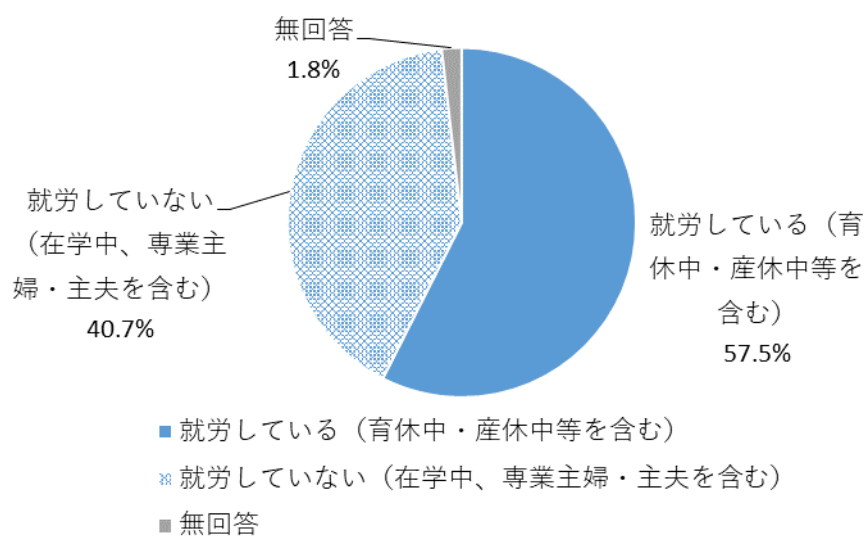
総数	1,472	100.0%
18～24歳	64	4.3%
25～29歳	45	3.1%
30～34歳	83	5.6%
35～39歳	85	5.8%
40～44歳	109	7.4%
45～49歳	132	9.0%
50～54歳	142	9.6%
55～59歳	119	8.1%
60～64歳	130	8.8%
65～69歳	116	7.9%
70～74歳	158	10.7%
75歳以上	278	18.9%
無回答	11	7.0%



問3 あなたは現在、就労していますか。[1つに〇]

- ・「就労している（育休中・産休中等を含む）」が 57.5%、「就労していない（在学中，専業主婦・主夫を含む）」が 40.7%となっている。

総数	1,472	100.0%
就労している（育休中・産休中等を含む）	846	57.5%
就労していない（在学中、専業主婦・主夫を含む）	599	40.7%
無回答	27	1.8%

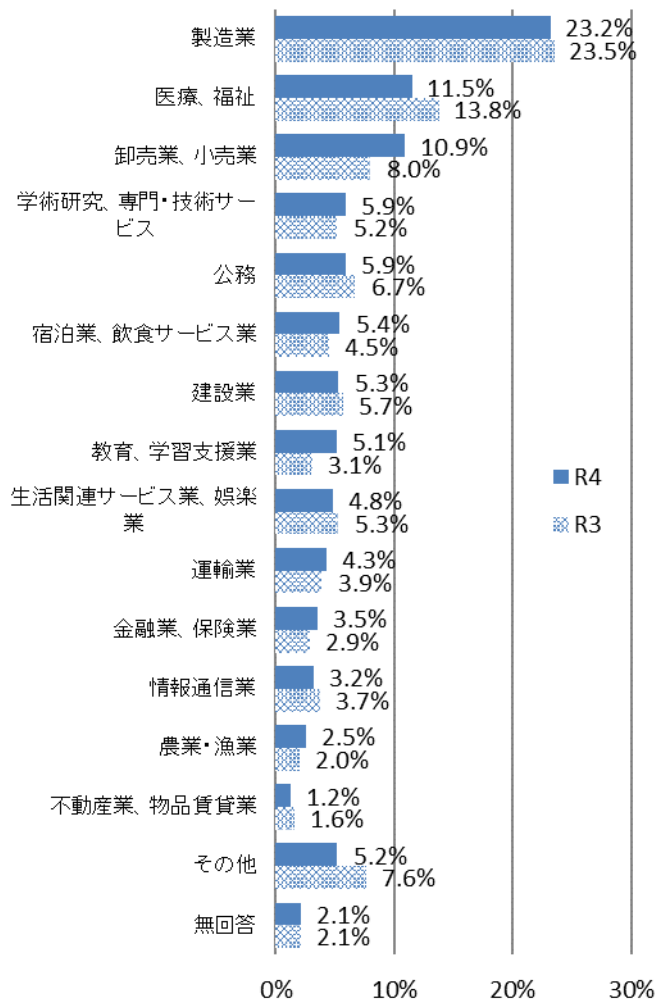


問3で「1. 就労している」と回答した方【総数 846】への設問

問3-1 ①あなたのお仕事について、業種をお答えください。[1つに〇]

・「製造業」が最も多く 23.2%、次いで「医療、福祉」が 11.5%、「卸売業、小売業」が 10.9% となっている。

業種	総数	割合
製造業	196	23.2%
医療、福祉	97	11.5%
卸売業、小売業	92	10.9%
学術研究、専門・技術サービス	50	5.9%
公務	50	5.9%
宿泊業、飲食サービス業	46	5.4%
建設業	45	5.3%
教育、学習支援業	41	5.1%
生活関連サービス業、娯楽業	36	4.8%
運輸業	30	4.3%
金融業、保険業	27	3.5%
情報通信業	21	3.2%
農業・漁業	10	2.5%
不動産業、物品賃貸業	44	1.2%
その他	43	5.2%
無回答	18	2.1%

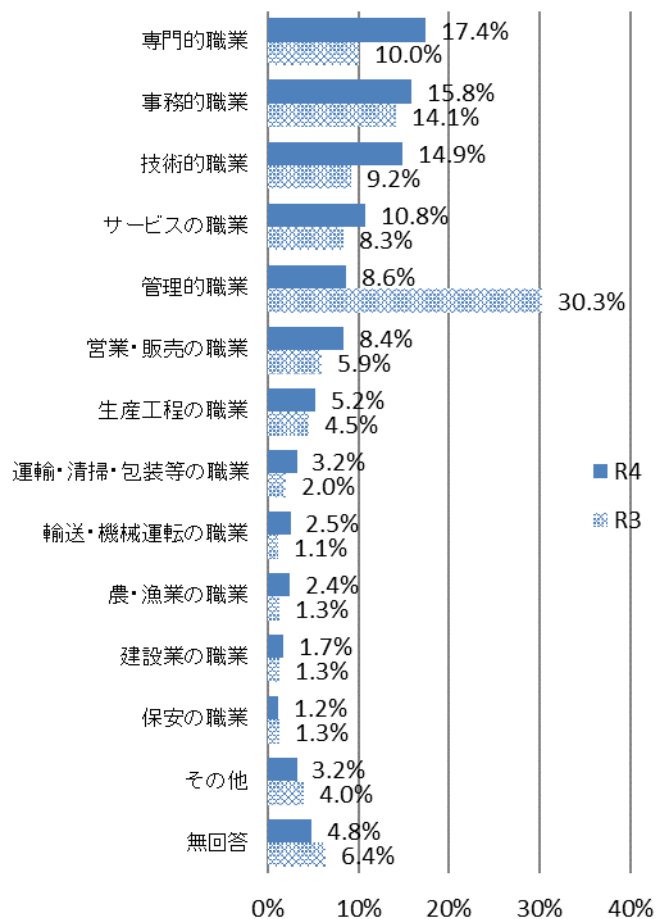


問3で「1. 就労している」と回答した方【総数 846】への設問

問3-1 ②あなたのお仕事について、職種をお答えください。[1つに〇]

・「専門的職業」が最も多く 17.4%，次いで「事務的職業」が 15.8%，「技術的職業」が 14.9% となっている。

職種	総数	割合
総数	846	100.0%
専門的職業	147	17.4%
事務的職業	134	15.8%
技術的職業	126	14.9%
サービスの職業	91	10.8%
管理的職業	73	8.6%
営業・販売の職業	71	8.4%
生産工程の職業	44	5.2%
運輸・清掃・包装等の職業	27	3.2%
輸送・機械運転の職業	21	2.5%
農・漁業の職業	20	2.4%
建設業の職業	14	1.7%
保安の職業	10	1.2%
その他	27	3.2%
無回答	41	4.8%

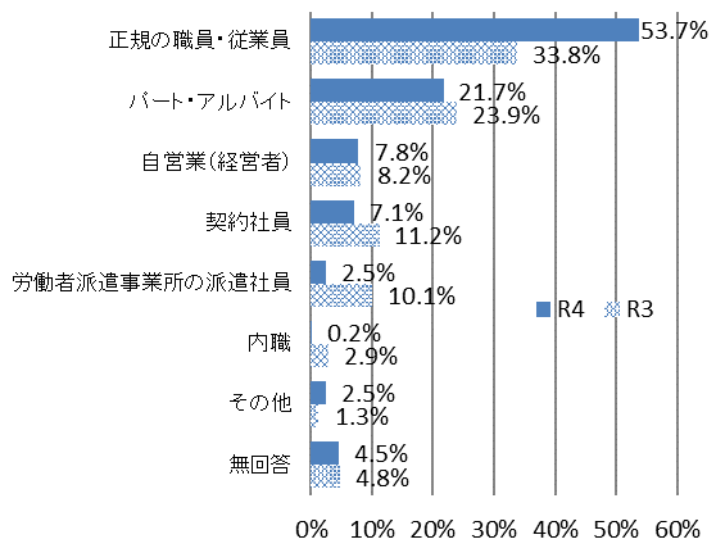


問3で「1. 就労している」と回答した方【総数 846】への設問

問3-1 ③あなたのお仕事について、就業形態をお答えください。[1つに〇]

・「正規の職員・従業員」が最も多く 53.7%，次いで「パート・アルバイト」が 21.7%，「自営業（経営者）」が 7.8%となっている。

就業形態	総数	割合
正規の職員・従業員	454	53.7%
パート・アルバイト	184	21.7%
自営業（経営者）	66	7.8%
契約社員	60	7.1%
労働者派遣事業所の派遣社員	21	2.5%
内職	2	0.2%
その他	21	2.5%
無回答	38	4.5%
合計	846	100.0%

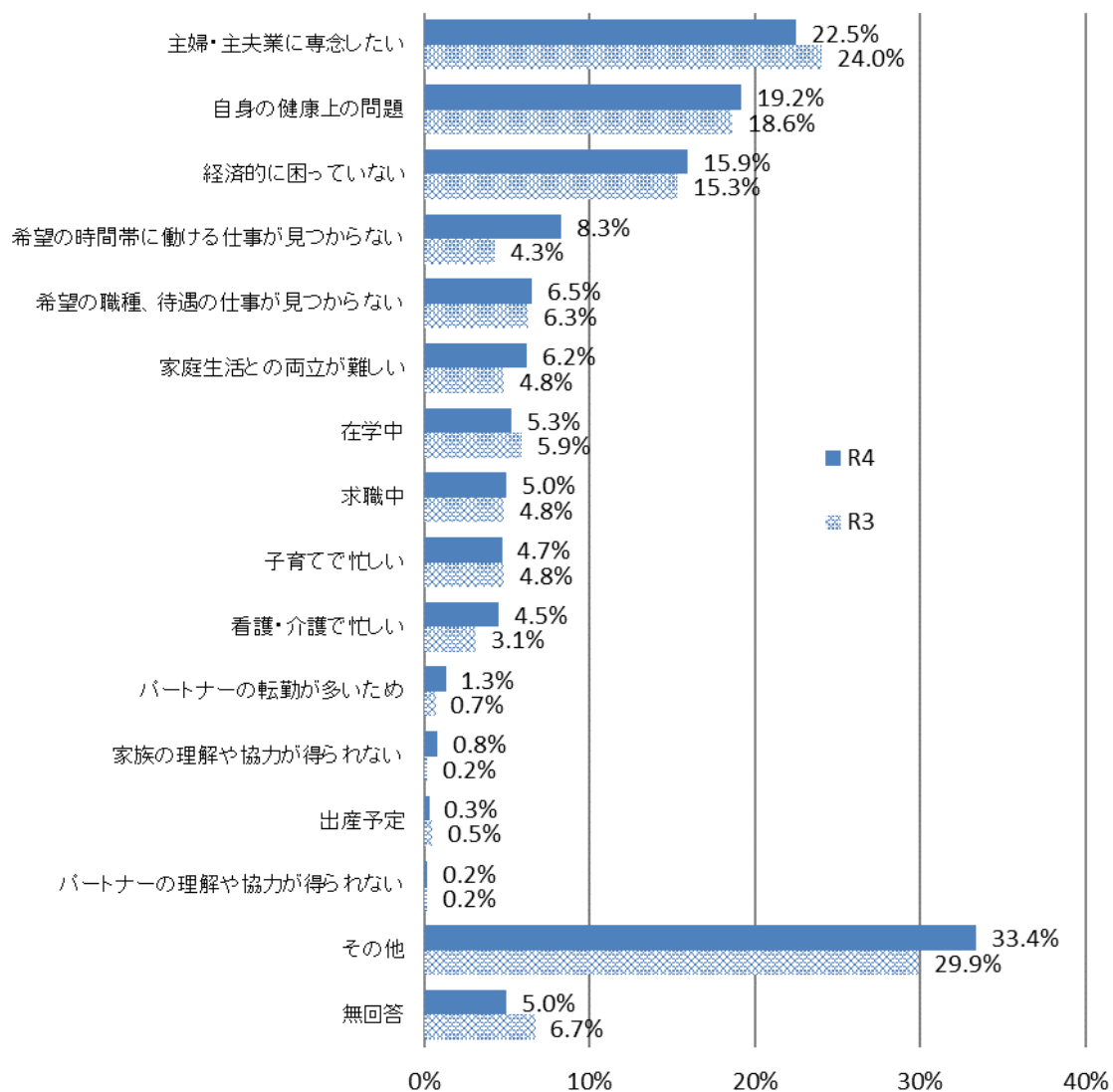


問3で「2. 就労していない」と回答した方【総数 599】への設問

問3-2 あなたが就労していない理由をお答えください。[3つまでに○]

- 「その他」が最も多く 33.4%。次いで「主婦・主夫業に専念したい」が 22.5%、「自身の健康上の問題」が 19.2%となっている。
- 「その他」の主な内容としては、「高齢であるため」「年金を受給しているため」が多く見られた。

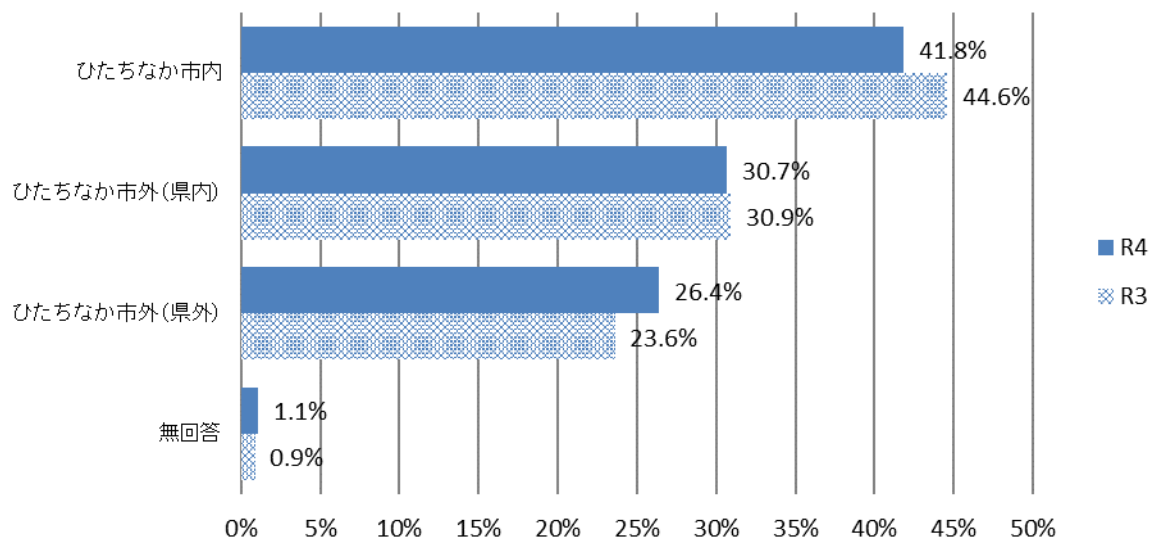
総数	599	100.0%
主婦・主夫業に専念したい	135	22.5%
自身の健康上の問題	115	19.2%
経済的に困っていない	95	15.9%
希望の時間帯に働ける仕事が見つからない	50	8.3%
希望の職種、待遇の仕事が見つからない	39	6.5%
家庭生活との両立が難しい	37	6.2%
在学中	32	5.3%
求職中	30	5.0%
子育てで忙しい	28	4.7%
看護・介護で忙しい	27	4.5%
パートナーの転勤が多いため	1	1.3%
家族の理解や協力が得られない	5	0.8%
出産予定	2	0.3%
パートナーの理解や協力が得られない	1	0.2%
その他	200	33.4%
無回答	30	5.0%



問4 あなたのご出身はどちらですか。[1つに〇]

- 「ひたちなか市内」が最も多く 41.8%、「ひたちなか市外（県内）」が 30.7%、「ひたちなか市外（県外）」が 26.4%となっている。

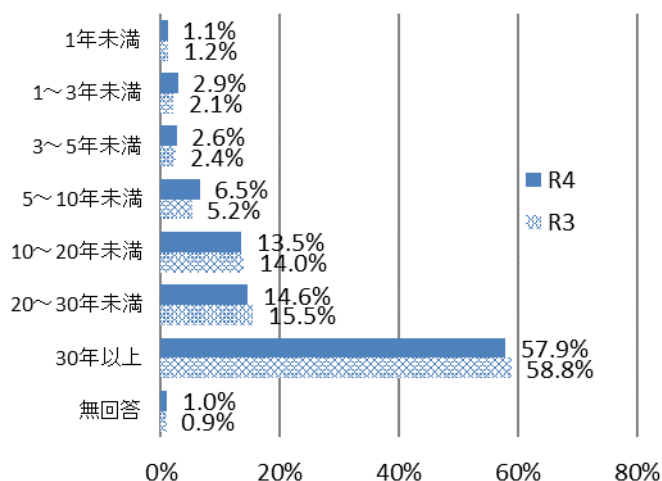
総数	1472	100.0%
ひたちなか市内	616	41.8%
ひたちなか市外（県内）	452	30.7%
ひたちなか市外（県外）	388	26.4%
無回答	16	1.1%



問5 あなたは、ひたちなか市にお住まいになって何年になりますか。[1つに〇]

- 回答者の57.9%がひたちなか市に「30年以上」住んでいると回答している。
- 「20～30年未満」が14.6%、「10～20年未満」が13.5%で続いている。

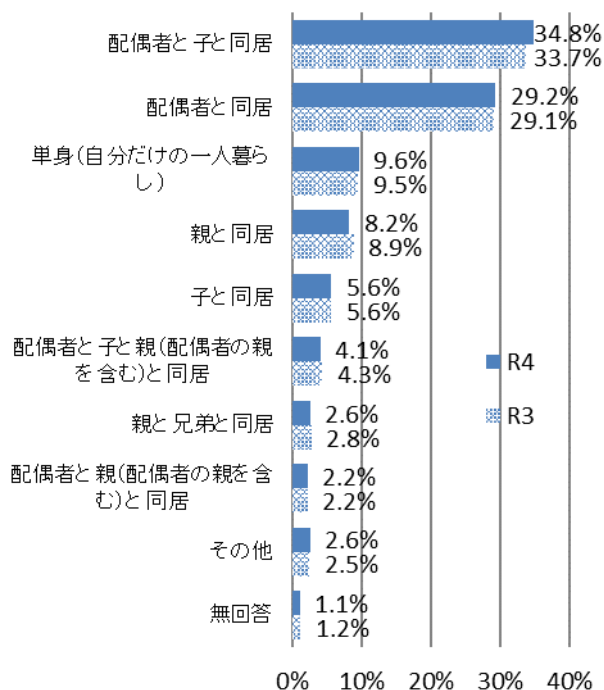
総数	1472	100.0%
1年未満	16	1.1%
1～3年未満	42	2.9%
3～5年未満	38	2.6%
5～10年未満	96	6.5%
10～20年未満	198	13.5%
20～30年未満	215	14.6%
30年以上	853	57.9%
無回答	14	1.0%



問6 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。[1つに〇]

- 同居家族の構成では、「配偶者と子と同居」が34.8%で最も多く、「配偶者と同居」が29.2%、「单身（自分だけの一人暮らし）」が9.6%で続いている。

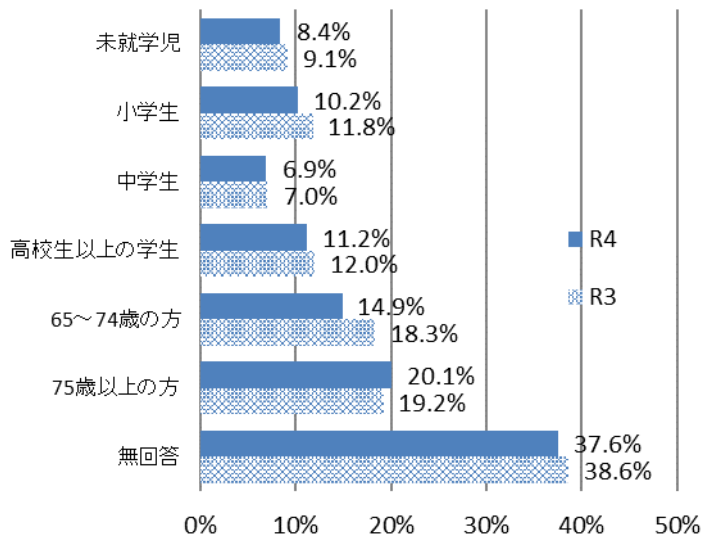
総数	1472	100.0%
配偶者と子と同居	512	34.8%
配偶者と同居	430	29.2%
单身（自分だけの一人暮らし）	141	9.6%
親と同居	120	8.2%
子と同居	82	5.6%
配偶者と子と親（配偶者の親を含む）と同居	60	4.1%
親と兄弟と同居	39	2.6%
配偶者と親（配偶者の親を含む）と同居	33	2.2%
その他	39	2.6%
無回答	16	1.1%



問7 同居家族に次の方はいますか。[該当するものすべてに○をつけてください]

- 全体の20.1%が「75歳以上の方」と同居している。また、「65～74歳の方」も14.9%で続いている。
- 「高校生以上の学生」は11.2%、「小学生」は10.2%、「未就学児」は8.4%となっている。

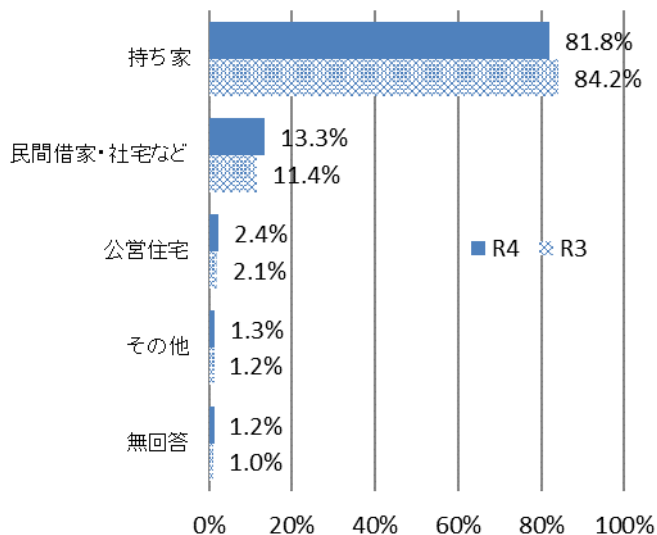
	総数	割合
総数	1472	100.0%
未就学児	123	8.4%
小学生	150	10.2%
中学生	102	6.9%
高校生以上の学生	165	11.2%
65～74歳の方	220	14.9%
75歳以上の方	296	20.1%
無回答	554	37.6%



問8 あなたがお住まいの住宅はどれにあたりますか。[1つに○]

- 「持ち家」が81.8%で最も多く、「民間借家・社宅など」が13.3%で次点となっている。

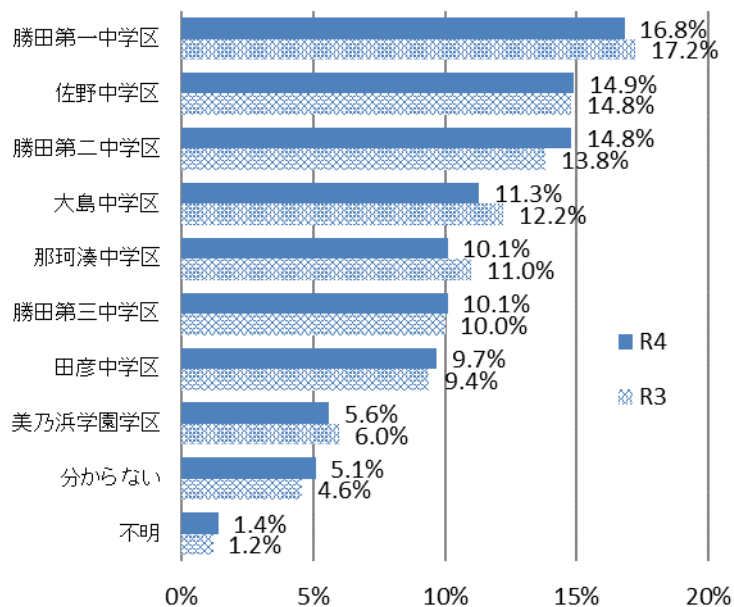
	総数	割合
総数	1472	100.0%
持ち家	1204	81.8%
民間借家・社宅など	196	13.3%
公営住宅	36	2.4%
その他	19	1.3%
無回答	17	1.2%



問9 あなたのお住まいは中学校区で分類するとどの地区ですか。[1つに〇]

・「勝田第一中学区」が16.8%で最も多く、「佐野中学区」が14.9%が続いている。

総数	1472	100.0%
勝田第一中学区	248	16.8%
佐野中学区	220	14.9%
勝田第二中学区	218	14.8%
大島中学区	166	11.3%
那珂湊中学区	149	10.1%
勝田第三中学区	149	10.1%
田彦中学区	143	9.7%
美乃浜学園学区	83	5.6%
分からない	75	5.1%
不明	21	1.4%



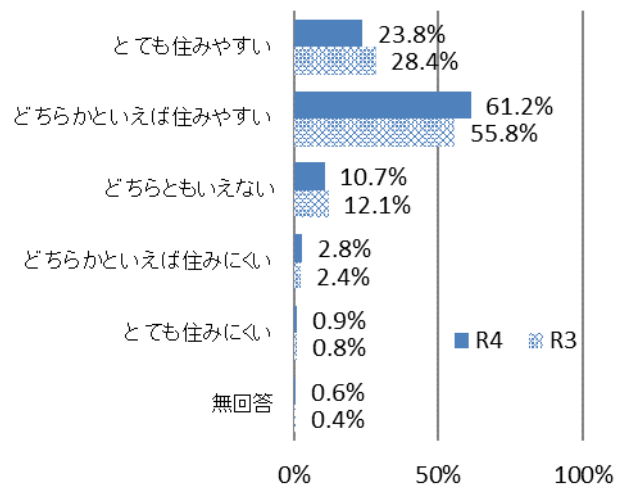
※美乃浜学園学区は旧平磯中学区と旧阿字ヶ浦中学区を統合した学区

(2) 住み心地・暮らしの満足度について

問 10 あなたは、毎日の生活のなかで、ひたちなか市の住み心地をどのように感じていますか。
[1つに○]

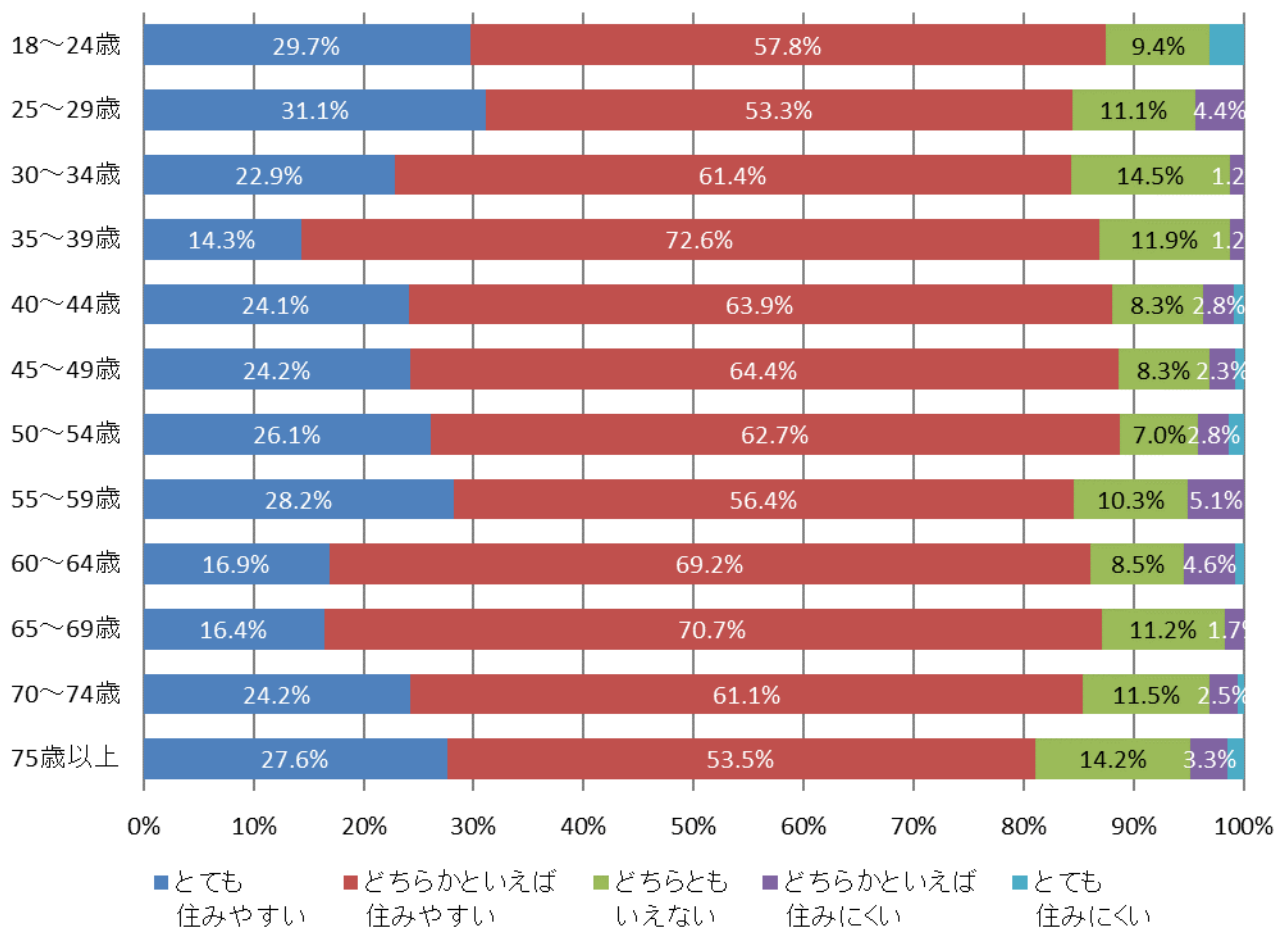
- ひたちなか市の住み心地について、「とても住みやすい」と回答した方は 23.8%となっており、前回調査（R3）の 28.4%に比べ 4.6%減少している。ただし、「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」と回答した方の合計は 85.0%と 0.8%増加している。
- 「どちらかといえば住みにくい」、「とても住みにくい」と回答した方の合計は 3.7%で前回調査 3.2%と比べ 0.5%増加している。
- 年齢別では、「とても住みやすい」との回答が最も多かったのは、「25～29 歳」の 31.1%だった。
- 学区別では、「とても住みやすい」との回答が最も多かったのは、「大島中学区」の 30.7%だった。

総数	1472	100.0%
とても住みやすい	350	23.8%
どちらかといえば住みやすい	901	61.2%
どちらともいえない	158	10.7%
どちらかといえば住みにくい	41	2.8%
とても住みにくい	13	0.9%
無回答	9	0.6%



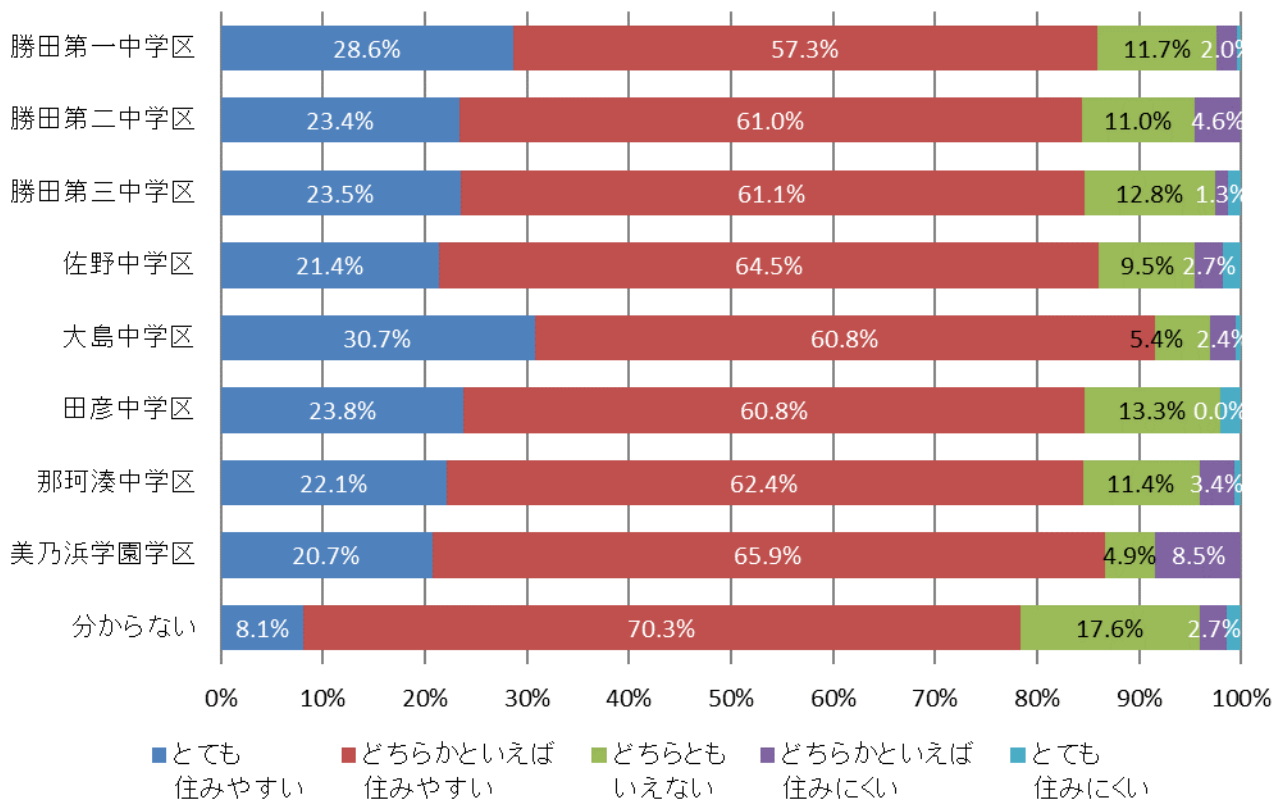
【年齢別の住み心地に対する回答（クロス分析）】

	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい
18～24歳	29.7%	57.8%	9.4%	0.0%	3.1%
25～29歳	31.1%	53.3%	11.1%	4.4%	0.0%
30～34歳	22.9%	61.4%	14.5%	1.2%	0.0%
35～39歳	14.3%	72.6%	11.9%	1.2%	0.0%
40～44歳	24.1%	63.9%	8.3%	2.8%	0.9%
45～49歳	24.2%	64.4%	8.3%	2.3%	0.8%
50～54歳	26.1%	62.7%	7.0%	2.8%	1.4%
55～59歳	28.2%	56.4%	10.3%	5.1%	0.0%
60～64歳	16.9%	69.2%	8.5%	4.6%	0.8%
65～69歳	16.4%	70.7%	11.2%	1.7%	0.0%
70～74歳	24.2%	61.1%	11.5%	2.5%	0.6%
75歳以上	27.6%	53.5%	14.2%	3.3%	1.5%



【学校区別の住み心地に対する回答（クロス分析）】

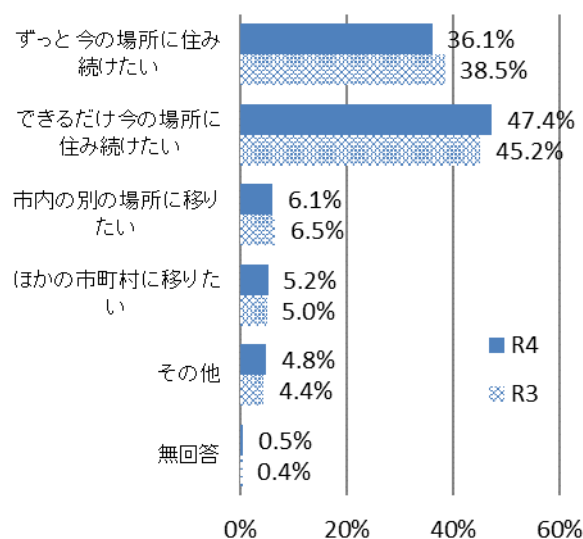
	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい
勝田第一中学区	28.6%	57.3%	11.7%	2.0%	0.4%
勝田第二中学区	23.4%	61.0%	11.0%	4.6%	0.0%
勝田第三中学区	23.5%	61.1%	12.8%	1.3%	1.3%
佐野中学区	21.4%	64.5%	9.5%	2.7%	1.8%
大島中学区	30.7%	60.8%	5.4%	2.4%	0.6%
田彦中学区	23.8%	60.8%	13.3%	0.0%	2.1%
那珂湊中学区	22.1%	62.4%	11.4%	3.4%	0.7%
美乃浜学園学区	20.7%	65.9%	4.9%	8.5%	0.0%
分からない	8.1%	70.3%	17.6%	2.7%	1.4%



問 11 あなたは、ひたちなか市への定住についてどのように感じていますか。[1つに〇]

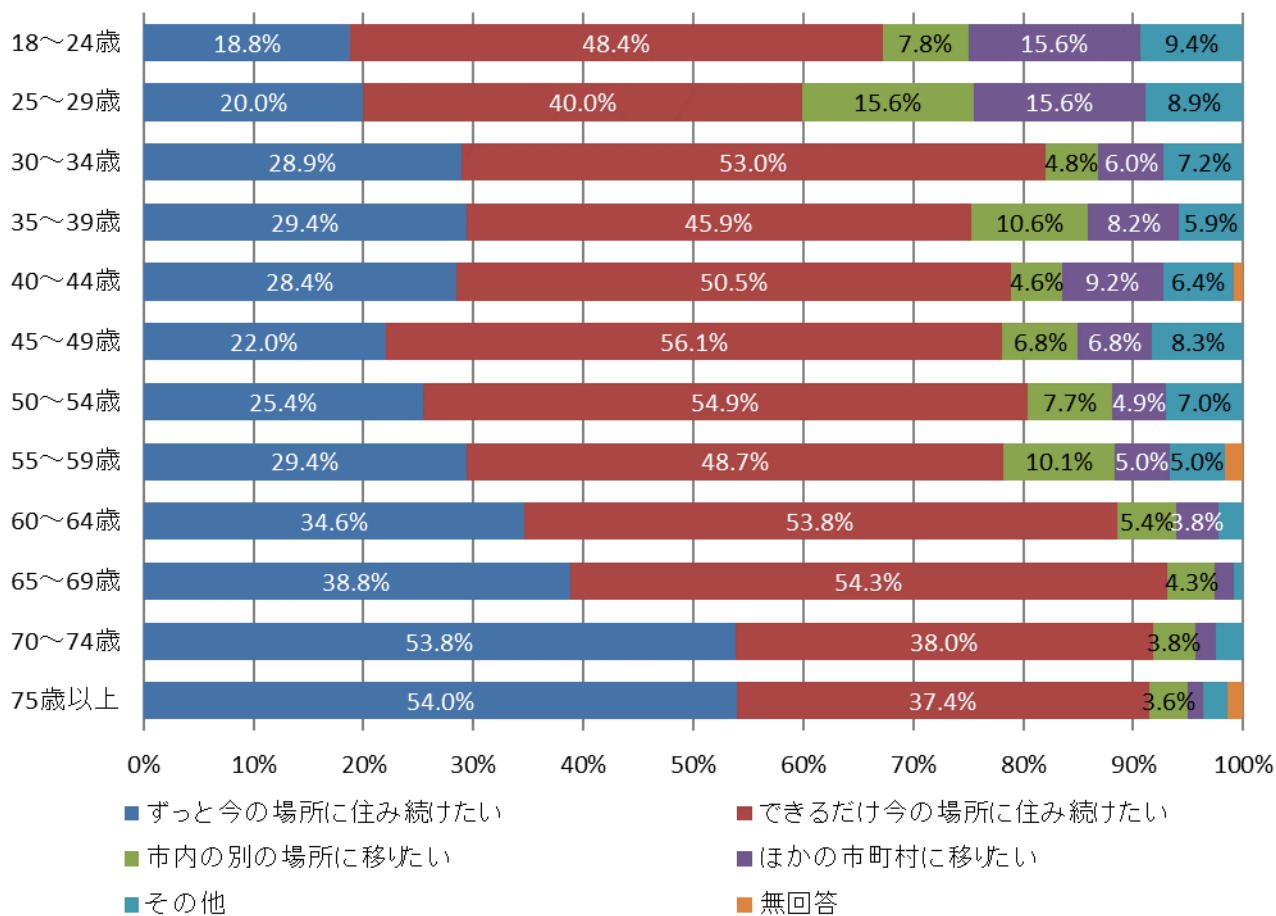
- ひたちなか市への定住意向について、「ずっと今の場所に住み続けたい」と回答した方は 36.1% となっており、前回調査（R3）の 38.5% に比べ 2.4% 減少している。
- 年齢別では、「ずっと今の場所に住み続けたい」との回答が最も多かったのは、「75 歳以上」の 54.0% だった。
- 学区別では、「ずっと今の場所に住み続けたい」との回答が最も多かったのは、「美乃浜学園学区」の 48.2% だった。

総数	1,472	100.0%
ずっと今の場所に住み続けたい	531	36.1%
できるだけ今の場所に住み続けたい	697	47.4%
市内の別の場所に移りたい	90	6.1%
ほかの市町村に移りたい	76	5.2%
その他	70	4.8%
無回答	8	0.5%



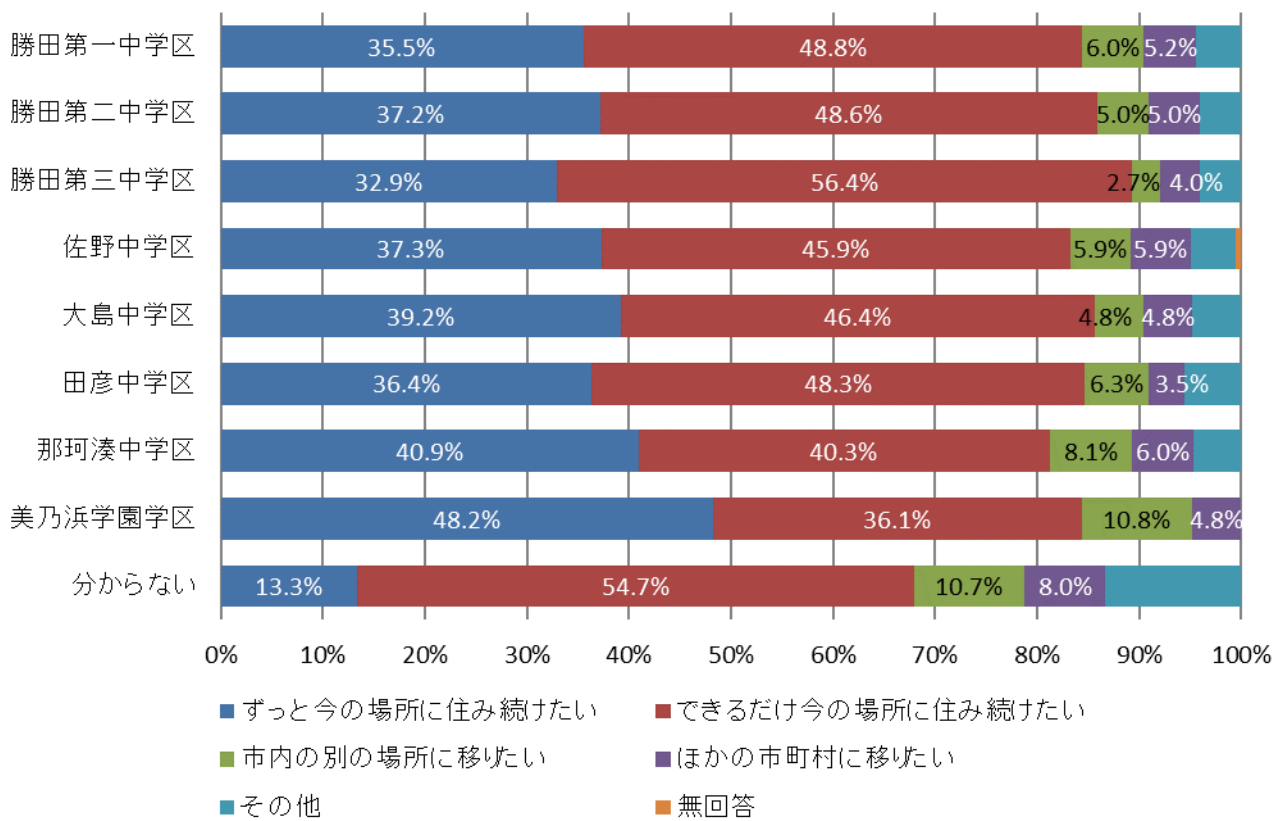
【年齢別の定住についての意向の回答（クロス分析）】

	ずっと今の場所に住み続けたい	できるだけ今の場所に住み続けたい	市内の別の場所に移りたい	ほかの市町村に移りたい	その他	無回答
18～24歳	18.8%	48.4%	7.8%	15.6%	9.4%	0.0%
25～29歳	20.0%	40.0%	15.6%	15.6%	8.9%	0.0%
30～34歳	28.9%	53.0%	4.8%	6.0%	7.2%	0.0%
35～39歳	29.4%	45.9%	10.6%	8.2%	5.9%	0.0%
40～44歳	28.4%	50.5%	4.6%	9.2%	6.4%	0.9%
45～49歳	22.0%	56.1%	6.8%	6.8%	8.3%	0.0%
50～54歳	25.4%	54.9%	7.7%	4.9%	7.0%	0.0%
55～59歳	29.4%	48.7%	10.1%	5.0%	5.0%	1.7%
60～64歳	34.6%	53.8%	5.4%	3.8%	2.3%	0.0%
65～69歳	38.8%	54.3%	4.3%	1.7%	0.9%	0.0%
70～74歳	53.8%	38.0%	3.8%	1.9%	2.5%	0.0%
75歳以上	54.0%	37.4%	3.6%	1.4%	2.2%	1.4%



【学校区別の定住についての意向の回答（クロス分析）】

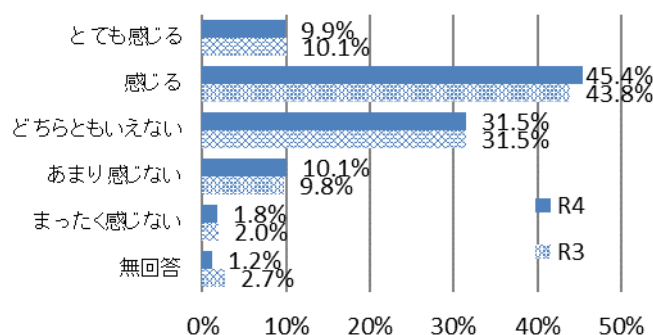
	ずっと今の場所に住みたい	できるだけ今の場所に住みたい	市内の別の場所に移りたい	ほかの市町村に移りたい	その他	無回答
勝田第一中学区	35.5%	48.8%	6.0%	5.2%	4.4%	0.0%
勝田第二中学区	37.2%	48.6%	5.0%	5.0%	4.1%	0.0%
勝田第三中学区	32.9%	56.4%	2.7%	4.0%	4.0%	0.0%
佐野中学区	37.3%	45.9%	5.9%	5.9%	4.5%	0.5%
大島中学区	39.2%	46.4%	4.8%	4.8%	4.8%	0.0%
田彦中学区	36.4%	48.3%	6.3%	3.5%	5.6%	0.0%
那珂湊中学区	40.9%	40.3%	8.1%	6.0%	4.7%	0.0%
美乃浜学園学区	48.2%	36.1%	10.8%	4.8%	0.0%	0.0%
分からない	13.3%	54.7%	10.7%	8.0%	13.3%	0.0%



問 12 あなたは、生きがいを持って暮らしていると感じますか。[1つに〇]

- 生きがいを持って暮らしていると「とても感じる」との回答は9.9%にとどまっており、「感じる」との回答が45.4%で最多、「どちらとも言えない」が31.5%で続いている。
- 性別の回答では、「とても感じる」「感じる」の回答は男性のほうが多くなっている。
- 年齢別の回答では、「とても感じる」,「感じる」の合計は「30～34 歳」で62.7%と最も多く,「70～74 歳」で48.8%と最も少ない。

総数	1472	100.0%
とても感じる	146	9.9%
感じる	669	45.4%
どちらとも言えない	463	31.5%
あまり感じない	149	10.1%
まったく感じない	27	1.8%
無回答	18	1.2%

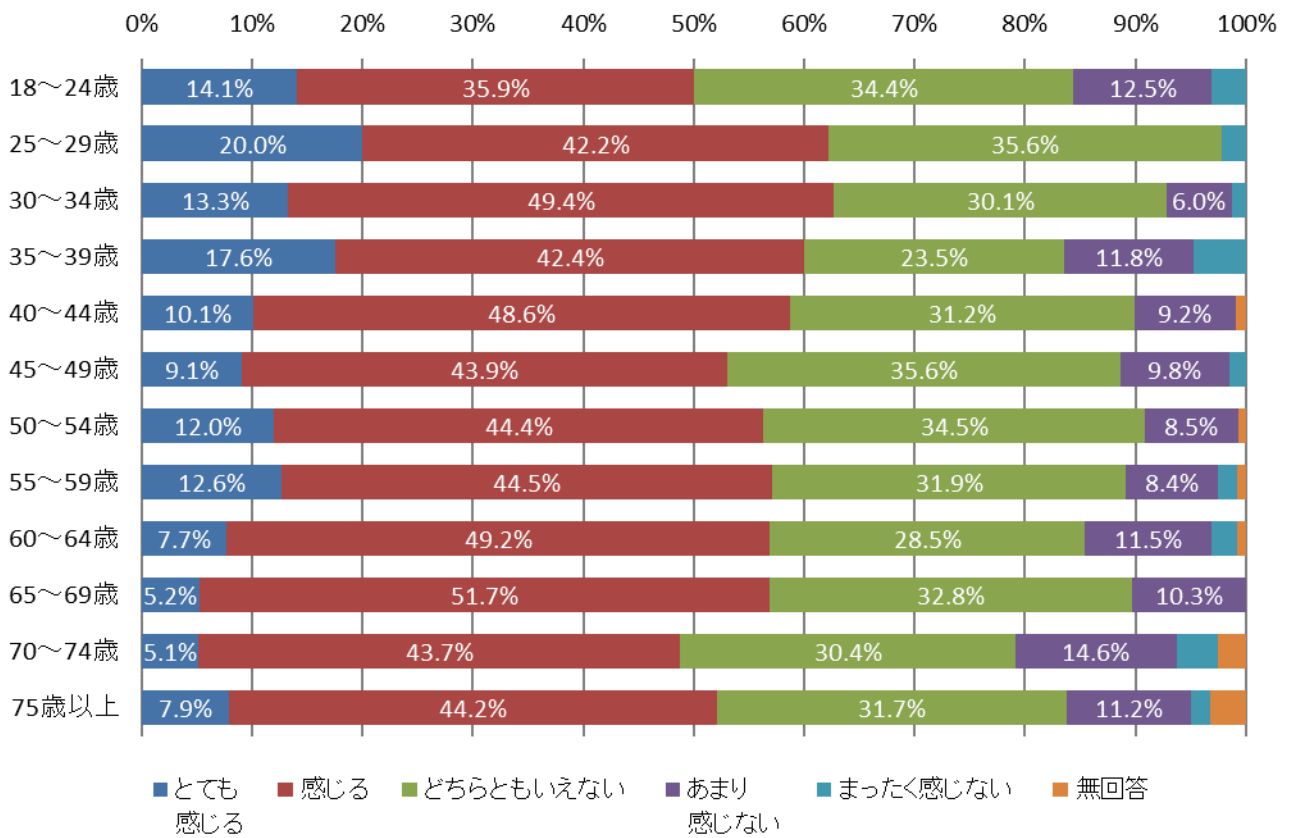


【性別の生きがいに対する回答（クロス分析）】

	とても感じる	感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	10.0%	45.6%	31.3%	10.3%	1.7%	1.1%
男性	11.2%	48.0%	28.8%	8.8%	2.1%	1.1%
女性	8.9%	43.6%	33.3%	11.6%	1.4%	1.1%

【年齢別の生きがいに対する回答（クロス分析）】

	とても感じる	感じる	どちらとも言えない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
75歳以上	7.9%	44.2%	31.7%	11.2%	1.8%	3.2%
70～74歳	5.1%	43.7%	30.4%	14.6%	3.8%	2.5%
65～69歳	5.2%	51.7%	32.8%	10.3%	0.0%	0.0%
60～64歳	7.7%	49.2%	28.5%	11.5%	2.3%	0.8%
55～59歳	12.6%	44.5%	31.9%	8.4%	1.7%	0.8%
50～54歳	12.0%	44.4%	34.5%	8.5%	0.0%	0.7%
45～49歳	9.1%	43.9%	35.6%	9.8%	1.5%	0.0%
40～44歳	10.1%	48.6%	31.2%	9.2%	0.0%	0.9%
35～39歳	17.6%	42.4%	23.5%	11.8%	4.7%	0.0%
30～34歳	13.3%	49.4%	30.1%	6.0%	1.2%	0.0%
25～29歳	20.0%	42.2%	35.6%	0.0%	2.2%	0.0%
18～24歳	14.1%	35.9%	34.4%	12.5%	3.1%	0.0%



問 13 現在の、本市のまちづくりに関する取組に対する「満足度」と、今後の5年間（令和3年度から令和7年度まで）の取組に対する「充実希望度」について、各項目別に当てはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

【満足度に対する点数及び回答結果】

「とても満足」の回答を5点、「やや満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を2点、「とても不満」を1点として集計し、各項目で平均点を算出した。

- ・点数が高い上位3項目は「3 消防・救急体制について」、「25 安全安心な水の安定供給について」、「29 ごみ処理対策やリサイクルの推進について」となっている。

No	項目	点数	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満
1	防災対策（防災力の強化・防災基盤の整備）について	3.26	4.0%	33.1%	50.6%	9.9%	2.5%
2	河川、雨水幹線の整備（冠水被害対策）について	3.06	3.8%	28.3%	42.5%	21.1%	4.3%
3	消防・救急体制について	3.50	9.3%	40.2%	43.0%	5.8%	1.7%
4	防犯対策について	3.16	3.3%	26.6%	54.4%	13.8%	1.8%
5	交通安全対策について	3.09	3.4%	26.8%	49.0%	16.8%	4.0%
6	企業誘致と雇用の創出について	3.00	2.4%	19.3%	57.6%	17.3%	3.5%
7	産業の活性化について	2.98	2.3%	18.8%	56.4%	20.1%	2.4%
8	商業振興について	2.95	2.4%	20.7%	50.7%	21.8%	4.4%
9	農業振興について	3.07	2.8%	18.0%	64.6%	12.6%	2.1%
10	水産業振興について	3.15	3.3%	20.7%	65.5%	8.9%	1.6%
11	観光振興について	2.96	3.1%	22.5%	47.1%	22.4%	4.9%
12	地域福祉（近所での見守り活動等による地域での助け合い等）について	3.11	3.3%	24.4%	55.8%	13.3%	3.2%
13	高齢者支援について	3.04	2.3%	21.3%	58.5%	14.4%	3.5%
14	障害者支援について	3.04	1.9%	16.3%	68.6%	10.5%	2.8%
15	保健医療体制や各種予防対策について	3.18	5.0%	28.3%	48.9%	14.6%	3.1%
16	生活困窮者支援について	3.01	1.7%	12.8%	73.7%	8.8%	3.0%
17	子育て支援について	2.99	2.5%	19.3%	57.6%	15.7%	4.9%
18	教育環境について	3.02	2.4%	19.3%	59.6%	15.2%	3.6%
19	青少年の健全育成について	3.07	1.7%	14.7%	74.3%	7.7%	1.6%
20	生涯学習環境（図書館、コミュニティセンター等）について	3.10	3.6%	24.5%	53.6%	15.1%	3.2%
21	スポーツ振興について	3.13	2.4%	18.6%	70.5%	7.1%	1.4%
22	芸術・文化振興について	3.05	1.9%	16.1%	69.0%	11.0%	1.9%
23	良好な居住環境の整備について	3.06	3.3%	23.8%	52.6%	16.3%	4.0%
24	道路の整備について	2.86	3.1%	22.7%	38.1%	29.5%	6.6%
25	安全安心な水の安定供給について	3.44	9.7%	35.1%	46.4%	7.3%	1.5%
26	下水道の整備について	3.07	6.2%	25.6%	44.5%	16.3%	7.5%
27	公園・緑地の整備について	3.16	5.6%	27.6%	47.4%	16.1%	3.4%
28	環境保全対策について	3.14	2.8%	19.9%	67.4%	8.0%	1.9%
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	3.33	6.8%	34.8%	45.5%	10.0%	2.8%
30	公共交通機関（バスや鉄道等）について	2.88	2.6%	18.5%	49.7%	22.8%	6.5%
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	3.08	2.7%	15.4%	71.5%	7.8%	2.6%
32	市の魅力発信による交流の促進について	2.96	1.5%	12.7%	68.7%	14.8%	2.3%
33	男女共同参画の推進について	3.04	1.5%	10.0%	80.5%	6.7%	1.2%
34	市政情報の発信について	3.11	2.2%	21.3%	64.6%	9.6%	2.4%
35	市民意見の市政への反映について	2.92	1.6%	11.0%	69.5%	13.9%	4.1%
36	市へ意見を言える機会について	2.85	1.5%	9.2%	66.9%	17.2%	5.2%
37	効率的な市役所の運営について	2.98	2.6%	15.0%	65.0%	13.2%	4.3%
	平均点	3.08					

【充実希望度に対する点数及び回答結果】

「特に優先して充実すべき」の回答を5点、「充実すべき」を4点、「現状程度でよい」を3点、「それほど力を入れなくてよい」を2点、「優先順を下げるべき」を1点として集計し、各項目で平均点を算出した。

- 点数が高い上位3項目は「17 子育て支援について」、「2 河川、雨水幹線の整備（冠水被害対策）について」、「18 教育環境について」となっている。
- その他に取り組むべき事項として、「道路対策（具体的な地名を挙げて）」、「ロックインジャパンの再誘致」、「コミュニティバスの拡充」等の意見が挙がっていた。

No	項目	合計	特に優先して充実すべき	充実すべき	現状維持程度でよい	それほど力を入れなくてよい	優先順位を下げるべき
1	防災対策（防災力の強化・防災基盤の整備）についての	3.67	11.0%	47.4%	39.9%	1.6%	0.1%
2	河川、雨水幹線の整備（冠水被害対策）について	3.77	14.0%	51.3%	33.0%	1.5%	0.3%
3	消防・緊急体制について	3.59	10.2%	40.0%	48.6%	1.1%	0.1%
4	防犯対策について	3.67	9.4%	49.6%	39.9%	1.0%	0.1%
5	交通安全対策について	3.69	12.2%	45.6%	41.2%	0.9%	0.1%
6	企業誘致と雇用の創出について	3.65	10.9%	45.8%	40.7%	2.4%	0.2%
7	産業の活性化について	3.67	10.3%	48.4%	39.7%	1.5%	0.1%
8	商業振興について	3.69	11.2%	48.6%	38.7%	1.5%	0.1%
9	農業振興について	3.50	7.6%	38.7%	50.5%	2.6%	0.5%
10	水産業振興について	3.46	6.0%	37.2%	54.1%	2.4%	0.3%
11	観光振興について	3.66	13.9%	43.2%	39.1%	3.1%	0.7%
12	地域福祉（近所での見守り活動等による地域でのあつけ合い等）について	3.54	8.9%	39.1%	49.3%	2.1%	0.6%
13	高齢者支援について	3.62	11.4%	43.9%	40.8%	2.9%	1.0%
14	障害者支援について	3.58	9.7%	41.6%	46.7%	1.5%	0.5%
15	保健医療体制や各種予防対策について	3.67	12.7%	43.0%	42.9%	1.2%	0.1%
16	生活困窮者支援について	3.42	6.6%	35.3%	53.2%	3.2%	1.7%
17	子育て支援について	3.78	18.8%	42.5%	36.6%	1.7%	0.4%
18	教育環境について	3.77	17.2%	43.9%	37.7%	0.9%	0.4%
19	青少年の健全育成について	3.46	5.9%	37.2%	54.7%	1.9%	0.3%
20	生涯学習環境（図書館、コミュニティセンター等）について	3.50	6.9%	38.7%	51.9%	2.4%	0.1%
21	スポーツ振興について	3.31	3.2%	28.5%	65.0%	3.0%	0.5%
22	芸術・文化振興について	3.34	4.0%	29.9%	63.0%	2.3%	0.8%
23	良好な居住環境の整備について	3.62	8.3%	47.2%	43.1%	1.1%	0.3%
24	道路の整備について	3.74	14.2%	48.4%	35.5%	1.6%	0.4%
25	充実希望度・安全安心な水の安定供給について	3.50	8.9%	34.0%	55.8%	1.2%	0.1%
26	下水道の整備について	3.63	12.6%	39.7%	46.3%	1.0%	0.4%
27	公園・緑地の整備について	3.50	7.6%	37.4%	52.7%	2.0%	0.4%
28	環境保全対策について	3.44	5.0%	34.8%	58.9%	1.1%	0.2%
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	3.45	6.7%	34.2%	57.1%	1.6%	0.4%
30	公共交通機関（バスや鉄道等）について	3.60	10.9%	41.1%	45.5%	2.5%	0.1%
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	3.14	2.4%	19.8%	69.0%	7.0%	1.8%
32	市の魅力発信による交流の促進について	3.36	5.3%	31.6%	58.1%	4.1%	0.8%
33	男女共同参画の推進について	3.23	2.7%	24.3%	68.2%	3.6%	1.3%
34	市政情報の発信について	3.31	4.1%	27.1%	65.9%	2.3%	0.8%
35	市民意見の市政への反映について	3.47	6.7%	36.3%	55.2%	1.1%	0.7%
36	市への意見を言える機会について	3.50	7.6%	36.7%	54.0%	1.4%	0.4%
37	効率的な市役所の運営について	3.50	8.3%	35.5%	54.5%	1.3%	0.5%

【点数化による評価】

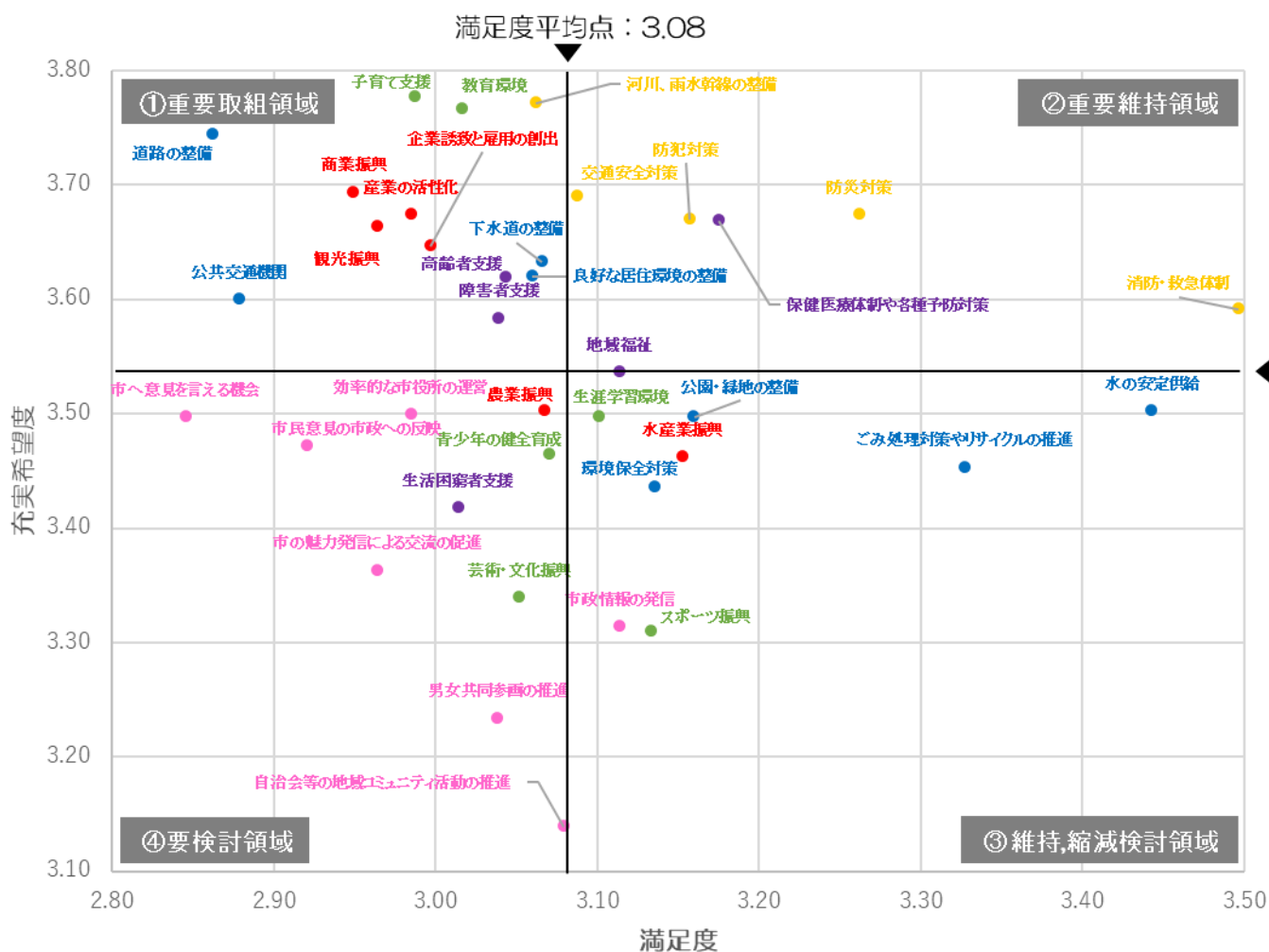
問 13 で調査した、本市のまちづくりに関する取組への市民の評価について、算出した点数を基に、横軸に「満足度」、縦軸に「充実希望度」を取りグラフ化した。

※項目の分類について

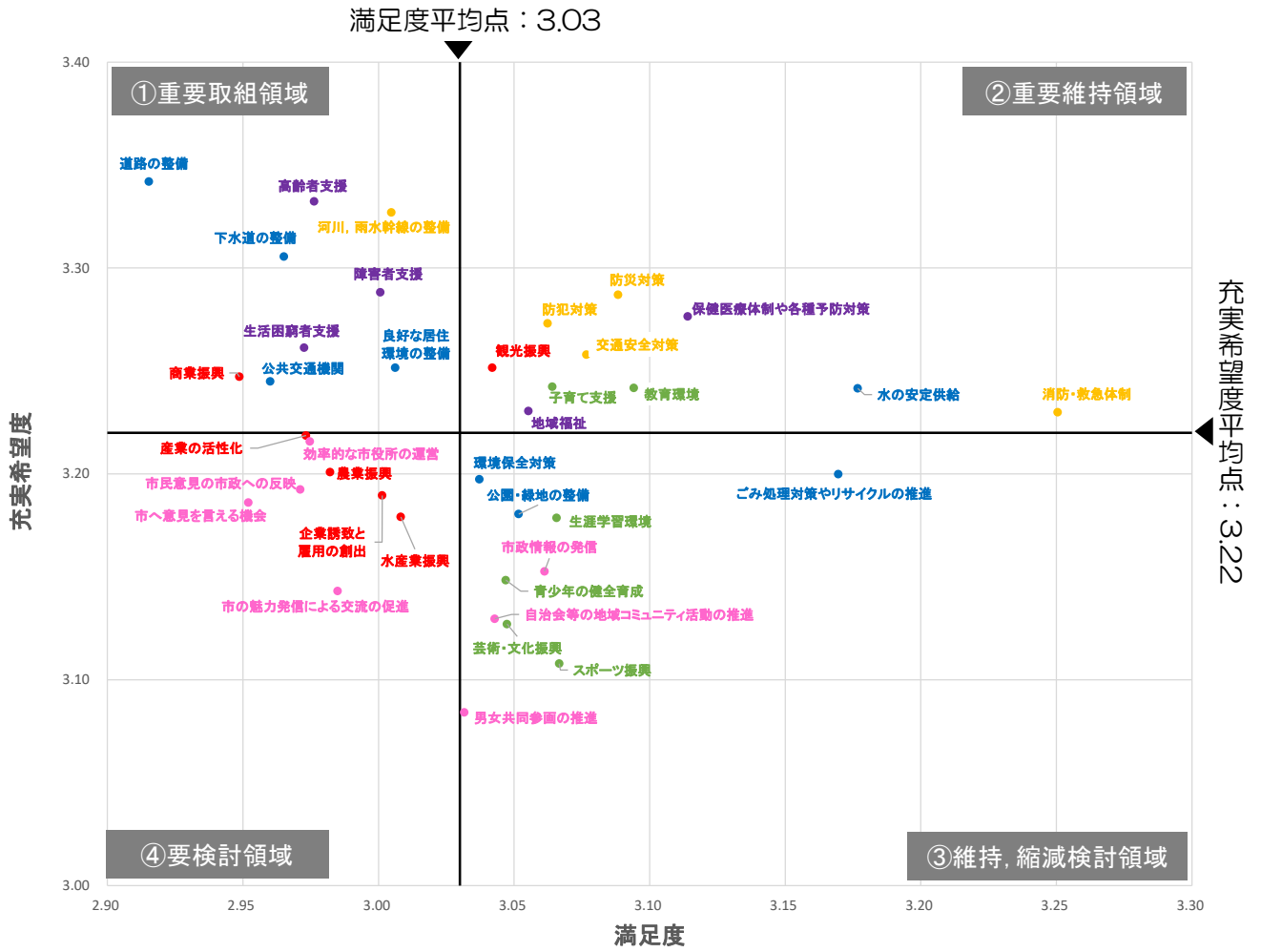
分類	領域について	説明
①重要取組領域	「満足度」が低く、「充実希望度」が高い	重点的に取り組みを進める必要がある項目。
②重要維持領域	「満足度」も「充実希望度」も高い	引き続き重点的に維持していく項目。
③維持・縮減検討領域	「満足度」が高く、「充実希望度」が低い	現状の維持或いは、取り組みの縮減を検討していく項目。
④要検討領域	「満足度」も「充実希望度」も低い	市民ニーズを再認識し、必要に応じて大きく改善する必要がある項目。

ひたちなか市第3次総合計画基本構想の章毎に項目を色分け

1. 災害に強く安全安心に暮らせるまちづくり
2. 多様な産業が発展しにぎわいあふれるまちづくり
3. ともに支えあい末永く健やかに暮らせるまちづくり
4. こどもたちがのびのびと成長し豊かな人間性が育まれるまちづくり
5. やすらぎと潤いにあふれ快適に暮らせるまちづくり
6. 市民とともに歩む人と人がつながるまちづくり



※前回調査 (R3) との比較



※前回調査（R3）との点数の比較

- ・前回調査（R3）との比較では、満足度は、全体で27項目の点数が増加した。このうち「25 安全安心な水の安定供給について」が最も点数の増加幅が大きかった。反対に「36 市へ意見を言える機会について」は、最も点数の減少幅が大きかった。
- ・充実希望度は、全37項目すべてにおいて点数が増加した。このうち「17 子育て支援について」が最も点数の増加幅が大きかった。

No	項目	R3増減 (R4-R3)		R4点数		R3点数	
		満足度	充実 希望度	満足度	充実 希望度	満足度	充実 希望度
1	防災対策（防災力の強化・防災基盤の整備）について	0.17	0.38	3.26	3.67	3.09	3.29
2	河川、雨水幹線の整備（冠水被害対策）について	0.06	0.44	3.06	3.77	3.00	3.33
3	消防・救急体制について	0.25	0.36	3.50	3.59	3.25	3.23
4	防犯対策について	0.10	0.40	3.16	3.67	3.06	3.27
5	交通安全対策について	0.01	0.41	3.09	3.69	3.08	3.28
6	企業誘致と雇用の創出について	0.00	0.46	3.00	3.65	3.00	3.19
7	産業の活性化について	0.01	0.45	2.98	3.67	2.97	3.22
8	商業振興について	0.00	0.44	2.95	3.69	2.95	3.25
9	農業振興について	0.09	0.30	3.07	3.50	2.98	3.20
10	水産業振興について	0.14	0.28	3.15	3.46	3.01	3.18
11	観光振興について	-0.08	0.41	2.96	3.66	3.04	3.25
12	地域福祉（近所での見守り活動等による地域での助け合い等）について	0.05	0.31	3.11	3.54	3.06	3.23
13	高齢者支援について	0.06	0.29	3.04	3.62	2.98	3.33
14	障害者支援について	0.04	0.29	3.04	3.58	3.00	3.29
15	保健医療体制や各種予防対策について	0.07	0.39	3.18	3.67	3.11	3.28
16	生活困窮者支援について	0.04	0.16	3.01	3.42	2.97	3.26
17	子育て支援について	-0.07	0.54	2.99	3.78	3.06	3.24
18	教育環境について	-0.07	0.53	3.02	3.77	3.09	3.24
19	青少年の健全育成について	0.02	0.31	3.07	3.46	3.05	3.15
20	生涯学習環境（図書館、コミュニティセンター等）について	0.03	0.32	3.10	3.50	3.07	3.18
21	スポーツ振興について	0.06	0.20	3.13	3.31	3.07	3.11
22	芸術・文化振興について	0.00	0.21	3.05	3.34	3.05	3.13
23	良好な居住環境の整備について	0.05	0.37	3.06	3.62	3.01	3.25
24	道路の整備について	-0.06	0.40	2.86	3.74	2.92	3.34
25	安全安心な水の安定供給について	0.26	0.26	3.44	3.50	3.18	3.24
26	下水道の整備について	0.10	0.32	3.07	3.63	2.97	3.31
27	公園・緑地の整備について	0.11	0.32	3.16	3.50	3.05	3.18
28	環境保全対策について	0.10	0.24	3.14	3.44	3.04	3.20
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	0.16	0.25	3.33	3.45	3.17	3.20
30	公共交通機関（バスや鉄道等）について	-0.08	0.36	2.88	3.60	2.96	3.24
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	0.04	0.01	3.08	3.14	3.04	3.13
32	市の魅力発信による交流の促進について	-0.02	0.22	2.96	3.36	2.98	3.14
33	男女共同参画の推進について	0.01	0.15	3.04	3.23	3.03	3.08
34	市政情報の発信について	0.05	0.16	3.11	3.31	3.06	3.15
35	市民意見の市政への反映について	-0.05	0.28	2.92	3.47	2.97	3.19
36	市へ意見を言える機会について	-0.10	0.31	2.85	3.50	2.95	3.19
37	効率的な市役所の運営について	0.01	0.28	2.98	3.50	2.97	3.22
			平均点	3.08	3.54	3.03	3.22

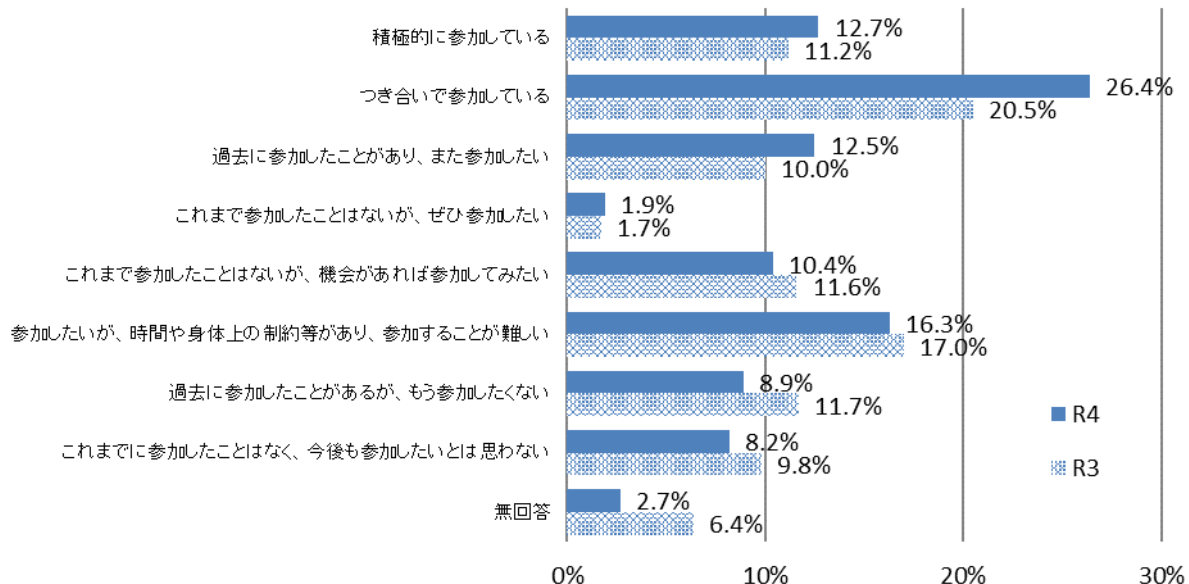
増加した数値
 減少した数値

(3) 地域活動・住民参加について

問 14 あなたは、社会活動（地域コミュニティや自治会、子ども会などの地域活動、奉仕活動など）にどの程度参加していますか。[1つに〇]

- 社会活動への参加について、「積極的に参加している」は 12.7%で前回調査（R3）の 11.2%から 1.5%増加した。
- 「積極的に参加している」、「付き合いで参加している」の合計は、前回調査（R3）の 31.7%から 7.4%増加して、39.1%になっている。
- 「過去に参加したことがあるが、もう参加したくない」、「これまでに参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」の合計は 17.1%と前回から 4.4%減少している。

	総数		
		1,472	100.0%
積極的に参加している	187		12.7%
付き合いで参加している	388		26.4%
過去に参加したことがあるが、また参加したい	184		12.5%
これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい	28		1.9%
これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい	153		10.4%
参加したいが、時間や身体上の制約等があり、参加することが難しい	240		16.3%
過去に参加したことがあるが、もう参加したくない	131		8.9%
これまでに参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	121		8.2%
無回答	40		2.7%



問 14 で「7. 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない」「8. これまでに参加したことはなく、今後も参加したくない」と回答した方【総数 252】への設問

問 14-1 あなたが参加しない、参加したくない理由をご記入ください

- ・「年齢的な体力の衰え」や、「健康上の不安」から社会活動への参加が難しいとの意見が多く見られた。
- ・また、「現役世代は仕事が忙しく社会活動のための時間をとるのが難しい」との意見も見られた。

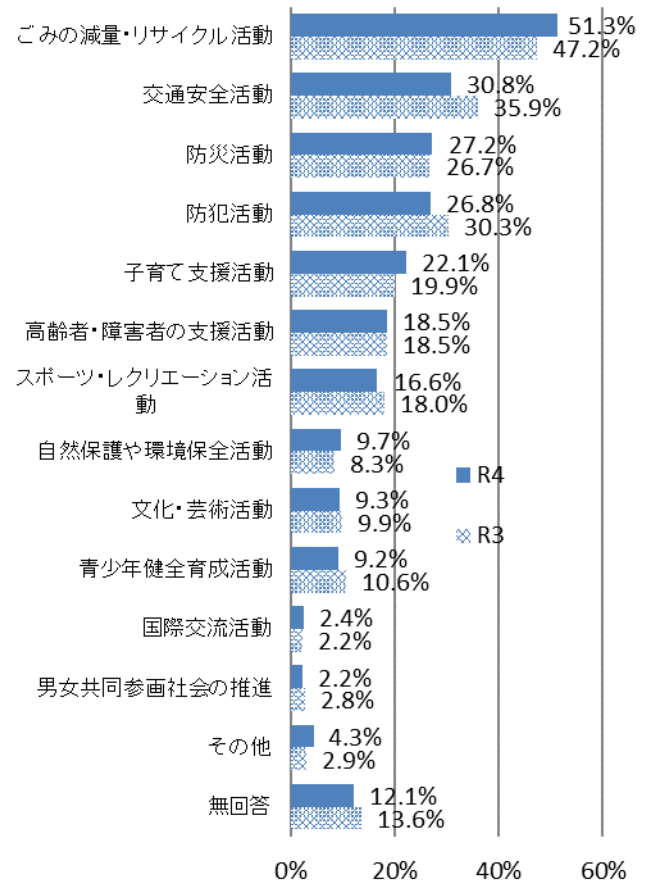
【あなたが参加しない、参加したくない主な理由】

- ・高齢で体力的に難しい
- ・健康上の理由や体調不良のため
- ・仕事が忙しく時間的余裕がない
- ・平日は仕事をしているため、時間がない。休日は家族との時間を大切にしたい
- ・自分の事、親の事、子供の事で時間が作れない
- ・自治会などの役員の仕事が多く、働く世代にとっての自治会への参加は時代に見合っていない
- ・人間関係が煩わしい 等

問 15 ひたちなか市では、平成22年4月に「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」を制定し、市民、議会、行政がお互いに連携協力するまちづくりを進めています。地域づくりにおいて、地域の市民が主体となって活動が行われていると感じるのはどのような分野だと思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

・全体の51.3%が「ごみの減量・リサイクル活動」と回答しており、「交通安全活動」が30.8%、「防災活動」が27.2%で続いている。

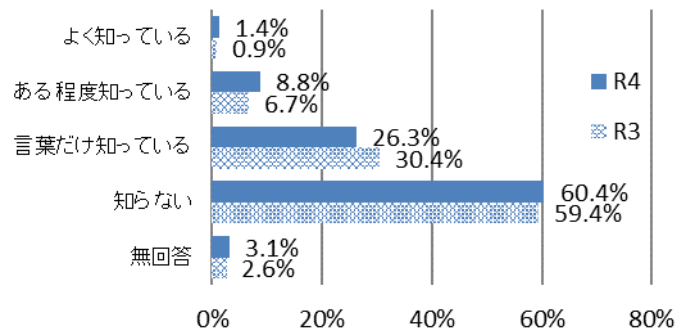
総数	1472	100.0%
ごみの減量・リサイクル活動	755	51.3%
交通安全活動	454	30.8%
防災活動	400	27.2%
防犯活動	394	26.8%
子育て支援活動	326	22.1%
高齢者・障害者の支援活動	273	18.5%
スポーツ・レクリエーション活動	245	16.6%
自然保護や環境保全活動	143	9.7%
文化・芸術活動	137	9.3%
青少年健全育成活動	135	9.2%
国際交流活動	36	2.4%
男女共同参画社会の推進	33	2.2%
その他	63	4.3%
無回答	178	12.1%



問 16 あなたは、「まちづくり市民会議」を知っていますか。[1つに〇]

- まちづくり市民会議を「よく知っている」、「ある程度知っている」と回答した方の合計は 10.2% となっており、最も多かったのは「知らない」の 60.4% となっている。

	総数	割合
よく知っている	20	1.4%
ある程度知っている	130	8.8%
言葉だけ知っている	387	26.3%
知らない	889	60.4%
無回答	46	3.1%
総計	1,472	100.0%

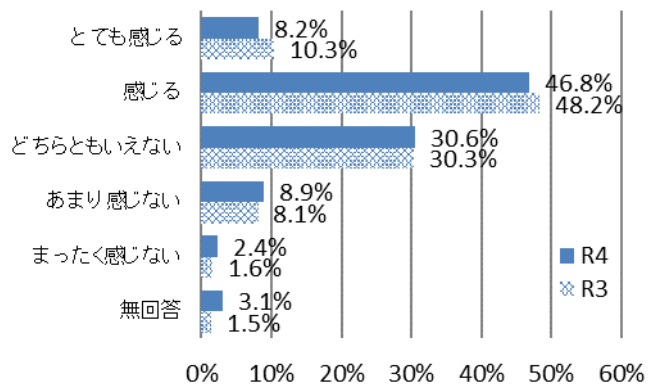


(4) ひたちなか市への誇りや愛着について

問 17 あなたは、ひたちなか市に誇りや愛着を感じますか。[1つに〇]

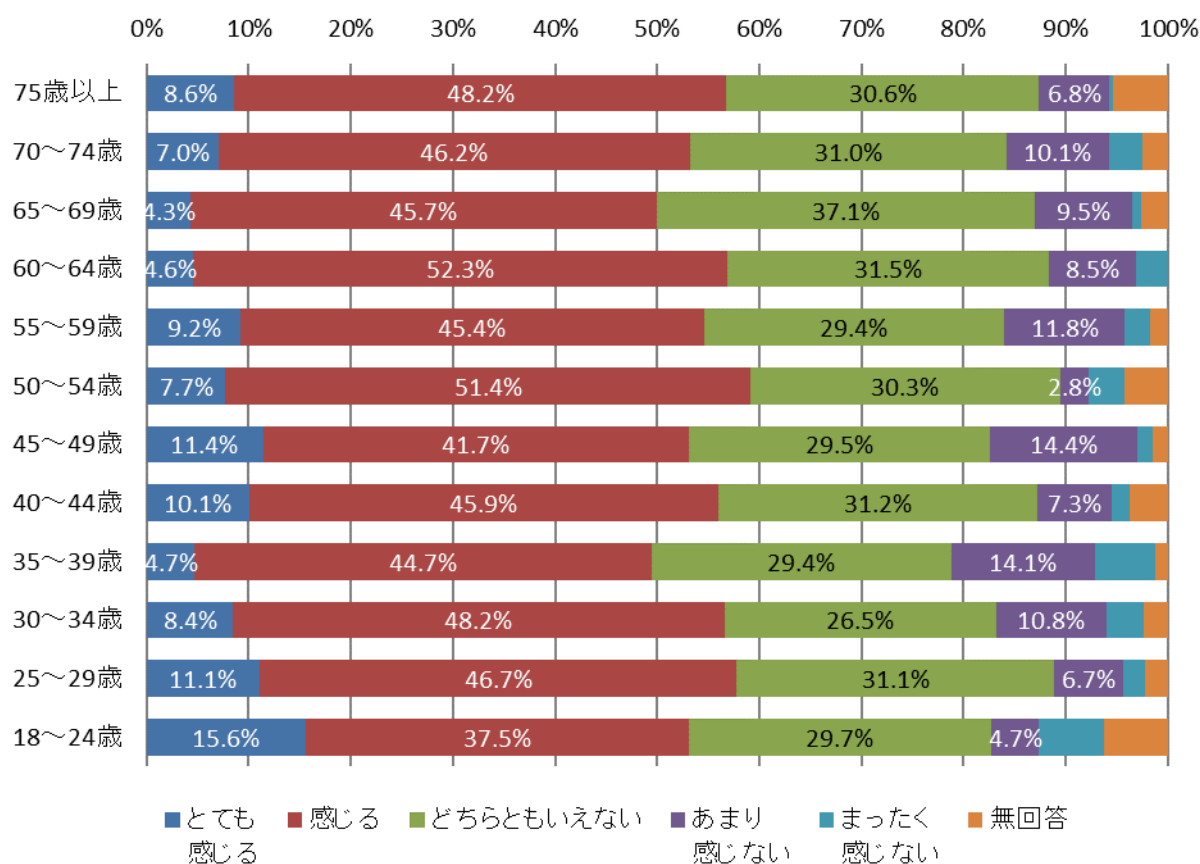
- ひたちなか市への誇りや愛着について、「とても感じる」と回答した人は 8.2%となっており、前回調査（R3）と比べ 2.1%減少しており、「とても感じる」と「感じる」の合計も 55.0%と前回に比べ 3.5%減少している。
- 年齢別の回答結果では、「とても感じる」は「18～24 歳」が 15.6%で最多となっており、「45～49 歳」が 11.4%で続いている。一方で「まったく感じない」と「あまり感じない」の合計は「35～39 歳」が 20.0%で最多となっている。
- 居住学校区別の回答結果では、「とても感じる」は「美乃浜学園学区」が 12.0%で最多となっている。

総数	1472	100.0%
とても感じる	120	8.2%
感じる	689	46.8%
どちらともいえない	451	30.6%
あまり感じない	131	8.9%
まったく感じない	36	2.4%
無回答	45	3.1%



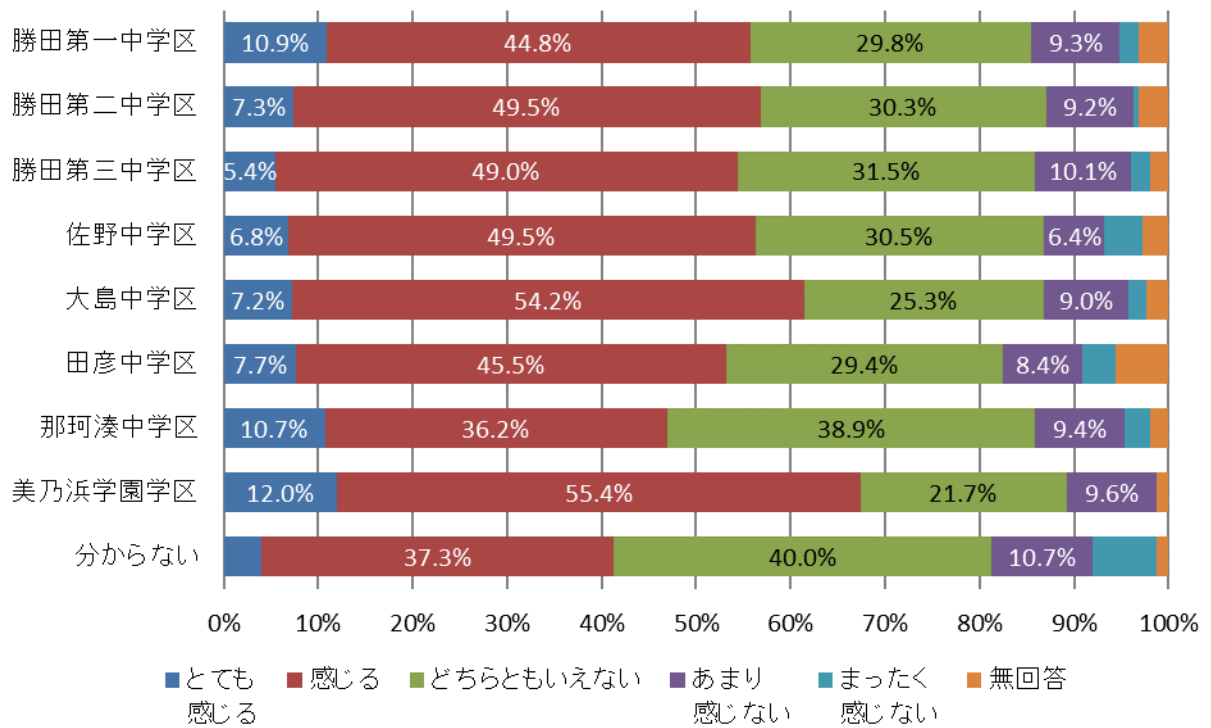
【年齢別の市への誇りや愛着への回答結果】

	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
18～24歳	15.6%	37.5%	29.7%	4.7%	6.3%	6.3%
25～29歳	11.1%	46.7%	31.1%	6.7%	2.2%	2.2%
30～34歳	8.4%	48.2%	26.5%	10.8%	3.6%	2.4%
35～39歳	4.7%	44.7%	29.4%	14.1%	5.9%	1.2%
40～44歳	10.1%	45.9%	31.2%	7.3%	1.8%	3.7%
45～49歳	11.4%	41.7%	29.5%	14.4%	1.5%	1.5%
50～54歳	7.7%	51.4%	30.3%	2.8%	3.5%	4.2%
55～59歳	9.2%	45.4%	29.4%	11.8%	2.5%	1.7%
60～64歳	4.6%	52.3%	31.5%	8.5%	3.1%	0.0%
65～69歳	4.3%	45.7%	37.1%	9.5%	0.9%	2.6%
70～74歳	7.0%	46.2%	31.0%	10.1%	3.2%	2.5%
75歳以上	8.6%	48.2%	30.6%	6.8%	0.4%	5.4%



【学校区別の市への誇りや愛着への回答結果】

	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
勝田第一中学区	10.9%	44.8%	29.8%	9.3%	2.0%	3.2%
勝田第二中学区	7.3%	49.5%	30.3%	9.2%	0.5%	3.2%
勝田第三中学区	5.4%	49.0%	31.5%	10.1%	2.0%	2.0%
佐野中学区	6.8%	49.5%	30.5%	6.4%	4.1%	2.7%
大島中学区	7.2%	54.2%	25.3%	9.0%	1.8%	2.4%
田彦中学区	7.7%	45.5%	29.4%	8.4%	3.5%	5.6%
那珂湊中学区	10.7%	36.2%	38.9%	9.4%	2.7%	2.0%
美乃浜学園学区	12.0%	55.4%	21.7%	9.6%	0.0%	1.2%
分からない	4.0%	37.3%	40.0%	10.7%	6.7%	1.3%



【市への誇りや愛着の回答別のNPS（クロス分析）】

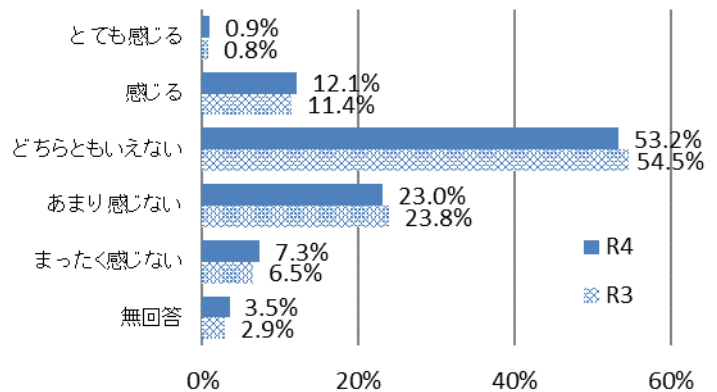
項目	全体の NPS	市への愛着別NPS				
		とても 感じる (総数120)	感じる (総数689)	どちらと もいえな い (総数451)	あまり 感じない (総数131)	まったく 感じない (総数36)
1. 全般的によいまちであること	-37.5	15.8	-19.6	-64.8	-66.4	-63.9
2. 買い物・遊びなどで訪れること	-44.9	-10.8	-32.1	-61.6	-58.0	-75.0
3. 住むこと	-36.1	16.7	-19.8	-60.0	-68.7	-58.3
4. 働くこと	-57.3	-23.4	-44.6	-71.2	-75.6	-72.3
5. 子育てすること	-58.5	-16.7	-47.3	-70.7	-76.4	-63.9
6. 仕事後の時間を楽しむこと	-68.0	-37.5	-59.6	-75.6	-74.8	-61.1
7. いろいろな人と交友を深めること	-72.4	-39.2	-65.7	-79.6	-77.1	-55.5
8. 趣味や教養を深めること	-70.2	-39.2	-63.7	-77.9	-68.7	-63.9
9. デートすること	-69.7	-43.3	-60.2	-69.6	-70.2	-75.0

(5) まちづくりの達成度について

問 19 あなたは、ひたちなか市は、ライフステージ（年齢に伴い変化する生活）に応じた働く場の選択肢や働き方の多様性が充実していると感じますか。〔1つに〇〕

- ひたちなか市のライフステージに応じた働く場の選択肢や働き方の多様性の充実について、「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は全体の 13.0%となっており、「どちらともいえない」が 53.2%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は 30.3%となっている。
- 性別の回答割合は全体とほぼ同じ傾向となっており、年齢別の回答では「18～24 歳」で「とても感じる」「感じる」の合計が 25.0%と最も高く、「25～29 歳」が 24.4%と続いた。一方、「35～39 歳」で「まったく感じない」「あまり感じない」の合計が 38.8%と最も高く、「60～64 歳」が 38.4%で続いている。

総数	1,472	100.0%
とても感じる	13	0.9%
感じる	178	12.1%
どちらともいえない	893	53.2%
あまり感じない	339	23.0%
まったく感じない	107	7.3%
無回答	52	3.5%

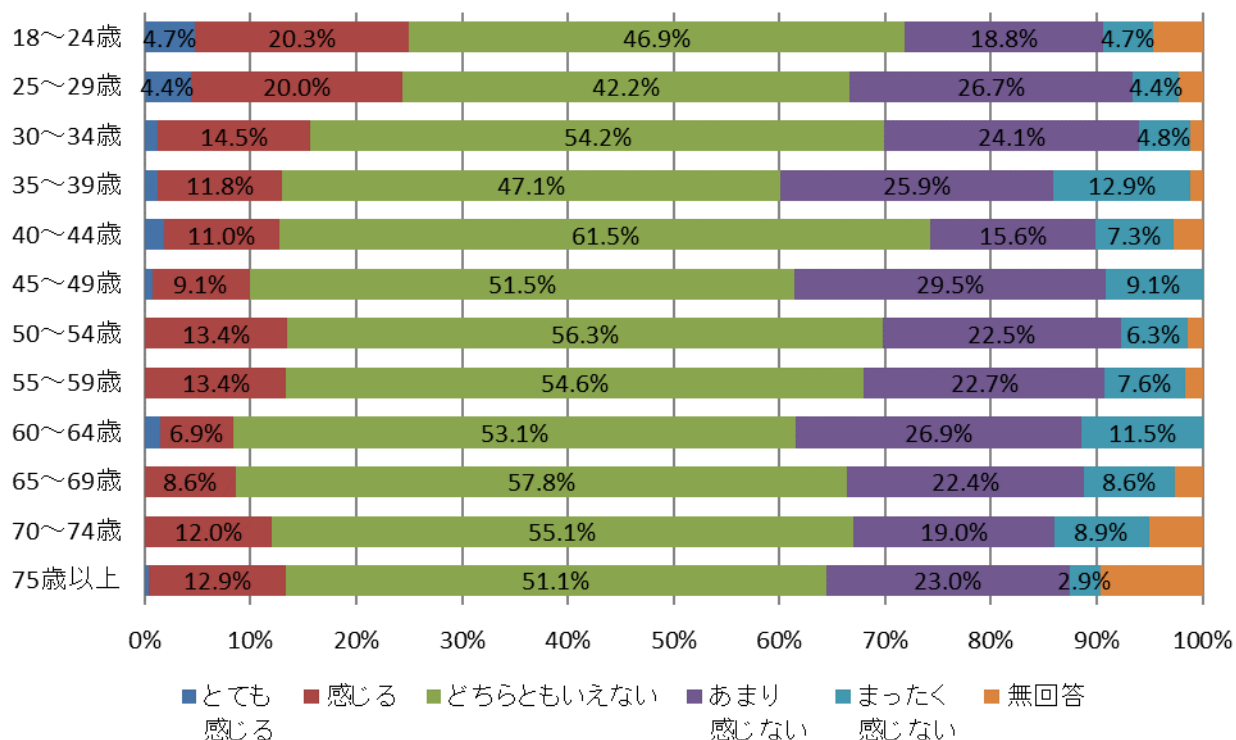


【性別のライフステージに応じた働く場の選択肢や働き方の多様性への回答割合（クロス分析）】

	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない
総数	0.9%	12.0%	53.4%	23.3%	7.1%
男性	1.5%	12.3%	53.4%	22.0%	8.5%
女性	0.4%	11.8%	53.3%	24.4%	6.0%

【年齢別のライフステージに応じた働く場の選択肢や働き方の多様性への回答割合（クロス分析）】

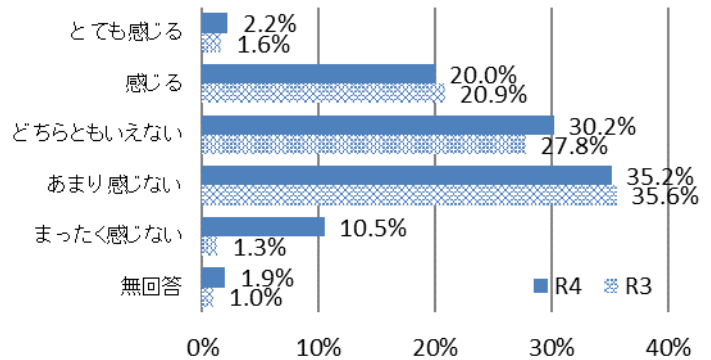
	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
18～24歳	4.7%	20.3%	46.9%	18.8%	4.7%	4.7%
25～29歳	4.4%	20.0%	42.2%	26.7%	4.4%	2.2%
30～34歳	1.2%	14.5%	54.2%	24.1%	4.8%	1.2%
35～39歳	1.2%	11.8%	47.1%	25.9%	12.9%	1.2%
40～44歳	1.8%	11.0%	61.5%	15.6%	7.3%	2.8%
45～49歳	0.8%	9.1%	51.5%	29.5%	9.1%	0.0%
50～54歳	0.0%	13.4%	56.3%	22.5%	6.3%	1.4%
55～59歳	0.0%	13.4%	54.6%	22.7%	7.6%	1.7%
60～64歳	1.5%	6.9%	53.1%	26.9%	11.5%	0.0%
65～69歳	0.0%	8.6%	57.8%	22.4%	8.6%	2.6%
70～74歳	0.0%	12.0%	55.1%	19.0%	8.9%	5.1%
75歳以上	0.4%	12.9%	51.1%	23.0%	2.9%	9.7%



問 20 あなたは、ひたちなか市は、鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすいまちだと感じますか。[1つに〇]

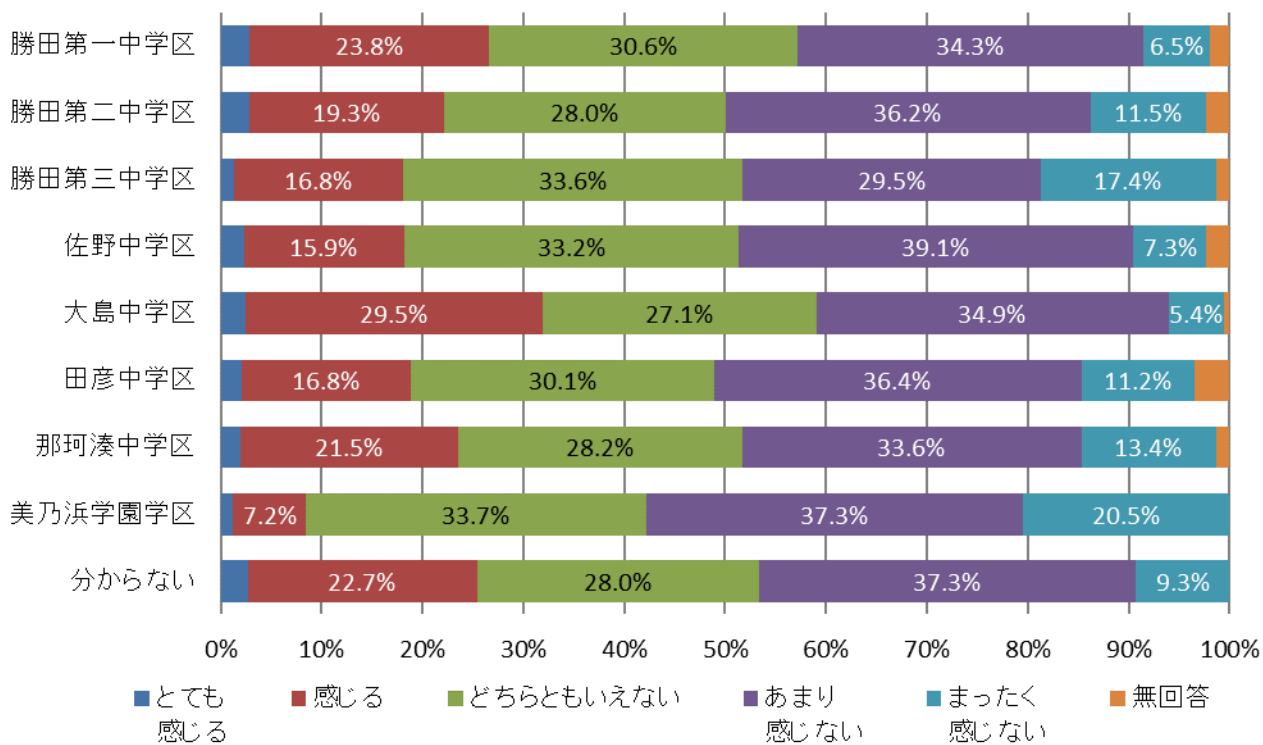
- ひたちなか市は公共交通機関が利用しやすいまちだと、「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は全体の 22.2%となっており、「どちらともいえない」が 30.2%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は 45.7%となっている。
- 学校区別では「大島中学区」で「とても感じる」「感じる」の合計が 31.9%と最も高く、「勝田第一中学区」が 26.6%と続いた。一方、「美乃浜学園学区」で「まったく感じない」「あまり感じない」の合計が 57.8%と最も高く、「田彦中学区」が 47.6%で続いている。

総数	1,472	100.0%
とても感じる	33	2.2%
感じる	294	20.0%
どちらともいえない	445	30.2%
あまり感じない	518	35.2%
まったく感じない	154	10.5%
無回答	28	1.9%



【学校区別の回答割合 (クロス分析)】

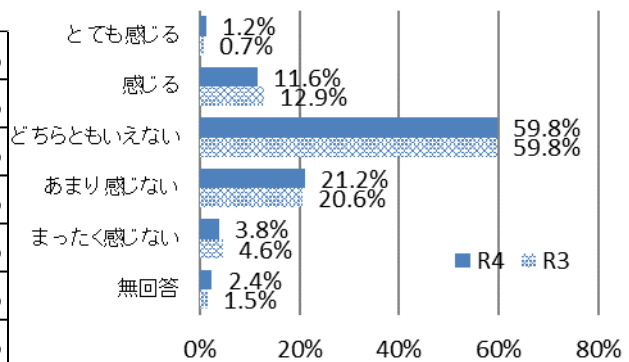
	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
総数	2.3%	19.9%	30.3%	35.4%	10.5%	1.7%
勝田第一中学区	2.8%	23.8%	30.6%	34.3%	6.5%	2.0%
勝田第二中学区	2.8%	19.3%	28.0%	36.2%	11.5%	2.3%
勝田第三中学区	1.3%	16.8%	33.6%	29.5%	17.4%	1.3%
佐野中学区	2.3%	15.9%	33.2%	39.1%	7.3%	2.3%
大島中学区	2.4%	29.5%	27.1%	34.9%	5.4%	0.6%
田彦中学区	2.1%	16.8%	30.1%	36.4%	11.2%	3.5%
那珂湊中学区	2.0%	21.5%	28.2%	33.6%	13.4%	1.3%
美乃浜学園学区	1.2%	7.2%	33.7%	37.3%	20.5%	0.0%
分からない	2.7%	22.7%	28.0%	37.3%	9.3%	0.0%



問21 あなたは、ひたちなか市は、障害のある人に対する差別や偏見がない「共生社会」が実現されていると感じますか [1つに〇]

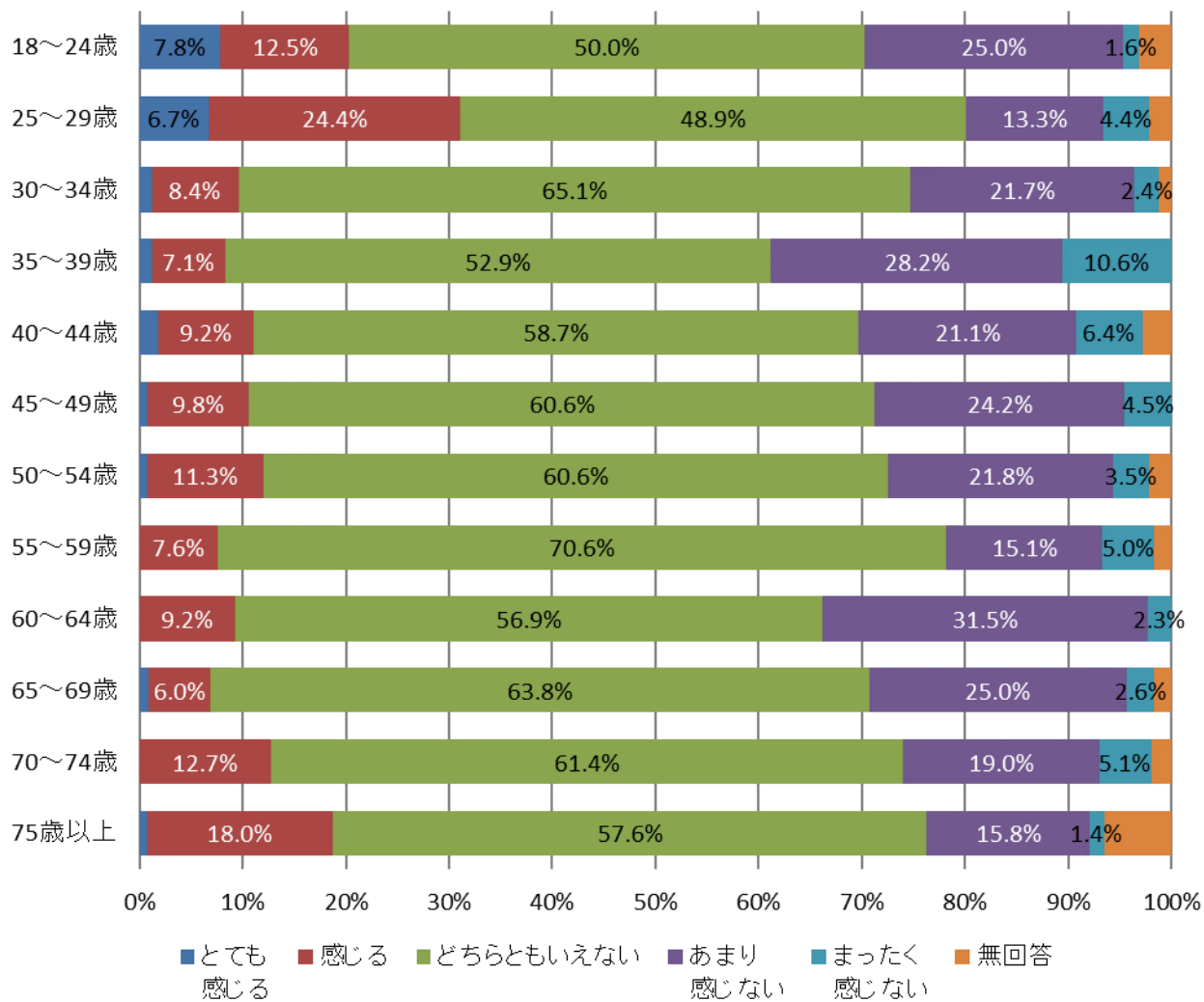
- ひたちなか市の「共生社会」の実現について、「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は全体の12.8%となっており、「どちらともいえない」が59.8%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は25.0%となっている。
- 年齢別の回答では、「25～29歳」で「とても感じる」「感じる」の合計31.1%と最も高く、「18～24歳」が20.3%と続いた。一方、「35～39歳」で「まったく感じない」「あまり感じない」の合計が38.8%と最も高く、「60～64歳」が33.8%で続いている。

	1,472	100.0%
とても感じる	17	1.2%
感じる	171	11.6%
どちらともいえない	880	59.8%
あまり感じない	312	21.2%
まったく感じない	56	3.8%
無回答	36	2.4%



【年齢別の回答割合（クロス分析）】

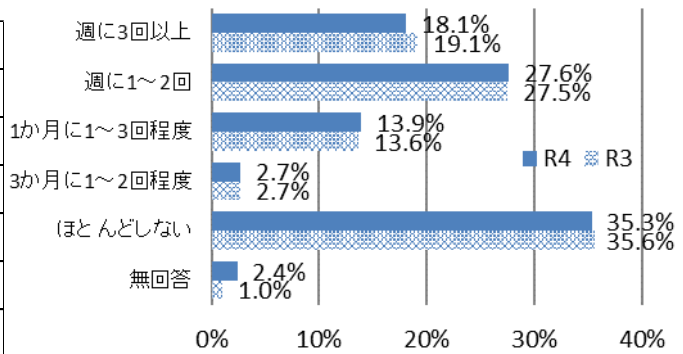
	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
18～24歳	7.8%	12.5%	50.0%	25.0%	1.6%	3.1%
25～29歳	6.7%	24.4%	48.9%	13.3%	4.4%	2.2%
30～34歳	1.2%	8.4%	65.1%	21.7%	2.4%	1.2%
35～39歳	1.2%	7.1%	52.9%	28.2%	10.6%	0.0%
40～44歳	1.8%	9.2%	58.7%	21.1%	6.4%	2.8%
45～49歳	0.8%	9.8%	60.6%	24.2%	4.5%	0.0%
50～54歳	0.7%	11.3%	60.6%	21.8%	3.5%	2.1%
55～59歳	0.0%	7.6%	70.6%	15.1%	5.0%	1.7%
60～64歳	0.0%	9.2%	56.9%	31.5%	2.3%	0.0%
65～69歳	0.9%	6.0%	63.8%	25.0%	2.6%	1.7%
70～74歳	0.0%	12.7%	61.4%	19.0%	5.1%	1.9%
75歳以上	0.7%	18.0%	57.6%	15.8%	1.4%	6.5%



問22 あなたは、どれくらい運動をしていますか。[1つに〇]

- 日々の運動について、「ほとんどしない」との回答が35.3%で最も多く、「週に1～2回」が27.6%、「週に3回以上」が18.1%で続いている。
- 性別の回答では、「週に3回以上」の運動をしているのは男性が22.3%と女性より多く、「ほとんどしない」は女性が42.0%と男性より多くなっている。
- 年齢別の回答では、「ほとんどしない」の回答は「35～39歳」48.2%で最も高く、「45～49歳」が44.7%で続いている。

総数	1,472	100.0%
週に3回以上	267	18.1%
週に1～2回	406	27.6%
1か月に1～3回程度	204	13.9%
3か月に1～2回程度	40	2.7%
ほとんどしない	520	35.3%
無回答	35	2.4%

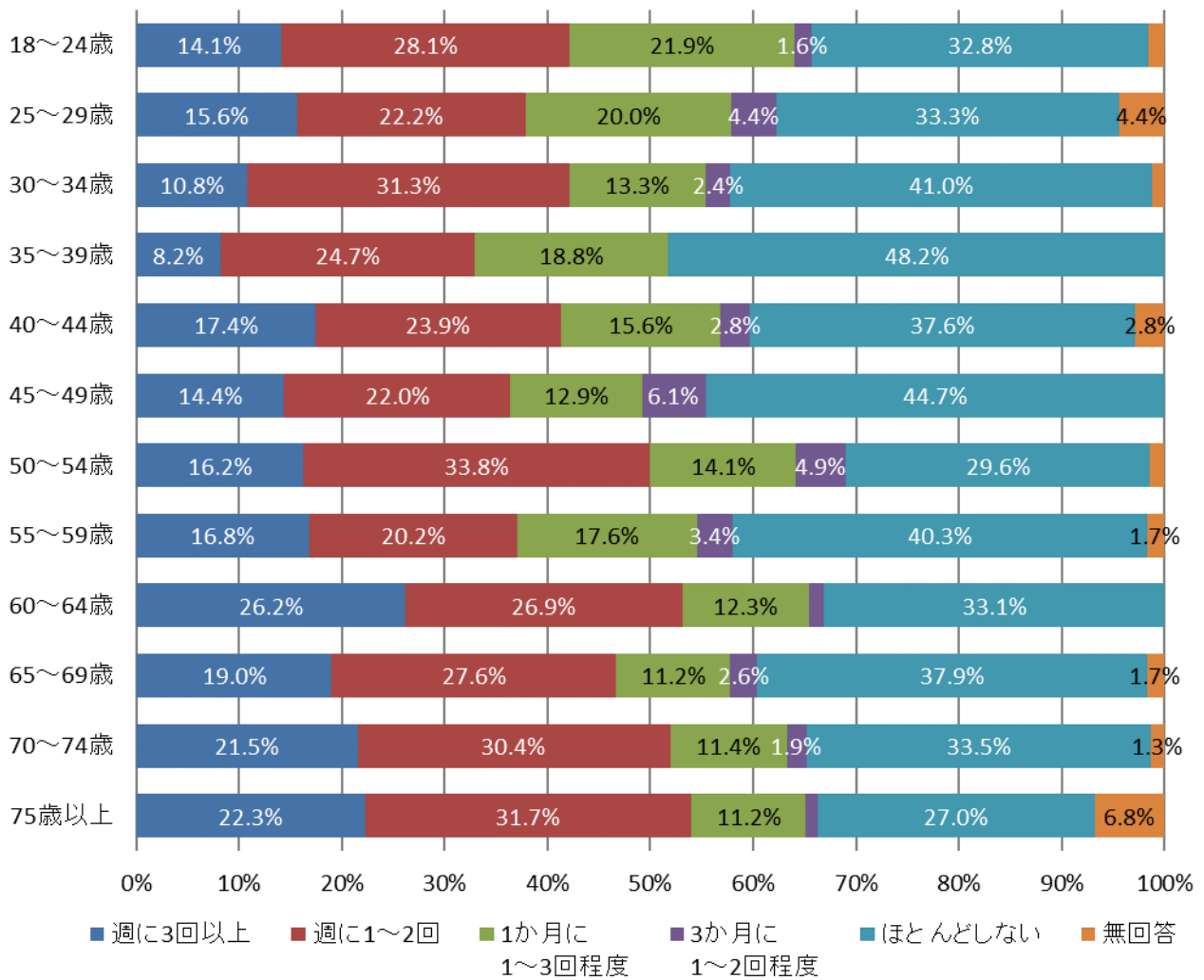


【性別の回答割合（クロス分析）】

	週に3回以上	週に1～2回	1か月に1～3回程度	3か月に1～2回程度	ほとんどしない	無回答
男性	22.3%	29.9%	15.8%	2.9%	27.2%	2.0%
女性	14.9%	25.7%	12.6%	2.5%	42.0%	2.3%

【年齢別の回答割合（クロス分析）】

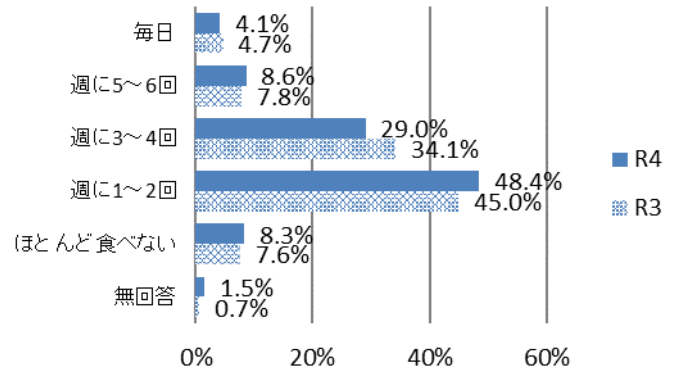
	週に3回以上	週に1～2回	1か月に1～3回程度	3か月に1～2回程度	ほとんどしない	無回答
18～24歳	14.1%	28.1%	21.9%	1.6%	32.8%	1.6%
25～29歳	15.6%	22.2%	20.0%	4.4%	33.3%	4.4%
30～34歳	10.8%	31.3%	13.3%	2.4%	41.0%	1.2%
35～39歳	8.2%	24.7%	18.8%	0.0%	48.2%	0.0%
40～44歳	17.4%	23.9%	15.6%	2.8%	37.6%	2.8%
45～49歳	14.4%	22.0%	12.9%	6.1%	44.7%	0.0%
50～54歳	16.2%	33.8%	14.1%	4.9%	29.6%	1.4%
55～59歳	16.8%	20.2%	17.6%	3.4%	40.3%	1.7%
60～64歳	26.2%	26.9%	12.3%	1.5%	33.1%	0.0%
65～69歳	19.0%	27.6%	11.2%	2.6%	37.9%	1.7%
70～74歳	21.5%	30.4%	11.4%	1.9%	33.5%	1.3%
75歳以上	22.3%	31.7%	11.2%	1.1%	27.0%	6.8%



問23 あなたは、週にどの程度、自宅で魚介類を食べる機会がありますか。[1つに〇]

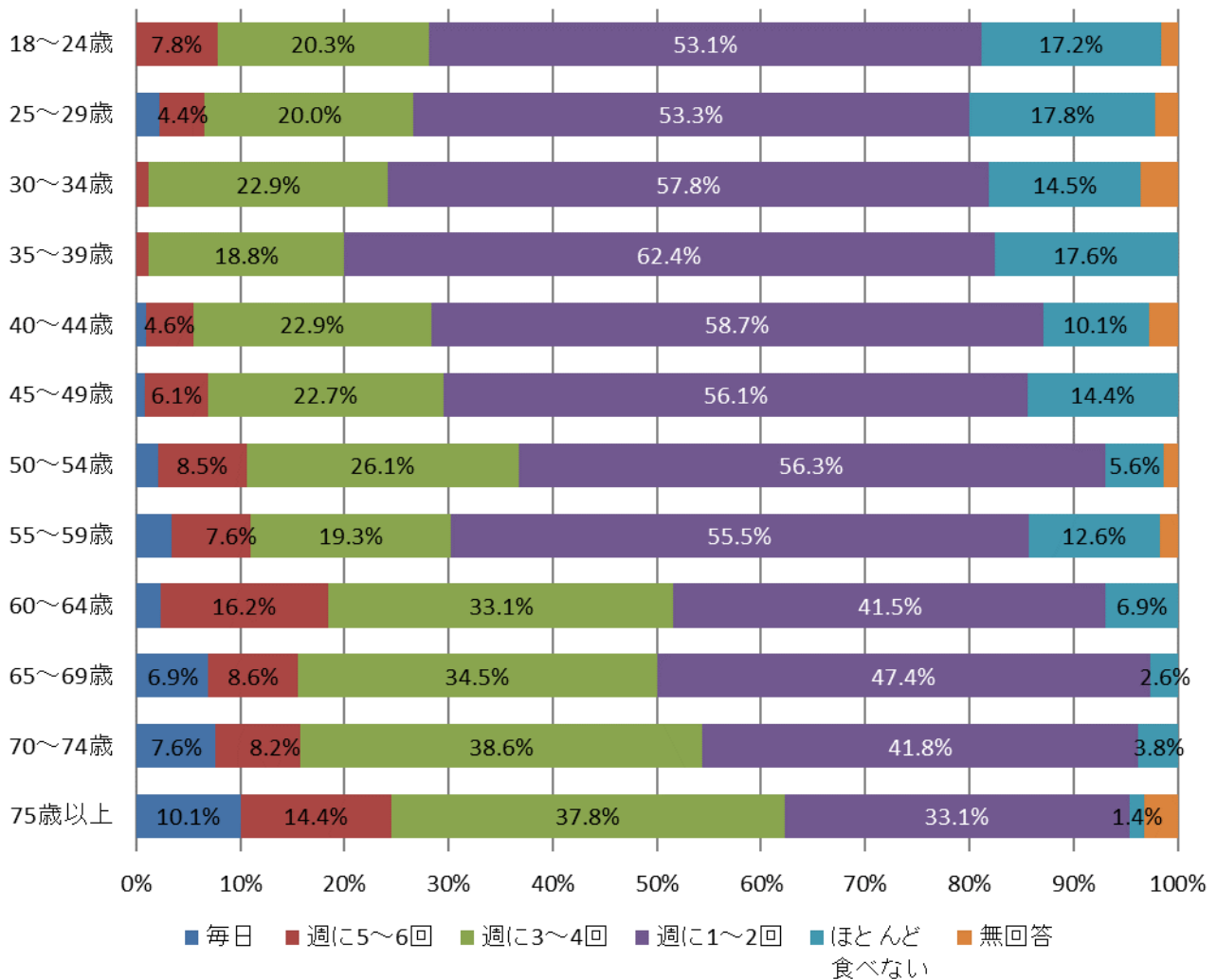
- 自宅で魚介類を食べる機会について、「週に1～2回」が最も多く48.4%、「週に3～4回」が29.0%、「週に5～6回」が8.6%で続いている。
- 年齢別の回答では、「ほとんど食べない」との回答は「25～29歳」が17.8%で最も多く、若年層で高い傾向にある。学校区別の回答では、「毎日」、「週に5～6回」、「週に3～4回」の合計（週3回以上）が最も多かった地区は「那珂湊中学区」である。

総数	1,472	100.0%
毎日	61	4.1%
週に5～6回	127	8.6%
週に3～4回	427	29.0%
週に1～2回	713	48.4%
ほとんど食べない	122	8.3%
無回答	22	1.5%



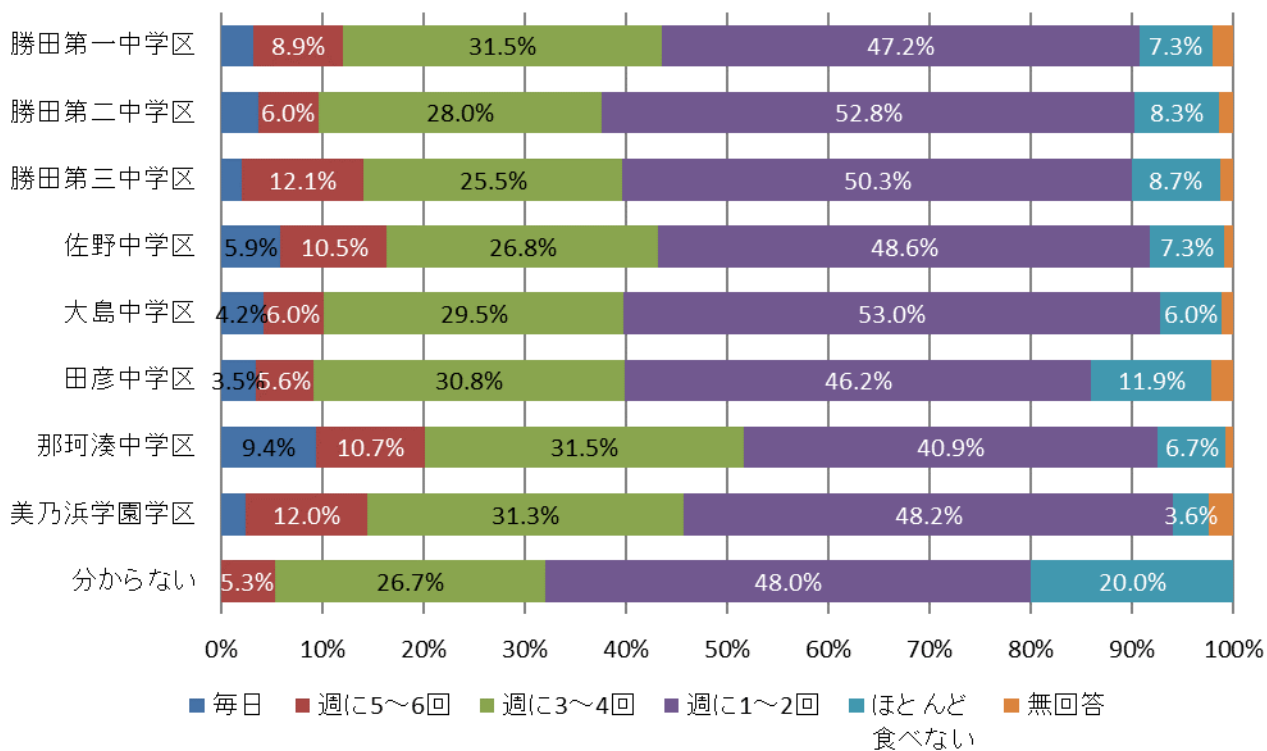
【年齢別の回答割合（クロス分析）】

	毎日	週に5～6回	週に3～4回	週に1～2回	ほとんど食べない	無回答
18～24歳	0.0%	7.8%	20.3%	53.1%	17.2%	1.6%
25～29歳	2.2%	4.4%	20.0%	53.3%	17.8%	2.2%
30～34歳	0.0%	1.2%	22.9%	57.8%	14.5%	3.6%
35～39歳	0.0%	1.2%	18.8%	62.4%	17.6%	0.0%
40～44歳	0.9%	4.6%	22.9%	58.7%	10.1%	2.8%
45～49歳	0.8%	6.1%	22.7%	56.1%	14.4%	0.0%
50～54歳	2.1%	8.5%	26.1%	56.3%	5.6%	1.4%
55～59歳	3.4%	7.6%	19.3%	55.5%	12.6%	1.7%
60～64歳	2.3%	16.2%	33.1%	41.5%	6.9%	0.0%
65～69歳	6.9%	8.6%	34.5%	47.4%	2.6%	0.0%
70～74歳	7.6%	8.2%	38.6%	41.8%	3.8%	0.0%
75歳以上	10.1%	14.4%	37.8%	33.1%	1.4%	3.2%



【学校区別の回答割合 (クロス分析)】

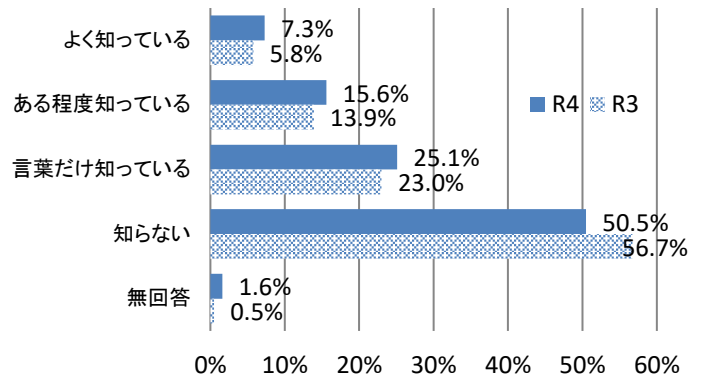
	毎日	週に5~6回	週に3~4回	週に1~2回	ほとんど食べない	無回答
勝田第一中学区	3.2%	8.9%	31.5%	47.2%	7.3%	2.0%
勝田第二中学区	3.7%	6.0%	28.0%	52.8%	8.3%	1.4%
勝田第三中学区	2.0%	12.1%	25.5%	50.3%	8.7%	1.3%
佐野中学区	5.9%	10.5%	26.8%	48.6%	7.3%	0.9%
大島中学区	4.2%	6.0%	29.5%	53.0%	6.0%	1.2%
田彦中学区	3.5%	5.6%	30.8%	46.2%	11.9%	2.1%
那珂湊中学区	9.4%	10.7%	31.5%	40.9%	6.7%	0.7%
美乃浜学園学区	2.4%	12.0%	31.3%	48.2%	3.6%	2.4%
分からない	0.0%	5.3%	26.7%	48.0%	20.0%	0.0%



問 24 あなたは、「地域包括支援センター（おとしより相談センター）」を知っていますか。
 [1つに〇]

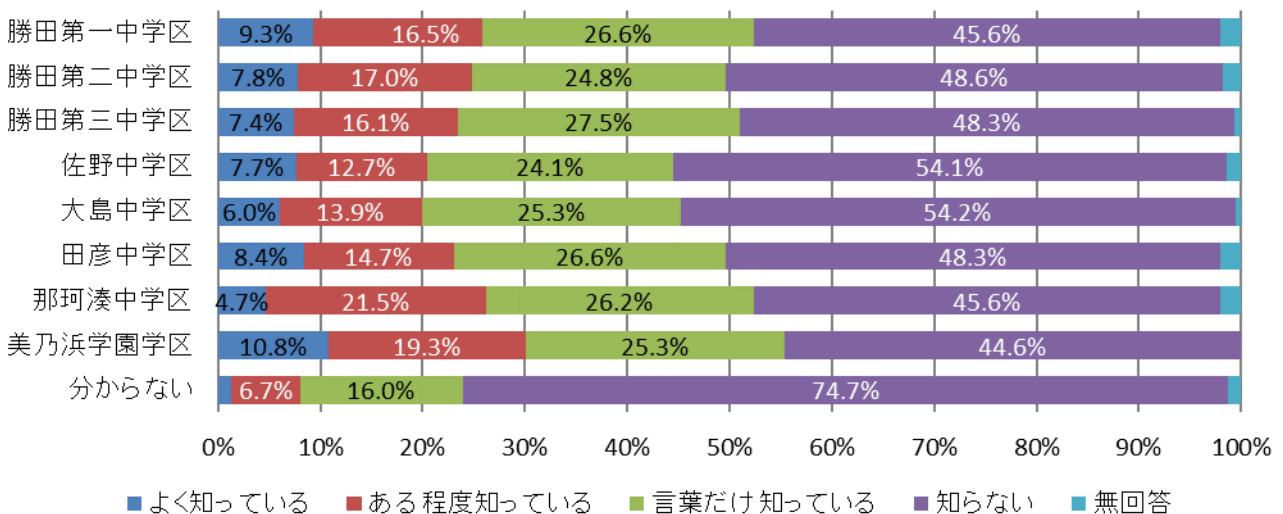
- ひたちなか市の「地域包括支援センター（おとしより相談センター）」の認知度について、「知らない」との回答が50.5%で最も多く、「言葉だけ知っている」が25.1%で続いている。
- 学校区別では「大島中学区」の「知らない」の回答が54.2%と最も多い。

総数	1,472	100.0%
よく知っている	107	7.3%
ある程度知っている	229	15.6%
言葉だけ知っている	369	25.1%
知らない	744	50.5%
無回答	23	1.6%



【年齢別の回答割合（クロス分析）】

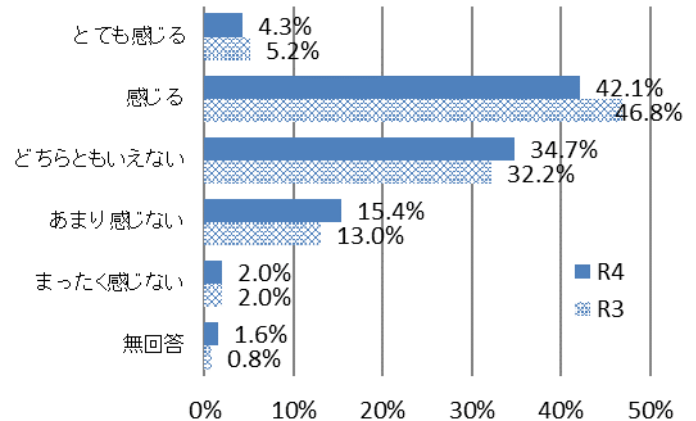
	よく知っている	ある程度知っている	言葉だけ知っている	知らない	無回答
勝田第一中学	9.3%	16.5%	26.6%	45.6%	2.0%
勝田第二中学	7.8%	17.0%	24.8%	48.6%	1.8%
勝田第三中学	7.4%	16.1%	27.5%	48.3%	0.7%
佐野中学区	7.7%	12.7%	24.1%	54.1%	1.4%
大島中学区	6.0%	13.9%	25.3%	54.2%	0.6%
田彦中学区	8.4%	14.7%	26.6%	48.3%	2.1%
那珂湊中学区	4.7%	21.5%	26.2%	45.6%	2.0%
美乃浜学園学	10.8%	19.3%	25.3%	44.6%	0.0%
分からない	1.3%	6.7%	16.0%	74.7%	1.3%



問 25 あなたは、ひたちなか市内の花や緑が充実していると感じますか。[1つに〇]

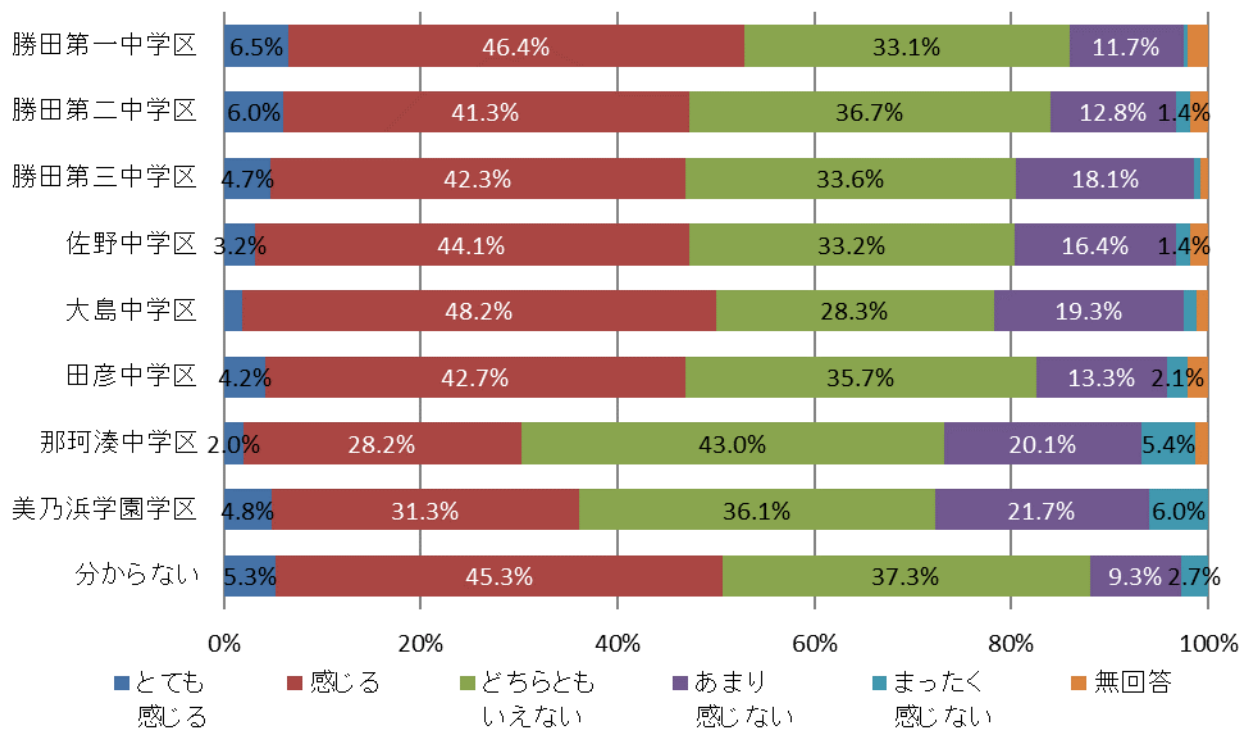
- ・ひたちなか市内の花や緑が充実していると「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は全体の 46.4.0%となっており、「どちらともいえない」が 34.7%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は 17.4%となっている。
- ・学校区別の回答では、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は「美乃浜学園学区」が 27.7%で最も高く、「那珂湊中学校区」が 25.5%で続いている。

総数	1,472	100.0%
とても感じる	63	4.3%
感じる	619	42.1%
どちらともいえない	511	34.7%
あまり感じない	227	15.4%
まったく感じない	29	2.0%
無回答	23	1.6%



【学校区別の回答割合（クロス分析）】

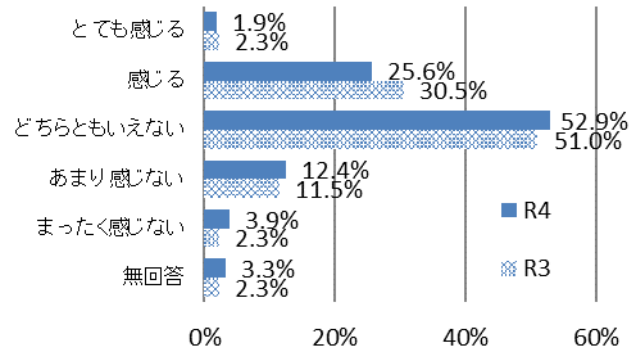
	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
勝田第一中学区	6.5%	46.4%	33.1%	11.7%	0.4%	2.0%
勝田第二中学区	6.0%	41.3%	36.7%	12.8%	1.4%	1.8%
勝田第三中学区	4.7%	42.3%	33.6%	18.1%	0.7%	0.7%
佐野中学区	3.2%	44.1%	33.2%	16.4%	1.4%	1.8%
大島中学区	1.8%	48.2%	28.3%	19.3%	1.2%	1.2%
田彦中学区	4.2%	42.7%	35.7%	13.3%	2.1%	2.1%
那珂湊中学区	2.0%	28.2%	43.0%	20.1%	5.4%	1.3%
美乃浜学園学区	4.8%	31.3%	36.1%	21.7%	6.0%	0.0%
分からない	5.3%	45.3%	37.3%	9.3%	2.7%	0.0%



問26 あなたは、ひたちなか市は「子育てしやすいまち」だと感じますか。[1つに〇]

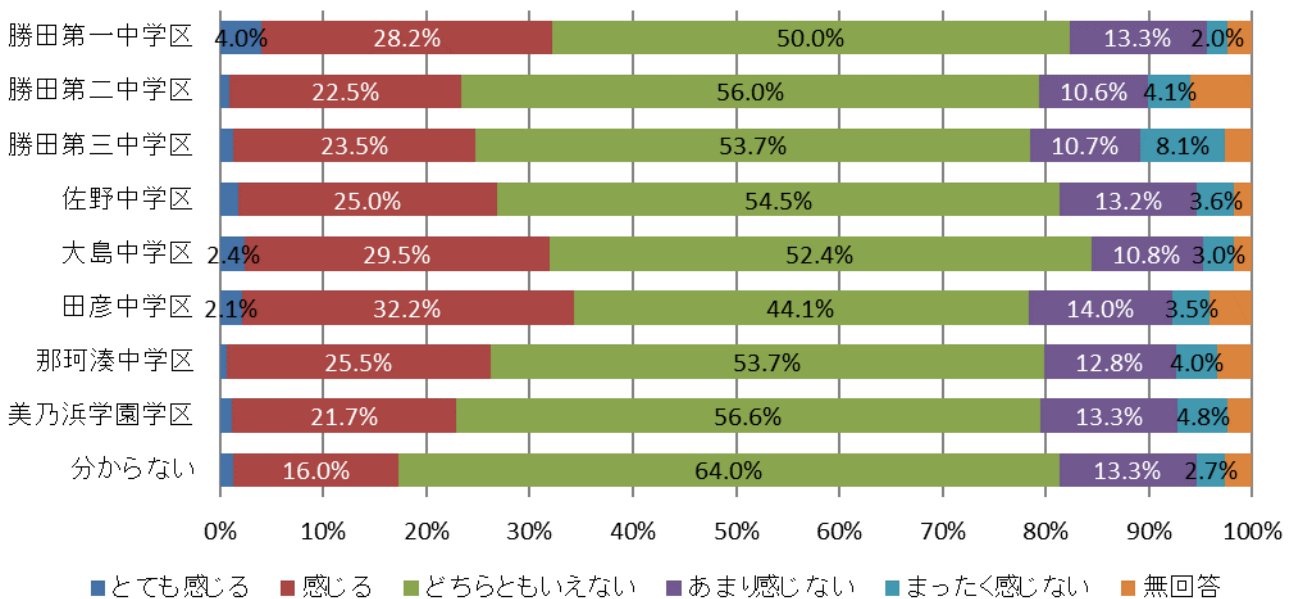
- ひたちなか市が「子育てしやすいまち」と「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は27.5%、「どちらともいえない」が52.9%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は16.3%となっている。
- 学校区別の回答では、「とても感じる」、「感じる」の合計は「田彦中学区」が34.3%で最も高く、「勝田第一中学校区」が32.2%で続いている。

総数	1,472	100.0%
とても感じる	28	1.9%
感じる	377	25.6%
どちらともいえない	779	52.9%
あまり感じない	182	12.4%
まったく感じない	58	3.9%
無回答	48	3.3%



【学校区別の回答割合（クロス分析）】

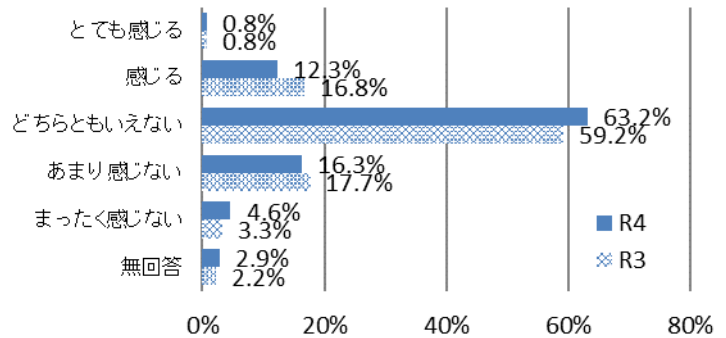
	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
勝田第一中学校区	4.0%	28.2%	50.0%	13.3%	2.0%	2.4%
勝田第二中学校区	0.9%	22.5%	56.0%	10.6%	4.1%	6.0%
勝田第三中学校区	1.3%	23.5%	53.7%	10.7%	8.1%	2.7%
佐野中学区	1.8%	25.0%	54.5%	13.2%	3.6%	1.8%
大島中学区	2.4%	29.5%	52.4%	10.8%	3.0%	1.8%
田彦中学区	2.1%	32.2%	44.1%	14.0%	3.5%	4.2%
那珂湊中学区	0.7%	25.5%	53.7%	12.8%	4.0%	3.4%
美乃浜学園学区	1.2%	21.7%	56.6%	13.3%	4.8%	2.4%
分からない	1.3%	16.0%	64.0%	13.3%	2.7%	2.7%



問27 あなたは、ひたちなか市は「教育が充実しているまち」だと感じますか。[1つに〇]

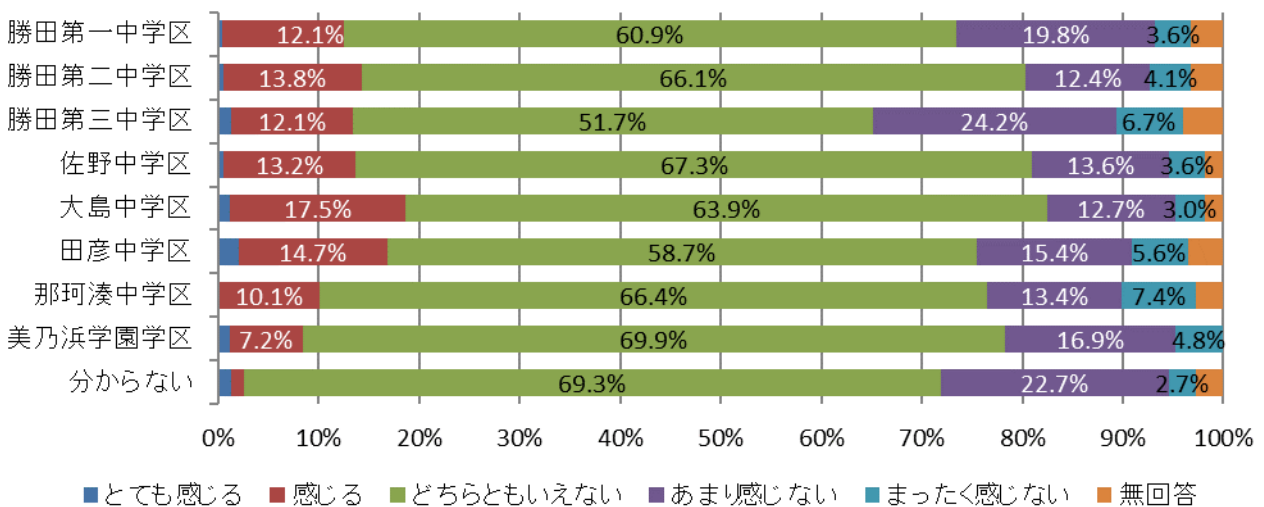
- ・ひたちなか市が「教育が充実しているまち」だと「とても感じる」、「感じる」と回答した方の合計は13.1%、「どちらともいえない」が63.2%、「まったく感じない」、「あまり感じない」の合計は20.9%となっている。
- ・学校区別の回答では、「とても感じる」、「感じる」の合計は「大島中学学区」が18.7%で最も高く、「田彦中学校区」が16.8%で続いている。

総数	1,472	100.0%
とても感じる	12	0.8%
感じる	181	12.3%
どちらともいえない	930	63.2%
あまり感じない	240	16.3%
まったく感じない	67	4.6%
無回答	42	2.9%



【学校区別の回答割合 (クロス分析)】

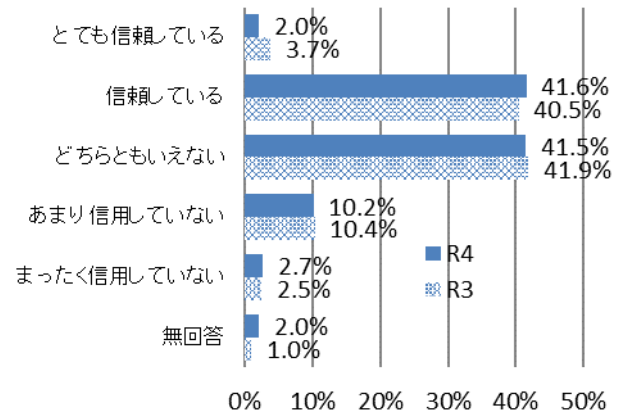
	とても感じる	感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	無回答
勝田第一中学区	0.4%	12.1%	60.9%	19.8%	3.6%	3.2%
勝田第二中学区	0.5%	13.8%	66.1%	12.4%	4.1%	3.2%
勝田第三中学区	1.3%	12.1%	51.7%	24.2%	6.7%	4.0%
佐野中学区	0.5%	13.2%	67.3%	13.6%	3.6%	1.8%
大島中学区	1.2%	17.5%	63.9%	12.7%	3.0%	1.8%
田彦中学区	2.1%	14.7%	58.7%	15.4%	5.6%	3.5%
那珂湊中学区	0.0%	10.1%	66.4%	13.4%	7.4%	2.7%
美乃浜学園学区	1.2%	7.2%	69.9%	16.9%	4.8%	0.0%
分からない	1.3%	1.3%	69.3%	22.7%	2.7%	2.7%



問 28 あなたは、ひたちなか市の行政（市役所）について信頼していますか。[1つに〇]

・ひたちなか市の行政への信頼について、「とても信頼している」、「信頼している」と回答した方の合計は全体の43.6%となっており、「どちらともいえない」が41.5%、「まったく信頼していない」、「あまり信頼していない」の合計は12.9%となっている。

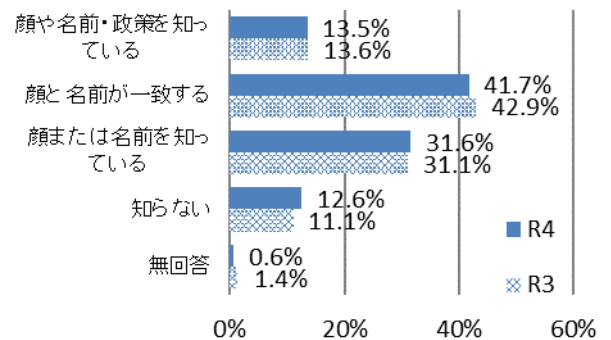
総数	1,472	100.0%
とても信頼している	29	2.0%
信頼している	612	41.6%
どちらともいえない	611	41.5%
あまり信用していない	150	10.2%
まったく信用していない	40	2.7%
無回答	30	2.0%



問 29 あなたは、「ひたちなか市長」を知っていますか。[1つに〇]

・「ひたちなか市長」について、「顔と名前が一致する」が42.9%で最も多く、「顔または名前を知っている」が31.1%で続いている。

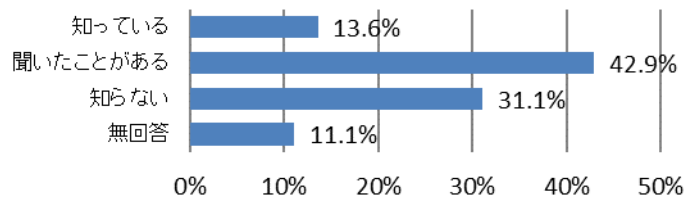
総数	1,472	100.0%
顔や名前・政策を知っている	200	13.6%
顔と名前が一致する	631	42.9%
顔または名前を知っている	458	31.1%
知らない	163	11.1%
無回答	20	1.4%



問 30 あなたは、ひたちなか市のキャッチコピー「ひとが咲くまち。ひたちなか」を知っていますか。[1つに〇]

・ひたちなか市のキャッチコピー「ひとが咲くまち。ひたちなか」について、「知っている」「聞いたことがある」の回答の合計は56.5%だった。

総数	1,472	100.0%
知っている	142	13.6%
聞いたことがある	375	42.9%
知らない	934	31.1%
無回答	21	11.1%

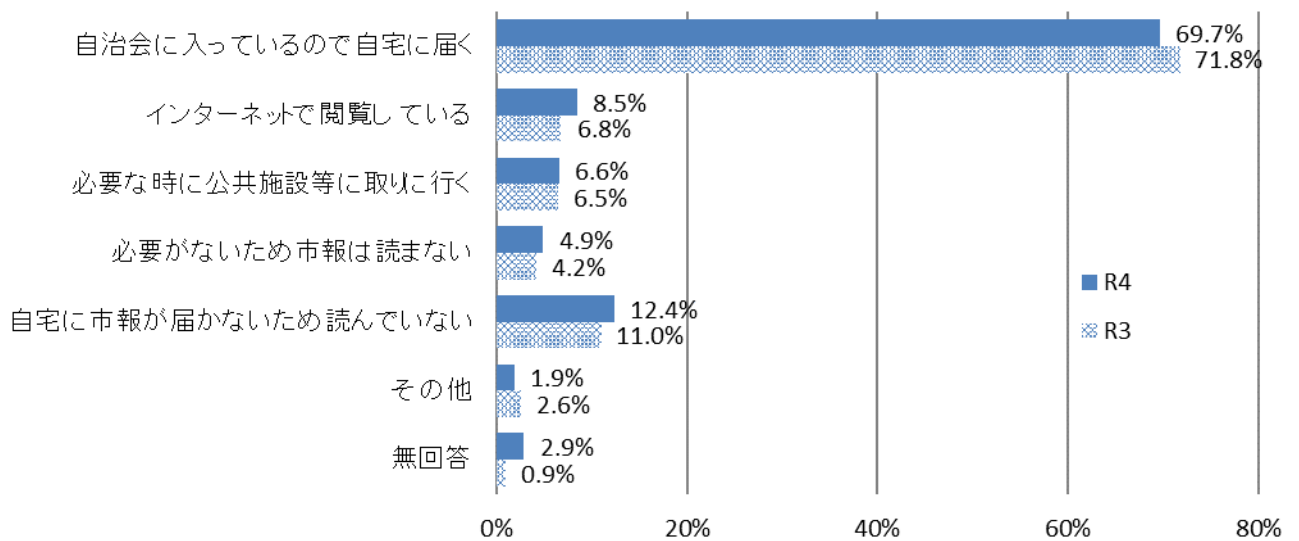


(6) 市政情報の取得について

問 31 あなたは市報をどのような手段で入手していますか。当てはまる番号に○をつけて下さい。
[すべてに○]

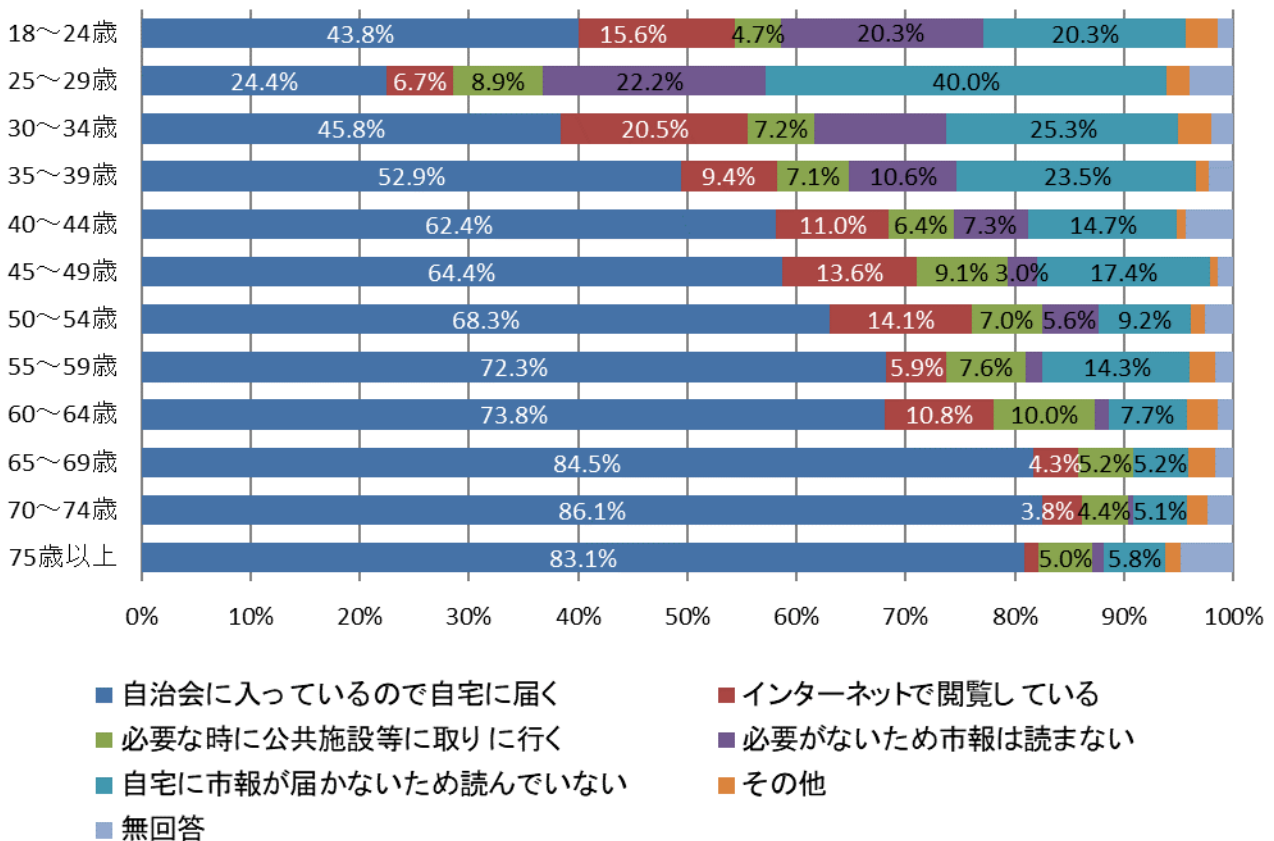
- 市報の入手手段について、「自治会に入っているので自宅に届く」との回答が69.7%で最も多く、「自宅に市報が届かないため読んでいない」が12.4%と続いている。
- 「自治会に入っているので自宅に届く」との回答が最も多いのは、年齢別では「70～74 歳」、学校区別では「美乃浜学園学区」となっている。

手段	人数	割合
総数	1,472	100.0%
自治会に入っているので自宅に届く	1,026	69.7%
インターネットで閲覧している	125	8.5%
必要な時に公共施設等に取りに行く	97	6.6%
必要がないため市報は読まない	72	4.9%
自宅に市報が届かないため読んでいない	183	12.4%
その他	28	1.9%
無回答	43	2.9%



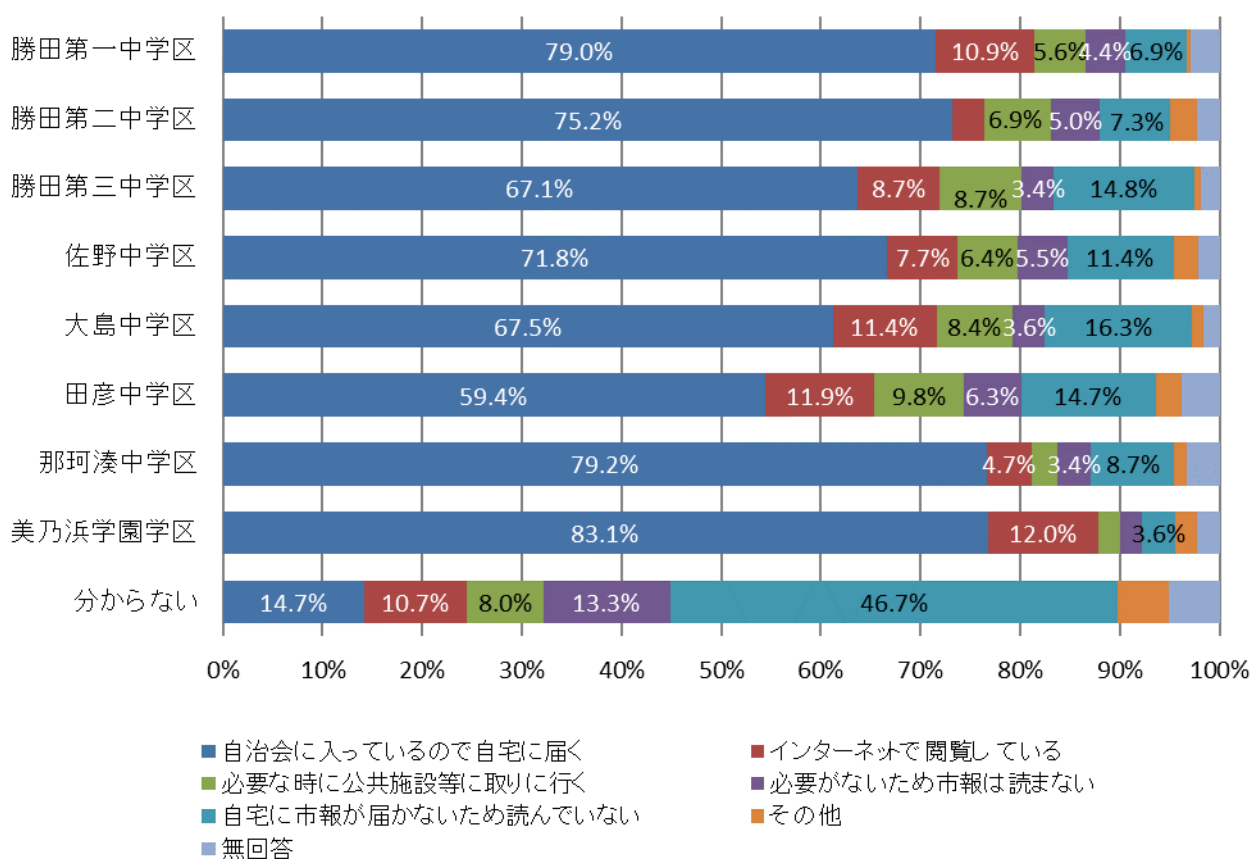
【年齢別の回答割合（クロス分析）】

	自治会に入っている ので自宅に 届く	インター ネットで閲 覧している	必要な時に 公共施設等 に取りに行 く	必要がない ため市報は 読まない	自宅に市報 が届かない ため読んで いない	その他	無回答
18～24歳	43.8%	15.6%	4.7%	20.3%	20.3%	3.1%	1.6%
25～29歳	24.4%	6.7%	8.9%	22.2%	40.0%	2.2%	4.4%
30～34歳	45.8%	20.5%	7.2%	14.5%	25.3%	3.6%	2.4%
35～39歳	52.9%	9.4%	7.1%	10.6%	23.5%	1.2%	2.4%
40～44歳	62.4%	11.0%	6.4%	7.3%	14.7%	0.9%	4.6%
45～49歳	64.4%	13.6%	9.1%	3.0%	17.4%	0.8%	1.5%
50～54歳	68.3%	14.1%	7.0%	5.6%	9.2%	1.4%	2.8%
55～59歳	72.3%	5.9%	7.6%	1.7%	14.3%	2.5%	1.7%
60～64歳	73.8%	10.8%	10.0%	1.5%	7.7%	3.1%	1.5%
65～69歳	84.5%	4.3%	5.2%	0.0%	5.2%	2.6%	1.7%
70～74歳	86.1%	3.8%	4.4%	0.6%	5.1%	1.9%	2.5%
75歳以上	83.1%	1.4%	5.0%	1.1%	5.8%	1.4%	5.0%



【学校区別の回答割合（クロス分析）】

	自治会に入っている ので自宅に 届く	インター ネットで閲 覧している	必要な時に 公共施設等 に取りに行 く	必要がない ため市報は 読まない	自宅に市報 が届かない ため読んで いない	その他	無回答
勝田第一中学	79.0%	10.9%	5.6%	4.4%	6.9%	0.4%	3.2%
勝田第二中学	75.2%	3.2%	6.9%	5.0%	7.3%	2.8%	2.3%
勝田第三中学	67.1%	8.7%	8.7%	3.4%	14.8%	0.7%	2.0%
佐野中学区	71.8%	7.7%	6.4%	5.5%	11.4%	2.7%	2.3%
大島中学区	67.5%	11.4%	8.4%	3.6%	16.3%	1.2%	1.8%
田彦中学区	59.4%	11.9%	9.8%	6.3%	14.7%	2.8%	4.2%
那珂湊中学区	79.2%	4.7%	2.7%	3.4%	8.7%	1.3%	3.4%
美乃浜学園学区	83.1%	12.0%	2.4%	2.4%	3.6%	2.4%	2.4%
分からない	14.7%	10.7%	8.0%	13.3%	46.7%	5.3%	5.3%

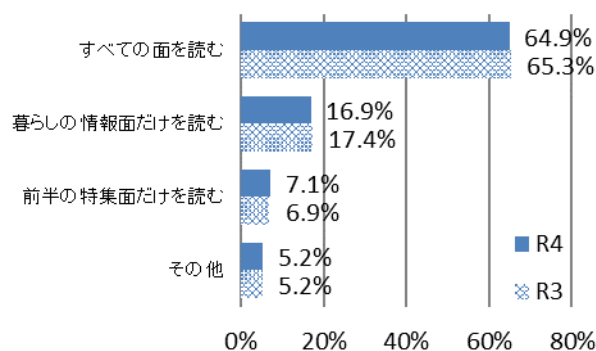


問31で「1. 自治会に入っているので自宅に届く」、「2. インターネットで閲覧している」、「3. 必要な時に公共施設等に取りに行く」、「6. その他」と回答した方【総数 1,224】への設問

問 31-1 問 31 で市報を読んでいる方にお聞きします。あなたは市報を読む際、主にどの面を読んでいますか。当てはまる番号に○をつけて下さい。[1つに○]

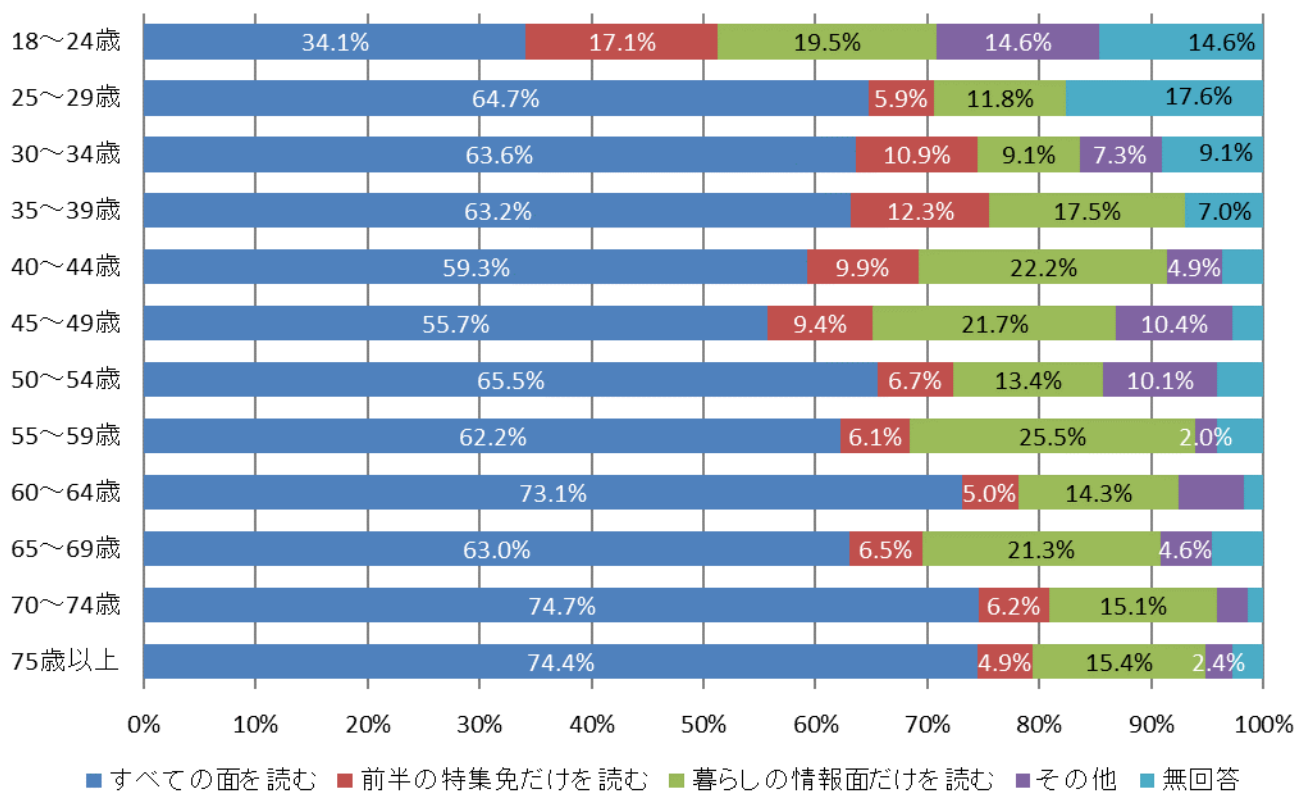
- ・市報を読んでいる方はどの面を読んでいるかについては、「すべての面を読む」が最も多く 64.9%、「暮らしの情報面だけを読む」が 16.9%で続いている。
- ・年齢別では「すべての面を読む」との回答が年齢別では「70～74 歳」が 74.7%で最も多く、「75 歳以上」が 74.4%で続く。

総数	1,224	100.0%
すべての面を読む	794	64.9%
暮らしの情報面だけを読む	207	16.9%
前半の特集面だけを読む	87	7.1%
その他	64	5.2%



【年齢別の回答割合（クロス分析）】

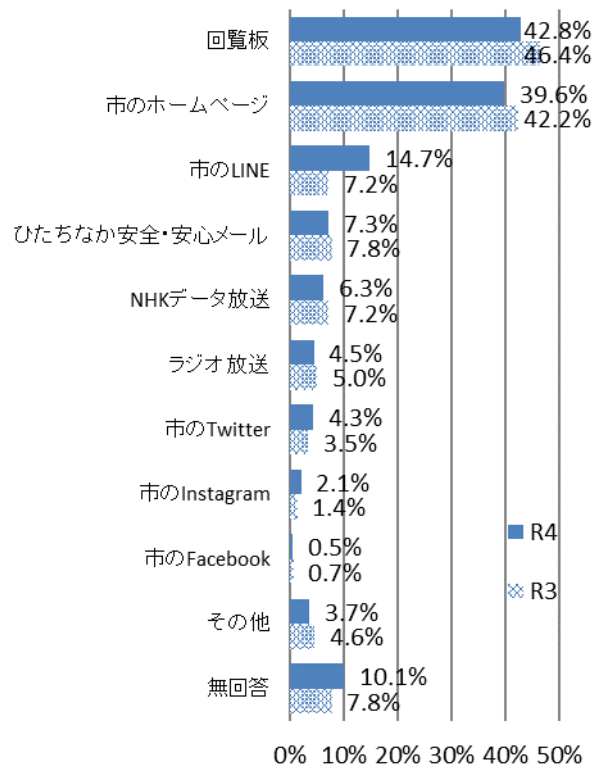
	すべての面 を読む	前半の特集 面だけを読 む	暮らしの情 報面だけ を読む	その他	無回答
18～24歳	34.1%	17.1%	19.5%	14.6%	14.6%
25～29歳	64.7%	5.9%	11.8%	0.0%	17.6%
30～34歳	63.6%	10.9%	9.1%	7.3%	9.1%
35～39歳	63.2%	12.3%	17.5%	0.0%	7.0%
40～44歳	59.3%	9.9%	22.2%	4.9%	3.7%
45～49歳	55.7%	9.4%	21.7%	10.4%	2.8%
50～54歳	65.5%	6.7%	13.4%	10.1%	4.2%
55～59歳	62.2%	6.1%	25.5%	2.0%	4.1%
60～64歳	73.1%	5.0%	14.3%	5.9%	1.7%
65～69歳	63.0%	6.5%	21.3%	4.6%	4.6%
70～74歳	74.7%	6.2%	15.1%	2.7%	1.4%
75歳以上	74.4%	4.9%	15.4%	2.4%	2.8%



問 32 あなたは市報以外にどのような媒体から市政に関する情報を得ていますか。当てはまる番号に○をつけて下さい。(複数回答可)

- ・市報以外に市政に関する情報を得ている媒体については、「回覧板」が42.8%と最も多く、「市のホームページ」が39.6%と続いている。
- ・年齢別では「回覧板」との回答が最も多いのは、「70～74歳」で63.9%、「市のホームページ」との回答が最も多いのは、「30～34歳」で60.2%、「市のLINE」との回答が最も多いのは、「40～44歳」で27.5%だった。
- ・前回調査（R3）と比較して、「市のLINE」の回答が、7.2%から14.7%と倍増した。

媒体	件数	割合
総数	1,472	100.0%
回覧板	630	42.8%
市のホームページ	583	39.6%
市のLINE	217	14.7%
ひたちなか安全・安心メール	108	7.3%
NHKデータ放送	93	6.3%
ラジオ放送	66	4.5%
市のTwitter	63	4.3%
市のInstagram	31	2.1%
市のFacebook	8	0.5%
その他	55	3.7%
無回答	148	10.1%



【年齢別の回答割合（クロス分析）】

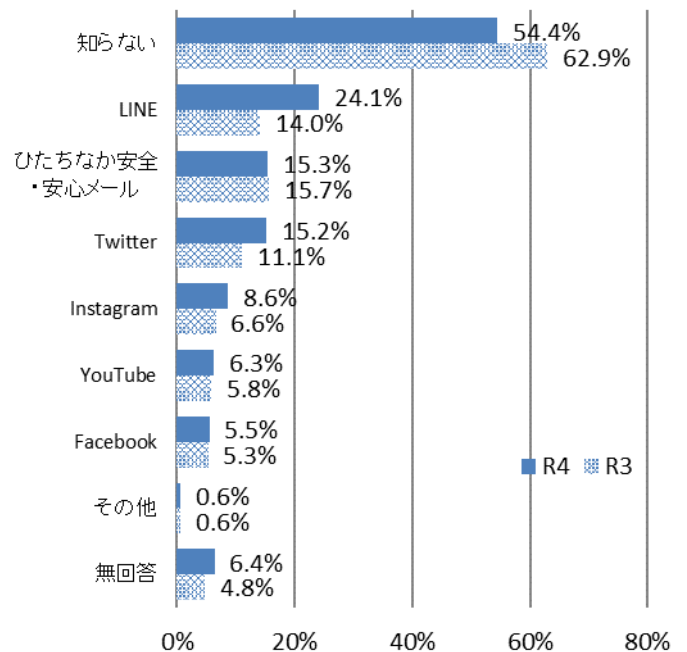
年齢	回覧板	市のホームページ	市のLINE	ひたちなか安全・安心メール	NHKデータ放送	ラジオ放送	市のTwitter	市のInstagram	市のFacebook	その他	無回答
18～24歳	23.4%	39.1%	15.6%	6.3%	7.8%	6.3%	12.5%	4.7%	1.6%	9.4%	12.5%
25～29歳	13.3%	46.7%	15.6%	4.4%	2.2%	2.2%	4.4%	6.7%	0.0%	6.7%	22.2%
30～34歳	15.7%	60.2%	25.3%	8.4%	2.4%	2.4%	15.7%	8.4%	3.6%	2.4%	9.6%
35～39歳	21.2%	48.2%	20.0%	9.4%	4.7%	3.5%	12.9%	2.4%	2.4%	4.7%	7.1%
40～44歳	25.7%	46.8%	27.5%	14.7%	4.6%	6.4%	7.3%	4.6%	0.9%	4.6%	10.1%
45～49歳	28.0%	53.8%	21.2%	11.4%	3.0%	3.8%	7.6%	2.3%	0.0%	3.0%	3.8%
50～54歳	38.0%	54.9%	16.2%	7.7%	5.6%	3.5%	2.1%	1.4%	0.0%	2.1%	8.5%
55～59歳	39.5%	55.5%	14.3%	4.2%	7.6%	0.8%	3.4%	0.8%	0.0%	4.2%	6.7%
60～64歳	45.4%	56.2%	15.4%	10.0%	11.5%	5.4%	1.5%	0.8%	0.0%	3.8%	2.3%
65～69歳	62.1%	31.9%	11.2%	7.8%	5.2%	5.2%	0.9%	1.7%	0.0%	0.9%	6.9%
70～74歳	63.9%	21.5%	10.8%	3.8%	8.2%	5.7%	0.0%	0.6%	0.0%	3.8%	12.0%
75歳以上	63.3%	12.2%	4.7%	4.3%	6.8%	5.0%	0.0%	0.4%	0.4%	4.0%	17.6%

回答率が最も高い世代 (オレンジ色) 回答率が最も低い世代 (水色)

問 33 ひたちなか市が情報発信を行っている SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を知っていますか。利用の有無にかかわらず、知っているものの番号に○をつけて下さい。（複数回答可）

- ・ひたちなか市が情報発信を行っている SNS については、「知らない」が 54.4%と最も多く、「LINE」が 24.1%、「ひたちなか安全・安心メール」が 15.3%と続いている。
- ・「知らない」は前回調査（R3）から比べて 8.5%減少した。
- ・年齢別では、「知らない」との回答が最も多いのは「75 歳以上」で 69.1%、「LINE」との回答が最も多いのは「40～44 歳」で 38.5%だった。

	総数		
知らない	1,472	100.0%	
知らない	801	54.4%	
LINE	355	24.1%	
ひたちなか安全・安心メール	225	15.3%	
Twitter	224	15.2%	
Instagram	127	8.6%	
YouTube	93	6.3%	
Facebook	81	5.5%	
その他	9	0.6%	
無回答	94	6.4%	



【年齢別の回答割合（クロス分析）】

	知らない	LINE	ひたちなか安全・安心メール	Twitter	Instagram	YouTube	Facebook	その他	無回答
18～24歳	45.3%	26.6%	9.4%	26.6%	9.4%	10.9%	7.8%	0.0%	6.3%
25～29歳	40.0%	28.9%	6.7%	26.7%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	11.1%
30～34歳	43.4%	30.1%	9.6%	33.7%	20.5%	7.2%	8.4%	0.0%	2.4%
35～39歳	48.2%	30.6%	17.6%	23.5%	9.4%	4.7%	7.1%	0.0%	1.2%
40～44歳	35.8%	38.5%	26.6%	22.9%	15.6%	9.2%	9.2%	0.9%	3.7%
45～49歳	44.7%	37.9%	22.0%	20.5%	13.6%	6.8%	6.8%	0.8%	0.0%
50～54歳	53.5%	26.1%	19.7%	13.4%	9.2%	8.5%	4.9%	0.0%	3.5%
55～59歳	54.6%	28.6%	17.6%	18.5%	7.6%	7.6%	7.6%	0.0%	5.0%
60～64歳	52.3%	27.7%	21.5%	13.8%	10.0%	6.9%	5.4%	0.8%	1.5%
65～69歳	64.7%	15.5%	12.1%	5.2%	4.3%	6.0%	4.3%	0.0%	5.2%
70～74歳	62.0%	20.3%	11.4%	11.4%	5.7%	6.3%	4.4%	1.9%	9.5%
75歳以上	69.1%	8.3%	9.4%	2.9%	0.7%	1.4%	2.2%	1.1%	15.5%

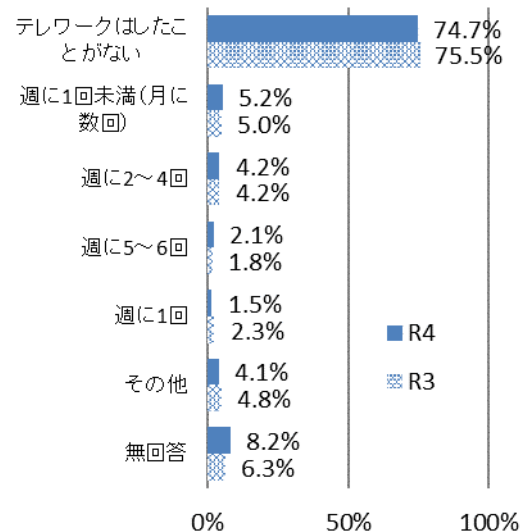
回答率が最も高い世代 回答率が最も低い世代

(7) テレワークについて

問 34 あなたの直近1年間のテレワークの頻度はどのくらいですか。[1つに○]

- 直近1年間のテレワークの頻度については、「テレワークはしたことがない」が74.7%と最も多く、「週に1回未満(月に数回)」が5.2%、「週に2~4回」が4.2%と続いている。

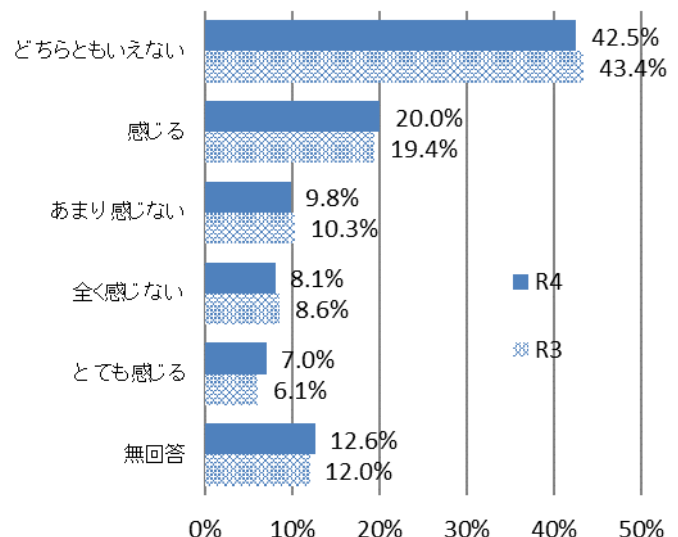
総数	1,472	100.0%
週に5~6回	31	2.1%
週に2~4回	62	4.2%
週に1回	22	1.5%
週に1回未満(月に数回)	76	5.2%
テレワークはしたことがない	1,099	74.7%
その他	61	4.1%
無回答	121	8.2%



問 35 あなたはテレワークが効果的だと感じますか。[1つに○]

- テレワークが効果的だと感じるかについては、「どちらとも言えない」が42.5%と最も多く、「感じる」が20.0%、「あまり感じない」が9.8%と続いている。

総数	1,472	100.0%
とても感じる	62	7.0%
感じる	1,099	20.0%
どちらとも言えない	61	42.5%
あまり感じない	76	9.8%
全く感じない	22	8.1%
無回答	31	12.6%



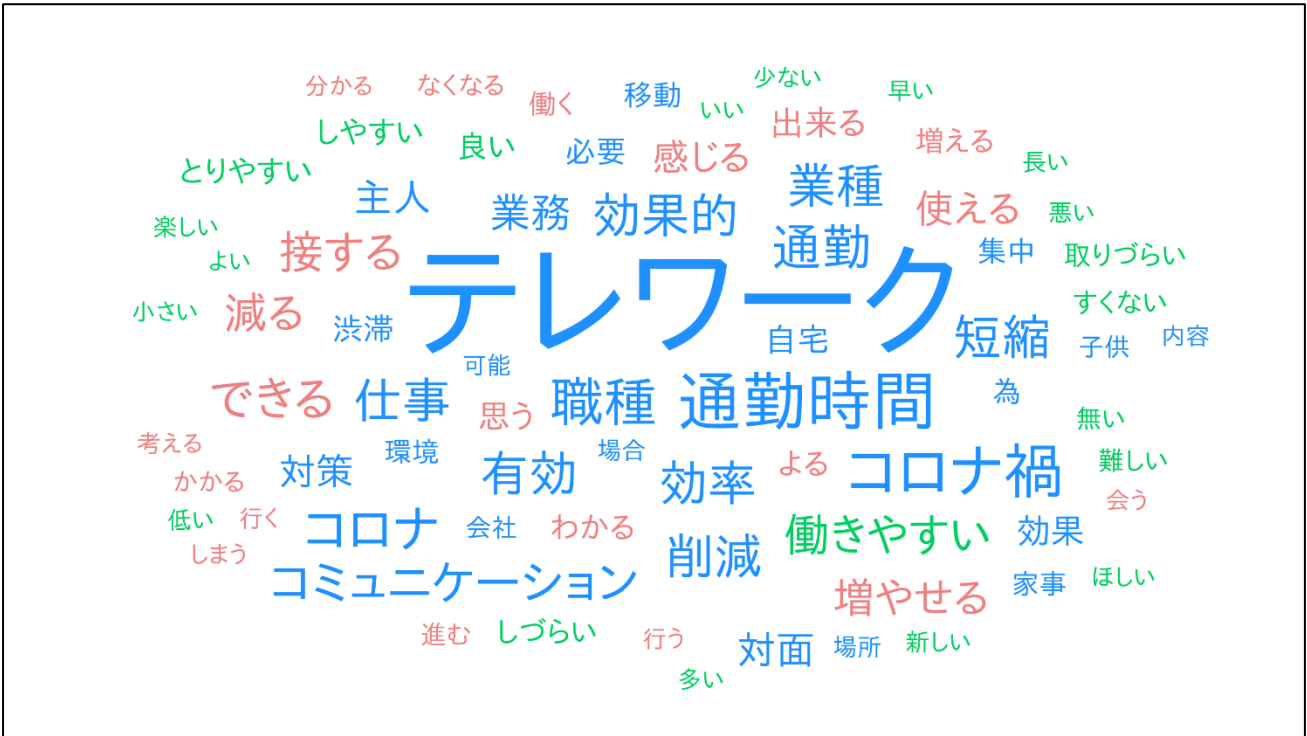
問 35-1 上記のように感じる理由をご記入ください。

【自由記述へのテキストマイニングによる分析結果】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール（ <https://textmining.userlocal.jp/> ）により分析

■ワードクラウド※1

・「テレワーク」、「通勤時間」、「職種」、「効果的」、「仕事」、「コミュニケーション」等の単語が特徴的に表れている。



■単語出現度

・「テレワーク」、「仕事」、「通勤時間」、「通勤」、「職種」等の単語が多く出現している。

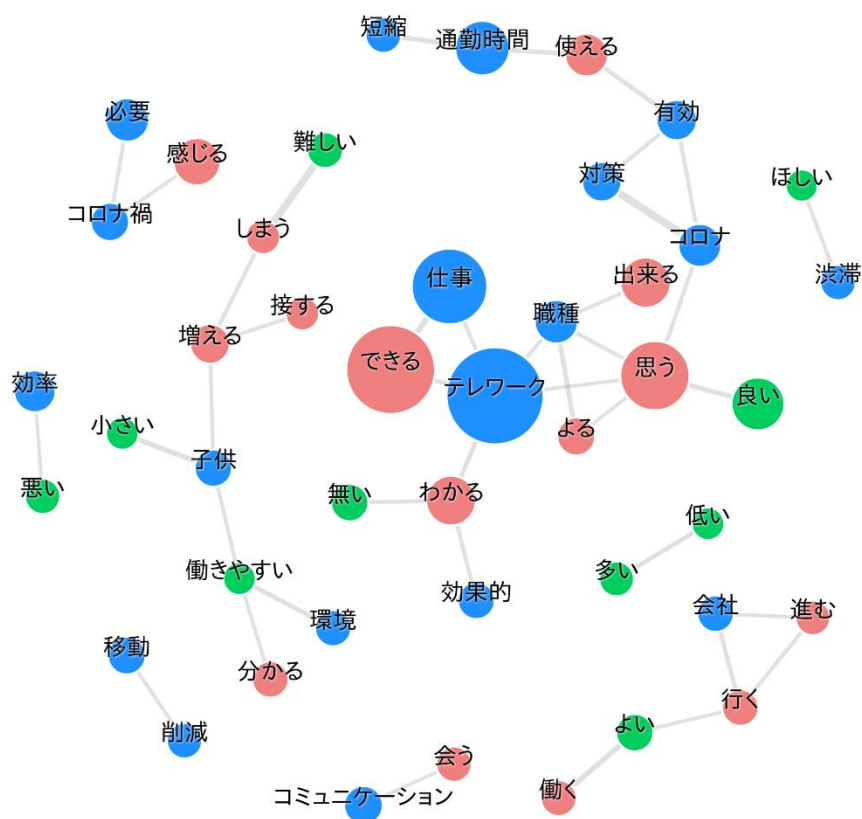
（一般的な単語※を除いた、出現頻度の多い上位 10 単語（※多い、ほしい、良い等）

単語	品詞	出現回数	単語	品詞	出現回数
テレワーク	名詞	156	必要	名詞	29
仕事	名詞	105	コロナ	名詞	28
通勤時間	名詞	55	効率	名詞	25
通勤	名詞	33	有効	名詞	22
職種	名詞	29	対策	名詞	20

※1 ワードクラウド…出現が特徴的な単語を数値化し、その値に応じた大きさで図示。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。

■共起キーワード※2

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「テレワーク」は「仕事」や「職種」と関連して出現する傾向が見られた。
- 「通勤時間」は「短縮」, 「有効」と関連して出現する傾向が見られた。



■自由記述の分析 結果まとめ

○テレワークが効果的かどうか「どちらともいえない」という回答が42.5%であり、「テレワークをしたことがないため分からない」、「できない業種がある」という回答が多かった一方で、「通勤時間が無い」、「プライベートと仕事を両立できる」というメリットを挙げる意見もあった。

※2 共起キーワード…文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。共起とは、一文（改行や「。」などで区切られた各文）の中に、単語のセットが同時に出現することである。

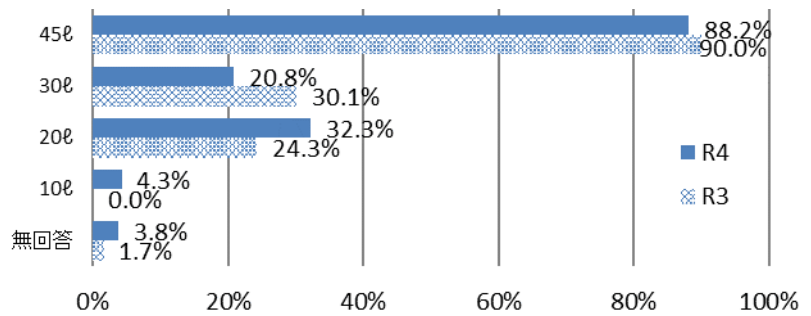
(8) 市民ニーズについて

問 36 現在ひたちなか市では45ℓ と20ℓ の 2種類のごみ袋を販売しています。あなたが適正と考えるごみ袋の大きさはどのくらいですか。[各々2つに〇]

- ・適正と考えるごみ袋の大きさについては、可燃ごみは、「45ℓ」が88.2%、次いで「20ℓ」が32.3%となった。
 - ・不燃ごみは、「45ℓ」が64.3%、次いで「20ℓ」が42.7%となった。
- ※前回調査（R3）では「10ℓ」の選択肢はなし。

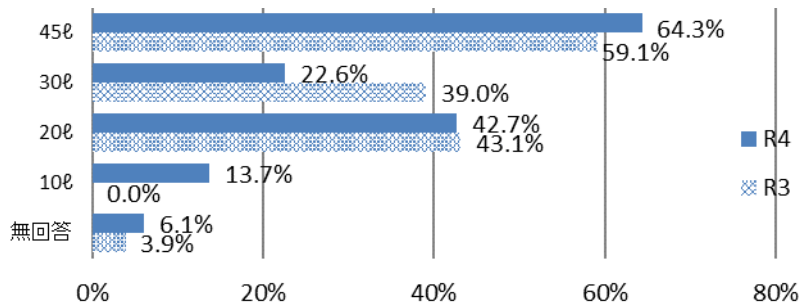
【可燃ごみ】

総数	1,472	100.0%
45ℓ	1,298	88.2%
30ℓ	306	20.8%
20ℓ	475	32.3%
10ℓ	64	4.3%
無回答	56	3.8%



【不燃ごみ】

総数	1,472	100.0%
45ℓ	947	64.3%
30ℓ	333	22.6%
20ℓ	628	42.7%
10ℓ	201	13.7%
無回答	90	6.1%

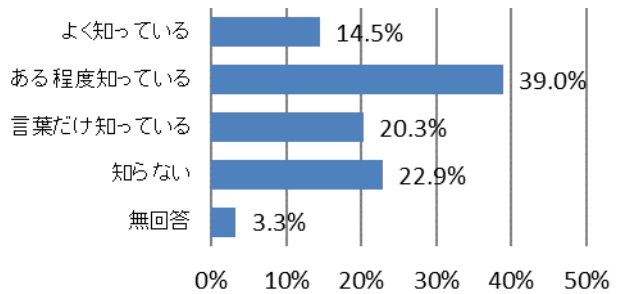


(9) 持続可能な開発目標 (SDGs) について

問 37 持続可能な開発目標 (SDGs) を知っていますか。[1 つに〇]

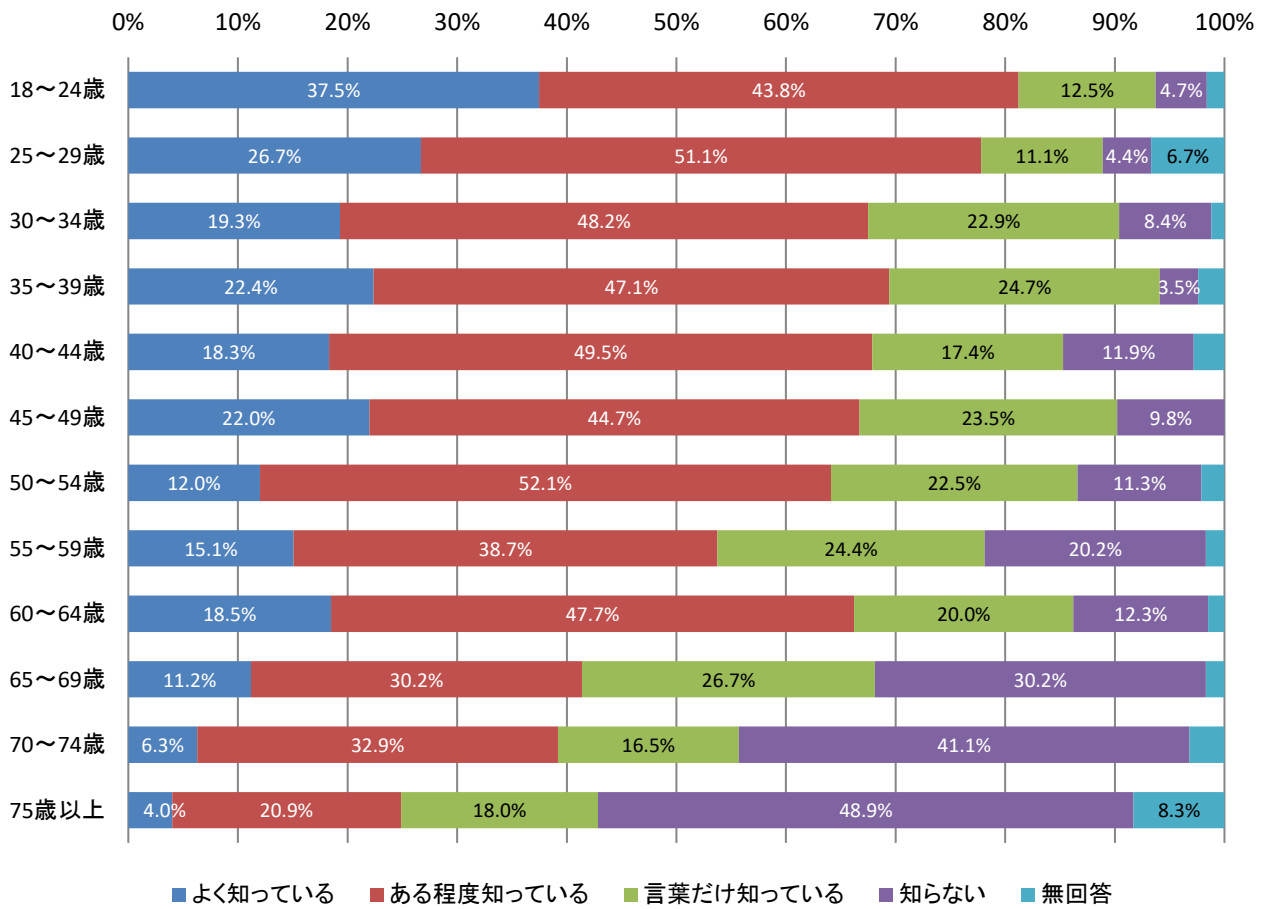
- ・持続可能な開発目標 (SDGs) の認知については、「ある程度知っている」が 39.0%と最も多く、「知らない」が 22.9%と続いている。
- ・「よく知っている」、「ある程度知っている」、「言葉だけ知っている」の合計は 73.8%だった。
- ・年齢別では、「よく知っている」との回答が最も多いのは「18～24 歳」で 37.5%、次いで「25～29 歳」で 26.7%だった。一方、「知らない」との回答が最も多いのは「75 歳以上」で 48.9%、次いで「70～74 歳」で 41.1%だった。

総数	1,472	100.0%
よく知っている	214	14.5%
ある程度知っている	574	39.0%
言葉だけ知っている	299	20.3%
知らない	337	22.9%
無回答	48	3.3%



【年齢別の回答割合 (クロス分析)】

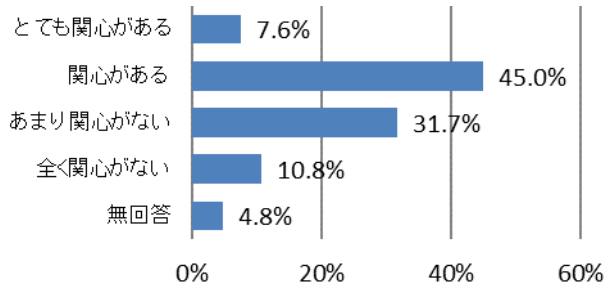
	よく知っている	ある程度知っている	言葉だけ知っている	知らない	無回答
18～24歳	37.5%	43.8%	12.5%	4.7%	1.6%
25～29歳	26.7%	51.1%	11.1%	4.4%	6.7%
30～34歳	19.3%	48.2%	22.9%	8.4%	1.2%
35～39歳	22.4%	47.1%	24.7%	3.5%	2.4%
40～44歳	18.3%	49.5%	17.4%	11.9%	2.8%
45～49歳	22.0%	44.7%	23.5%	9.8%	0.0%
50～54歳	12.0%	52.1%	22.5%	11.3%	2.1%
55～59歳	15.1%	38.7%	24.4%	20.2%	1.7%
60～64歳	18.5%	47.7%	20.0%	12.3%	1.5%
65～69歳	11.2%	30.2%	26.7%	30.2%	1.7%
70～74歳	6.3%	32.9%	16.5%	41.1%	3.2%
75歳以上	4.0%	20.9%	18.0%	48.9%	8.3%



問 38 持続可能な開発目標（SDGs）にどの程度関心がありますか。[1つに〇]

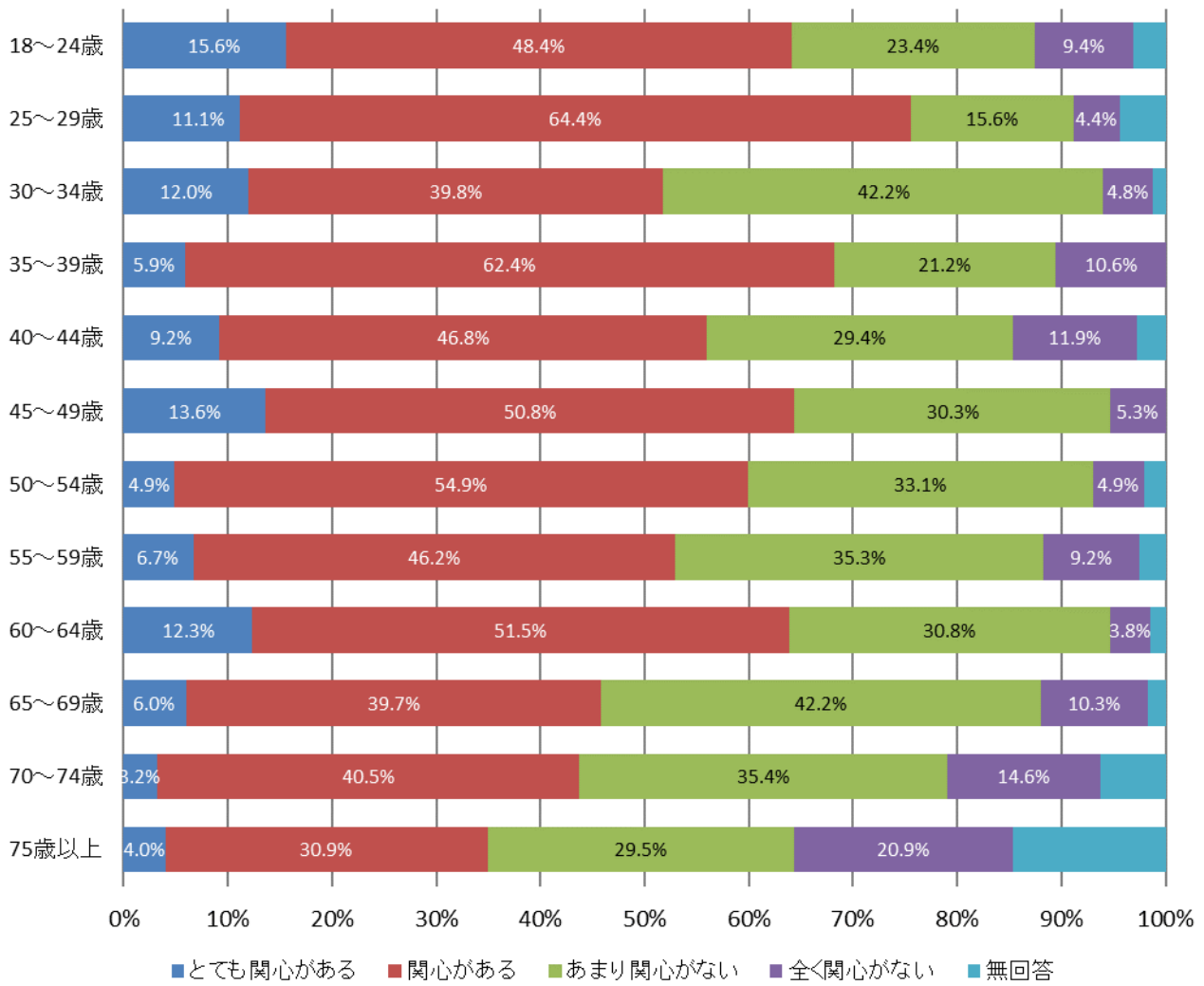
- 持続可能な開発目標（SDGs）への関心については、「関心がある」が45.0%と最も多く、「あまり関心がない」が31.7%と続いている。
- 年齢別では、「とても関心がある」との回答が最も多いのは「18～24歳」で15.6%、次いで「40～49歳」で13.6%だった。一方、「全く関心がない」との回答が最も多いのは「75歳以上」で20.9%、次いで「70～74歳」で14.6%だった。

総数	1,472	100.0%
とても関心がある	112	7.6%
関心がある	663	45.0%
あまり関心がない	467	31.7%
全く関心がない	159	10.8%
無回答	71	4.8%



【年齢別の回答割合（クロス分析）】

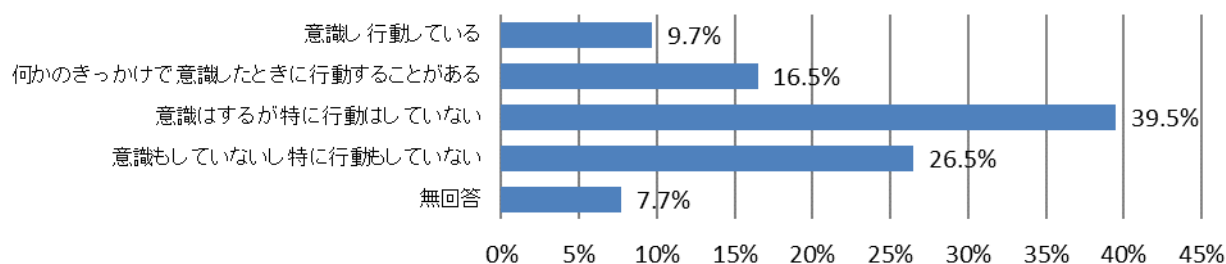
	とても関心がある	関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
18～24歳	15.6%	48.4%	23.4%	9.4%	3.1%
25～29歳	11.1%	64.4%	15.6%	4.4%	4.4%
30～34歳	12.0%	39.8%	42.2%	4.8%	1.2%
35～39歳	5.9%	62.4%	21.2%	10.6%	0.0%
40～44歳	9.2%	46.8%	29.4%	11.9%	2.8%
45～49歳	13.6%	50.8%	30.3%	5.3%	0.0%
50～54歳	4.9%	54.9%	33.1%	4.9%	2.1%
55～59歳	6.7%	46.2%	35.3%	9.2%	2.5%
60～64歳	12.3%	51.5%	30.8%	3.8%	1.5%
65～69歳	6.0%	39.7%	42.2%	10.3%	1.7%
70～74歳	3.2%	40.5%	35.4%	14.6%	6.3%
75歳以上	4.0%	30.9%	29.5%	20.9%	14.7%



問 39 持続可能な開発目標（SDGs）を意識し、何らかの行動を起こしていますか。[1つに〇]

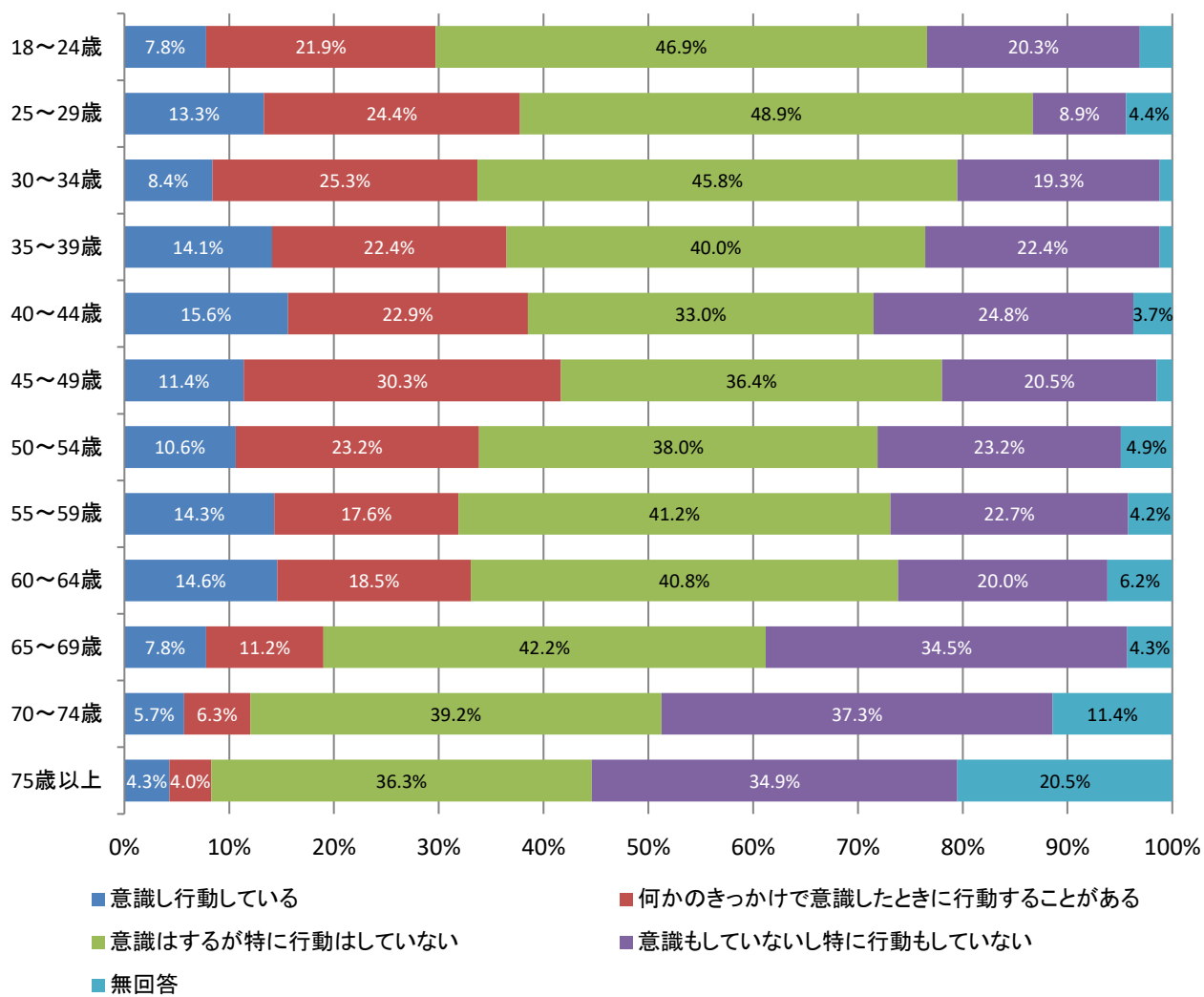
- 持続可能な開発目標（SDGs）を意識した行動については、「意識はするが特に行動はしていない」が39.5%と最も多く、「意識もしていないし特に行動もしていない」が26.5%と続いている。
- 年齢別では、「意識し行動している」との回答が最も多いのは「40～44歳」で15.6%、次いで「60～64歳」で14.6%だった。一方、「意識もしていないし特に行動もしていない」との回答が最も多いのは「70～74歳」で37.3%、次いで「75歳以上」で34.9%だった。

総数	1,472	100.0%
意識し行動している	143	9.7%
何かのきっかけで意識したときに行動することがある	243	16.5%
意識はするが特に行動はしていない	582	39.5%
意識もしていないし特に行動もしていない	390	26.5%
無回答	114	7.7%



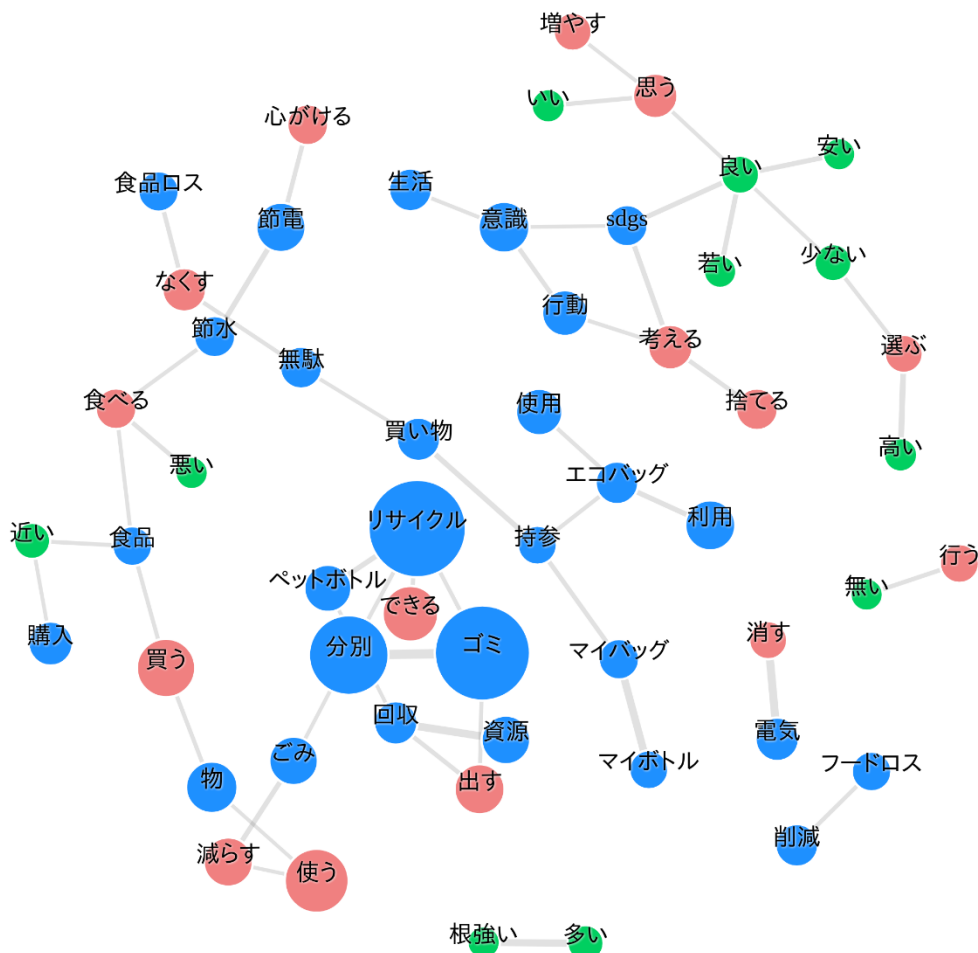
【年齢別の回答割合（クロス分析）】

	意識し行動している	何かのきっかけで意識したときに行動することがある	意識はするが特に行動はしていない	意識もしていないし特に行動もしていない	無回答
18～24歳	7.8%	21.9%	46.9%	20.3%	3.1%
25～29歳	13.3%	24.4%	48.9%	8.9%	4.4%
30～34歳	8.4%	25.3%	45.8%	19.3%	1.2%
35～39歳	14.1%	22.4%	40.0%	22.4%	1.2%
40～44歳	15.6%	22.9%	33.0%	24.8%	3.7%
45～49歳	11.4%	30.3%	36.4%	20.5%	1.5%
50～54歳	10.6%	23.2%	38.0%	23.2%	4.9%
55～59歳	14.3%	17.6%	41.2%	22.7%	4.2%
60～64歳	14.6%	18.5%	40.8%	20.0%	6.2%
65～69歳	7.8%	11.2%	42.2%	34.5%	4.3%
70～74歳	5.7%	6.3%	39.2%	37.3%	11.4%
75歳以上	4.3%	4.0%	36.3%	34.9%	20.5%



■共起キーワード※2

- 出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「リサイクル」は「ペットボトル」や「ゴミ」、「分別」と関連して出現する傾向が見られた。
- 「なくす」は「食品ロス」、「節電」、「節水」と関連して出現する傾向が見られた。



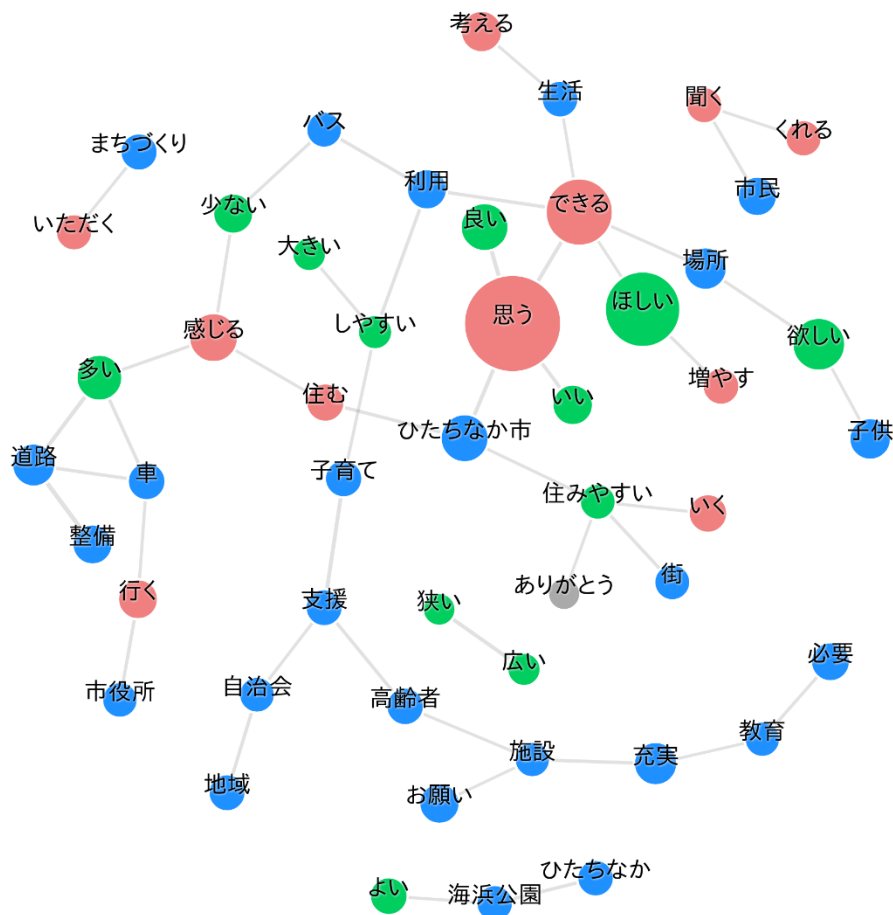
■自由記述の分析 結果まとめ

- 持続的な開発目標（SDGs）を意識して、「ゴミの分別」「節電」「フードロスの削減」「マイバッグの持参」等の環境保護やエシカル消費に関する具体的な行動を心掛けているとの意見が多く見られた。
- 「男女平等」「ジェンダー平等」等の人権意識を持って日々生活しているとの意見も見られた。

※2 共起キーワード…文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。共起とは、一文（改行や「。」などで区切られた各文）の中に、単語のセットが同時に出現することである。

■共起キーワード※2

- ・出現回数の多いワードの出現パターンをみると、「道路」と「整備」、「支援」と「子育て」「高齢者」、「充実」と「教育」、「施設」の関連が強くみられる。



■自由記述の分析 結果まとめ

- 道路、公共交通機関、下水道、子育て施設、図書館の充実など施設の整備に関する要望、商店街の充実などの商業振興、ひたち海浜公園や那珂湊の観光振興などの活性化に関する要望、隣接する東海原発への不安、ロックインジャパンの再誘致、などの様々な要望が挙げられている。
- 住みやすいまち、とても素敵な街との意見がみられた。

※2共起キーワード…文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。共起とは、一文（改行や「。」などで区切られた各文）の中に、単語のセットが同時に出現することである。

IV 参考資料

1. まちづくり達成度等に関するアンケート調査票

問4 あなたのご出身はどちらですか。[1つに○]

1. ひたちなか市内 2. ひたちなか市外（県内） 3. ひたちなか市外（県外）

問5 あなたは、ひたちなか市にお住まいになって何年になりますか。[1つに○]

1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満 4. 5～10年未満
5. 10～20年未満 6. 20～30年未満 7. 30年以上

問6 あなたの同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。[1つに○]

1. 単身（自分だけの一人暮らし） 2. 親と同居
3. 配偶者と同居 4. 配偶者と子と同居
5. 配偶者と親（配偶者の親を含む）と同居
6. 配偶者と子と親（配偶者の親を含む）と同居
7. 子と同居 8. 親と兄弟と同居
9. その他〔 〕

問7 同居家族に次の方はいますか。[該当するものすべてに○をつけてください]

1. 未就学児 2. 小学生 3. 中学生
4. 高校生以上の学生 5. 65～74歳の方 6. 75歳以上の方

問8 あなたがお住まいの住宅はどれにあたりますか。[1つに○]

1. 持ち家 2. 民間借家・社宅など 3. 公営住宅
4. その他〔具体的に 〕

問9 あなたのお住まいは中学校区で分類するとどの地区ですか。[1つに○]

1. 勝田第一中学区 2. 勝田第二中学区 3. 勝田第三中学区
4. 佐野中学区 5. 大島中学区 6. 田彦中学区
7. 那珂湊中学区 8. 美乃浜学園学区（旧平磯中学区及び旧阿字ヶ浦中学区）
9. 分からない（ ）

※お住まいの中学校区が不明の場合は、お住まいの大字名・町名を（ ）内にご記入ください
例：大字東石川、東石川2丁目 等

2 住み心地・暮らしの満足度について

問10 あなたは、毎日の生活のなかで、ひたちなか市の住み心地をどのように感じていますか。[1つに○]

1. とても住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば住みにくい
5. とても住みにくい

問11 あなたは、ひたちなか市への定住についてどのように感じていますか。[1つに○]

1. ずっと今の場所に住み続けたい 2. できるだけ今の場所に住み続けたい
3. 市内の別の場所に移りたい 4. ほかの市町村に移りたい
5. その他〔具体的に 〕

問12 あなたは、生きがいを持って暮らしていると感じますか。[1つに○]

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. とても感じる | 2. 感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない | 5. まったく感じない | |

問 13 あなたの本市のまちづくりに関する取組に対する「現在の満足度」と、「これからの充実希望度」について、各項目別に当てはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

項目	現在の満足度					これからの充実希望度				
	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	特に優先して充実すべき	充実すべき	現状程度でよい	それほど力を入れなくてよい	優先順位を下げるべき
【回答例】000について	5	④	3	2	1	5	4	3	②	1
1 防災対策(防災力の強化・防災基盤の整備)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 河川, 雨水幹線の整備(冠水被害対策)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 消防・救急体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 防犯対策について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 交通安全対策について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 企業誘致と雇用の創出について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 産業の活性化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 商業振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 農業振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 水産業振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 観光振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 地域福祉(近所での見守り活動等による地域での助け合い等)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 高齢者支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 障害者支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 保健医療体制や各種予防対策について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 生活困窮者支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 子育て支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 教育環境について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 青少年の健全育成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 生涯学習環境(図書館, コミュニティセンター等)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	現在の満足度					これからの充実希望度					
	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	特に優先して充実すべき	充実すべき	現状程度でよい	それほど力を入れなくてよい	優先順位を下げるべき	
21	スポーツ振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22	芸術・文化振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23	良好な居住環境の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24	道路の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25	安全安心な水の安定供給について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26	下水道の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27	公園・緑地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28	環境保全対策について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29	ごみ処理対策やリサイクルの推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30	公共交通機関(バスや鉄道等)について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31	自治会等の地域コミュニティ活動の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32	市の魅力発信による交流の促進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33	男女共同参画の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34	市政情報の発信について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35	市民意見の市政への反映について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36	市へ意見を言える機会について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37	効率的な市役所の運営について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

上記のほかに、取り組むべき事項等があればご記入ください。

3 地域活動・住民参加について

問 14 あなたは、社会活動（地域コミュニティや自治会、子ども会などの地域活動、奉仕活動など）

にどの程度参加していますか。[1つに○]

1. 積極的に参加している
2. つき合いで参加している
3. 過去に参加したことがあり、また参加したい
4. これまで参加したことはないが、ぜひ参加したい
5. これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい
6. 参加したいが、時間や身体上の制約等があり、参加することが難しい
7. 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない →問 14-1 へ
8. これまでに参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない →問 14-1 へ

問 14-1 は、問 14 で「7. 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない」「8. これまでに参加したことはなく、今後も参加したくない」と回答した方におたずねします。

問 14-1 あなたが社会活動に参加しない、参加したくない理由をご記入ください。

問 15 ひたちなか市では、平成22年4月に「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」を制定し、市民、議会、行政がお互いに連携協力するまちづくりを進めています。地域づくりにおいて、地域の市民が主体となって活動が行われていると感じるのはどのような分野だと思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------------------|--------------------|
| 1. 青少年健全育成活動 | 2. 子育て支援活動 | 3. 交通安全活動 |
| 4. 防災活動 | 5. 防犯活動 | 6. 高齢者・障害者の支援活動 |
| 7. ごみの減量・リサイクル活動 | 8. 文化・芸術活動 | 9. スポーツ・レクリエーション活動 |
| 10. 自然保護や環境保全活動 | 11. 歴史・遺産の保存・継承活動 | |
| 12. 国際交流活動 | 13. 男女共同参画社会の推進 | |
| 14. その他 | | |
- 〔具体的に： 〕

問 15-1 自立と協働のまちづくりを進めるにあたり、どの分野の活動が必要（重要）だと思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------------------|--------------------|
| 1. 青少年健全育成活動 | 2. 子育て支援活動 | 3. 交通安全活動 |
| 4. 防災活動 | 5. 防犯活動 | 6. 高齢者・障害者の支援活動 |
| 7. ごみの減量・リサイクル活動 | 8. 文化・芸術活動 | 9. スポーツ・レクリエーション活動 |
| 10. 自然保護や環境保全活動 | 11. 歴史・遺産の保存・継承活動 | |
| 12. 国際交流活動 | 13. 男女共同参画社会の推進 | |
| 14. その他 | | |
- 〔具体的に： 〕

問 16 あなたは、まちづくりに関する課題や市の政策などについて話し合う「まちづくり市民会議」を知っていますか。[1つに○]

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問 23 あなたは、週にどの程度、自宅で魚介類を食べる機会がありますか。[1つに○]

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. 週に5～6回 | 3. 週に3～4回 |
| 4. 週に1～2回 | 5. ほとんど食べない | |

問 24 あなたは、「地域包括支援センター（おとしより相談センター）」を知っていますか。[1つに○]

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

問 25 あなたは、ひたちなか市の花や緑が充実していると感じますか。[1つに○]

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. とても感じる | 2. 感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない | 5. まったく感じない | |

問 26 あなたは、ひたちなか市は「子育てしやすいまち」だと感じますか。[1つに○]

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. とても感じる | 2. 感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない | 5. まったく感じない | |

問 27 あなたは、ひたちなか市は「教育が充実しているまち」だと感じますか。[1つに○]

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. とても感じる | 2. 感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない | 5. まったく感じない | |

問 28 あなたは、ひたちなか市の行政（市役所）について信頼していますか。[1つに○]

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても信頼している | 2. 信頼している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり信頼していない | 5. まったく信頼していない | |

問 29 あなたは、「ひたちなか市長」を知っていますか。[1つに○]

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 顔や名前・政策等を知っている | 2. 顔と名前が一致する |
| 3. 顔または名前を知っている | 4. 知らない |

問 30 あなたは、ひたちなか市のキャッチコピー「ひとが咲くまち。ひたちなか」を知っていますか。
[1つに○]

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

6 市政情報の取得について

問 31 あなたは市報をどのような手段で入手していますか。当てはまる番号に○をつけて下さい。
[該当するものすべてに○をつけてください]

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 自治会に入っているので自宅に届く | 2. インターネットで閲覧している |
| 3. 必要な時に公共施設等に取りに行く | 4. 必要がないため市報は読まない |
| 5. 自宅に市報が届かないため読んでいない | |
| 6. その他〔具体的に： | 〕 |

問 31-1 問 31 で市報を読んでいる方にお聞きします。あなたは市報を読む際、主にどの面を
読んでいますか。当てはまる番号に○をつけて下さい。[1つに○]

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. すべての面を読む | 2. 前半の特集面だけを読む |
| 3. 暮らしの情報面だけを読む | |
| 4. その他〔具体的に： | 〕 |

問 32 あなたは市報以外にどのような媒体から市政に関する情報を得ていますか。当てはまる番号に
○をつけて下さい。(複数回答可)

- | | | |
|----------------|------------------|--------------|
| 1. 市のホームページ | 2. 市のLINE | 3. 市のTwitter |
| 4. 市のInstagram | 5. 市のFacebook | 6. ラジオ放送 |
| 7. NHK データ放送 | 8. ひたちなか安全・安心メール | 9. 回覧板 |
| 10. その他〔具体的に： | | 〕 |

問 33 ひたちなか市が情報発信を行っている SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) 等を
知っていますか。利用の有無にかかわらず、知っているものの番号に○をつけて下さい。(複
数回答可)

- | | | | |
|--------------|------------------|--------------|-------------|
| 1. LINE | 2. Twitter | 3. Instagram | 4. Facebook |
| 5. YouTube | 6. ひたちなか安全・安心メール | 7. 知らない | |
| 8. その他〔具体的に： | | | 〕 |

7 テレワークについて

問 34 あなたの直近1年間のテレワークの頻度はどのくらいですか。[1つに○]

- | | | |
|-----------------|------------------|---------|
| 1. 週に5~6回 | 2. 週に2回~4回 | 3. 週に1回 |
| 4. 週に1回未満(月に数回) | 5. テレワークはしたことがない | |
| 6. その他〔 | | 〕 |

問 35 あなたはテレワークが効果的だと感じますか。[1つに○]

- | | | |
|------------|-----------|--------------|
| 1. とても感じる | 2. 感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない | 5. 全く感じない | |

問 35-1 上記のように感じる理由をご記入ください。

--

8 市民ニーズについて

問 36 現在、ひたちなか市では45ℓ と20ℓ の2種類のごみ袋を販売しています。あなたが必要だと思うごみ袋の容量の番号すべてに○をつけて下さい。

可燃ごみ	1. 45ℓ	2. 30ℓ	3. 20ℓ	4. 10ℓ
不燃ごみ	1. 45ℓ	2. 30ℓ	3. 20ℓ	4. 10ℓ

9 持続可能な開発目標（SDGs）について

問 37 持続可能な開発目標（SDGs）を知っていますか。[1つに○]

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 言葉だけ知っている | 4. 知らない |

※持続可能な開発目標（SDGs）とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

問 38 持続可能な開発目標（SDGs）にどの程度関心がありますか。[1つに○]

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても関心がある | 2. 関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |

問 39 持続可能な開発目標（SDGs）を意識し、何らかの行動を起こしていますか。[1つに○]

- | |
|--|
| 1. 意識し、行動している →問 39-1 へ |
| 2. 何かのきっかけで意識したときに、行動することがある →問 39-1 へ |
| 3. 意識はするが、特に行動はしていない |
| 4. 意識もしていないし、特に行動もしていない |

問 39-1 は、問 39 で「1. 意識し、行動している」「2. 何かのきっかけで意識したときに、行動することがある」と回答した方におたずねします。

問 39-1 持続可能な開発目標（SDGs）を意識し、具体的にどのような行動をしていますか。

--

